

厚生労働省 令和元年度障害者総合福祉推進事業

障害福祉サービスの利用実態調査

報 告 書

令和2年3月

三菱ＵＦＪリサーチ&コンサルティング株式会社

<目 次>

1 事業要旨	1
2 事業の目的	2
3 事業概要	3
4 調査結果	4
(1) 調査の概要	4
(2) 障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関する調査	5
(3) 障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関する調査	39
(4) 高齢障害者の暮らしの状況に関する調査	52
5 調査結果の考察	72
6 参考資料（調査票）	74

1 事業要旨

- 本事業では、障害福祉サービス等における今後の制度検討の際に必要な性が想定される、障害者の家計を含めた生活実態等の把握を行うための調査を行った。障害福祉サービス利用者等を対象とした実態調査を行い、調査結果から障害者の生活実態に関する基礎資料の作成を行うことを目的として事業を実施した。

- 本事業の実施により、以下の状況が明らかになった。

(障害福祉サービス利用者の暮らしの状況)

- ・世帯・居住形態別の調査回答者は、調査方法の関係もあり、家族同居者（戸建て住宅等に居住）と、グループホーム利用者（グループホーム居住）が多かった。その中で、障害種別については、約2割が身体障害者手帳を所持し、約6割が療育手帳を所持していた。日常的な医療的ケアを受けている人は少ない結果となった。
- ・上記回答者における、世帯単位でのひと月の平均収入額は129,883円（うち、賃金、工賃など働いて得た収入が57,186円、障害年金などの公的年金が56,177円）となった。収入は家族同居者で高く、グループホーム利用者で低い傾向が見られる。また、ひと月の平均支出額は93,208円（うち、サービス事業者への支払い以外の「食費」が16,489円、サービス事業者への支払いの「食費（自己負担分）」が10,840円）となった。

(障害者支援施設利用者の暮らしの状況)

- ・施設入所者の収支状況について、ひと月の平均収入額は84,507円、ひと月の平均支出額は62,592円（うち、施設への支払い48,570円、施設への支払い以外14,022円）となった。

(高齢障害者の暮らしの状況)

- ・世帯・居住形態別の調査回答者は、調査方法の関係もあり、戸建て住宅等の居住者と、グループホーム居住者が多かった。また、一般の住宅（戸建て住宅、集合住宅）に暮らしている人で単身者の割合は約4割となった。その中で、障害種別については、約半数が身体障害者手帳を所持し、約3割が療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持していた。日常的な医療的ケアを受けている人は1割弱となった。
- ・新高額障害福祉サービス等給付費については、対象となっている人は約1割、そのうち、導入による経済的な負担の変化が「減った」という人は約3割であることがわかった。
- ・上記回答者における、世帯単位でのひと月の平均収入額は122,968円（うち、障害年金などの公的年金が69,973円、賃金、工賃など働いて得た収入が32,073円）となった。また、ひと月の平均支出額は116,741円（うち、サービス事業者への支払い以外の「食費」が26,800円、サービス事業者への支払いの「食費（自己負担分）」が10,840円）となった。

2 事業の目的

障害者の自立生活において、障害福祉サービス等は大きな役割を果たしている。サービスは継続的に内容の見直し・拡充が行われており、近年では、平成 30 年 4 月スタートの新サービスが拡充されるなど、その基盤の充実・強化が進められている。

一方、障害福祉サービス等の利用にあたっては、利用者は原則としてサービス費用の 1 割を負担し、食費や家賃等の費用については実費を負担することになっている。そのため、所得の少ない障害者においては、サービス利用にあたっての負担を軽減し、必要なサービスを適切に利用することができるように、さまざまな負担軽減の制度が設けられている。

こうした制度の検討を行うにあたっては、障害者の家計について、実際にどのような状況にあるのかという情報が重要であり、障害者の生活実態をふまえたうえで、適切な負担のあり方を組み込んだ制度設計が行われる必要がある。サービス基盤の拡充等が進められるなか、障害者が生活の中で実際にどのようなサービスを利用し、どのような生活を送っているのかを把握していくことが必要となる。

国民生活に関しては、家計調査など既存の調査があるものの、これらの調査データから障害者に特化した情報を把握することは困難であり、既存調査から障害者の家計を含めた生活実態を把握することには限界があると考えられる。

本調査は、上記の認識等をふまえ、これまでに検討された障害者の生活実態の把握手法・調査手法等をふまえて、今後の制度検討の際に必要な性が想定される項目を中心に、実際に調査を実施し、その調査結果から障害者の生活実態に関する基礎資料の作成を行うことを目的として実施した。

3 事業概要

①既存調査結果等の情報整理、調査項目の検討・調査票の作成

本調査の調査設計にあたっては、平成 30 年度障害者総合福祉推進事業「障害者の生活実態に関する調査方法に係る研究」等の調査結果をベースとして検討を行った。当該調査において示された調査票の案をふまえ、障害福祉サービス利用者、障害者支援施設入所者、高齢障害者をそれぞれ対象とする調査項目を検討し、調査票を作成した。

②調査の実施

調査は、障害福祉サービス事業者・地方自治体の一次送付先を無作為抽出したうえで、一次送付先に調査票を送付し、そこから調査対象者（障害者世帯）に配布いただく手順により実施した。なお、返送については、調査対象者から直接、郵送で返送いただく形とした。

調査名	調査対象	調査方法
障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	障害福祉サービスを利用する 64 歳以下の障害者	障害福祉サービス事業所 1,400 箇所を無作為抽出し、各事業所に調査票を 3 通送付→事業所で利用者 3 名を無作為に選び、調査票を配布
障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	障害者支援施設入所者	障害者支援施設 200 箇所を無作為抽出し、各施設に調査票を 3 通送付→施設で利用者 3 名を無作為に選び、調査票を配布
高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査	65 歳以上の障害者	市町村 400 箇所を無作為抽出し、各市町村に調査票を 3 通送付→市町村で 65 歳以上の障害福祉サービス支給決定者 3 名を無作為に選び、調査票を配布

③調査結果の集計・分析

回収した調査票は入力・データ化し、調査結果の集計・分析（単純集計及び基本属性等によるクロス集計）を行った。

4 調査結果

(1) 調査の概要

■ 調査区分及び調査方法

調査名	調査方法
障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	障害福祉サービス事業所 1,400 箇所を無作為抽出し、障害福祉サービス利用者を対象とする調査票を郵送送付、事業所で利用者 3 名を無作為に選び、調査票を転送いただく方法で調査票を配布した。 回収は、対象となった障害福祉サービス利用者から直接郵送（料金受取人払）で回収した。
障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	障害者支援施設 200 箇所を無作為抽出し、施設入所者を対象とする調査票を郵送送付、施設で入所者 3 名を無作為に選び、調査票を渡していただく方法で調査票を配布した。 回収は、対象となった施設入所者から直接郵送（料金受取人払）で回収した。
高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査	市町村 400 箇所を無作為抽出し、高齢障害者を対象とする調査票を郵送送付、市町村で 65 歳以上の障害福祉サービス支給決定者 3 名を無作為に選び、調査票を転送いただく方法で調査票を配布した。 回収は、対象となった高齢障害者から直接郵送（料金受取人払）で回収した。

■ 調査実施時期

令和元年 8 月～10 月

■ 発送数及び有効回答数

調査名	発送数	有効回答数
障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	1,400 事業所× 3 票	1,397
障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	200 施設× 3 票	313
高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査	400 市町村× 3 票	389

注)「障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査」の「障害種別」のクロス集計は、問 6 の手帳所持、障害の診断等の回答から、次のように区分している。

身体	身体障害のみの属性を有する者（手帳所持）
知的	知的障害のみの属性を有する者（手帳所持）
精神	精神障害のみの属性を有する者（手帳所持または精神通院）
重複（3 障害）	身体・知的・精神の 2 つ以上の重複を有する者
難病その他	発達障害、高次脳機能障害、難病の属性を有する者（手帳所持状況等に関わらず）

(2) 障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関する調査

①対象者の属性

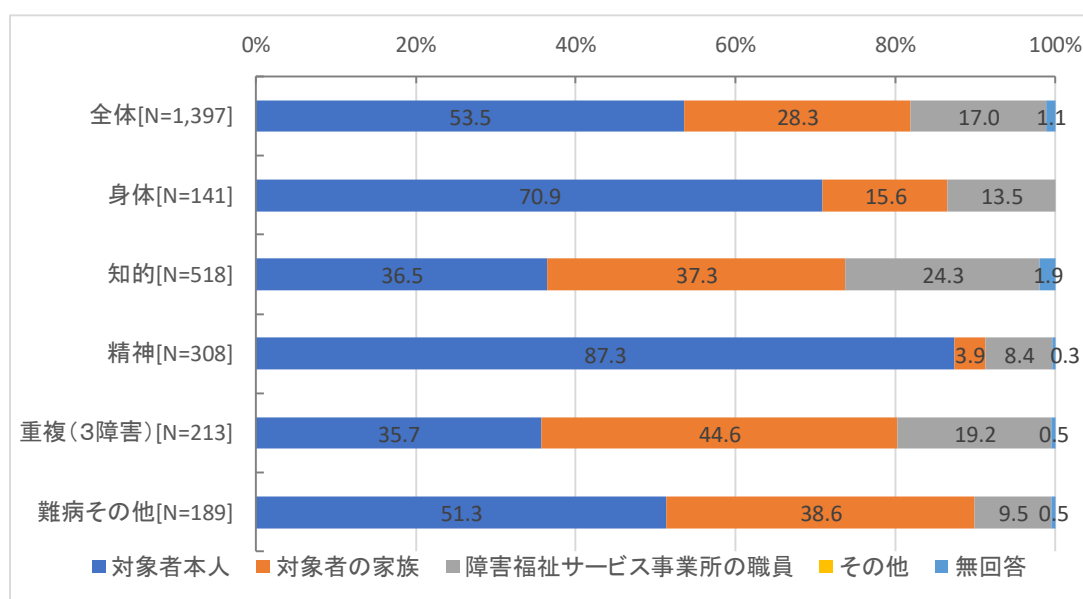
■ アンケート回答者

問 1 このアンケートに答えた人を教えてください。(1つに○)

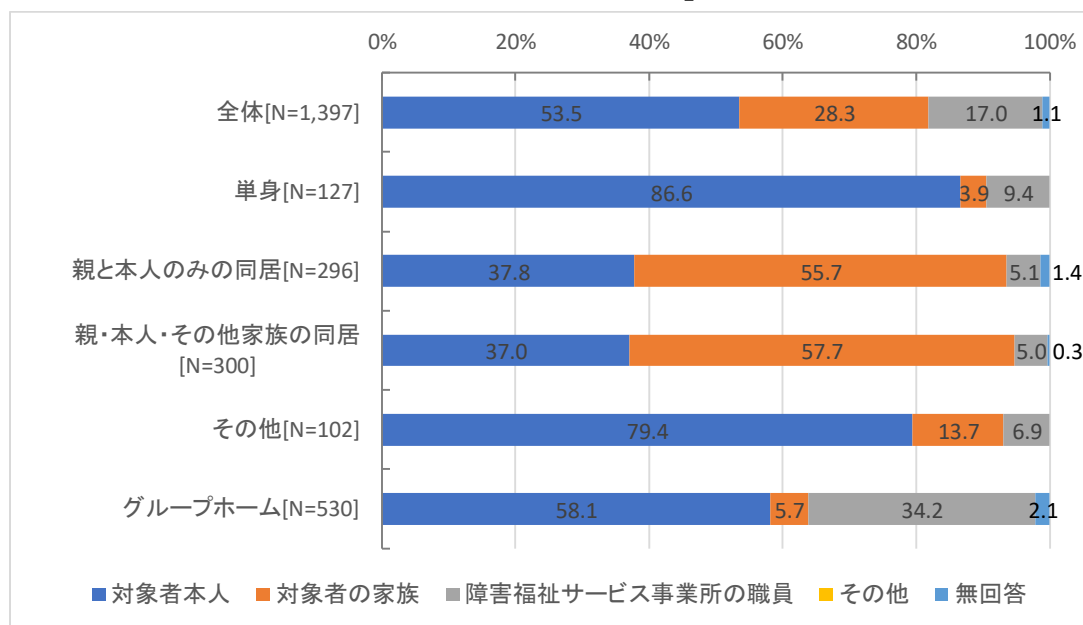
アンケート回答者をみると、「対象者本人」が53.5%と半数以上となっている。

障害別では、「知的」、「重複（3障害）」で対象本人以外による回答の割合が高くなっている。世帯・居住形態別では、家族と同居の場合は「対象者の家族」による回答割合が、グループホームの場合は「障害福祉サービス事業所の職員」による回答割合が高くなっている。

図表 1 アンケート回答者（n=1,397）_障害種別



図表 2 アンケート回答者（n=1,397）_世帯・居住形態別



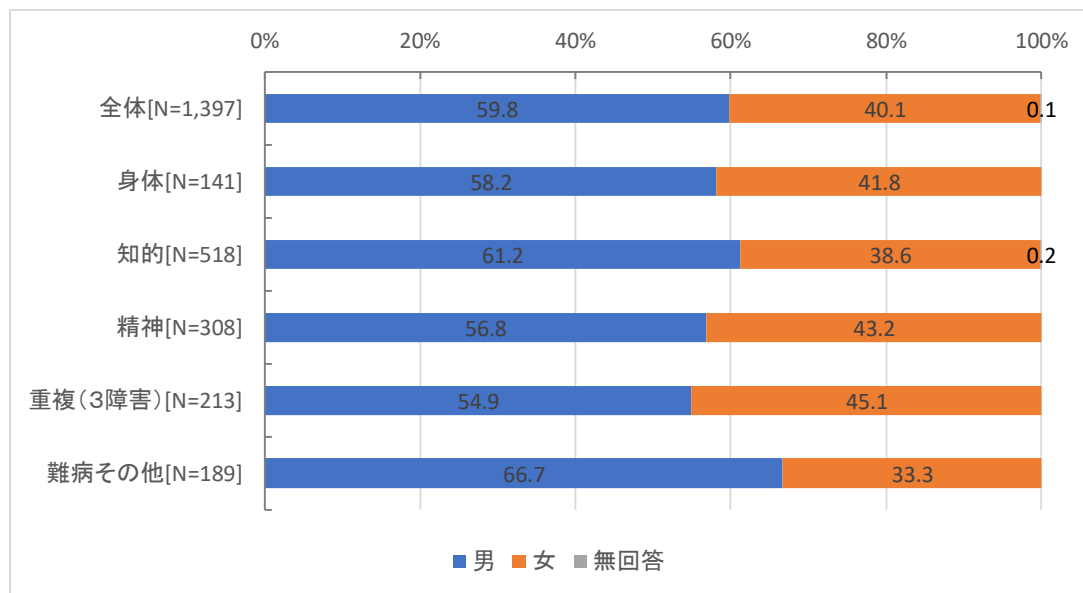
注)「世帯・居住形態別」の集計図表で、「その他」類型には、主に、親以外の家族との同居（親とは同居していない）等が含まれる。(以下、同様)

■ 性別・年齢

問 2 あなたの性別・年齢を教えてください。

性別をみると、「男性」が 59.8%、「女性」が 40.1%となっている。障害別では、「難病その他」で「男性」の割合が高くなっている。

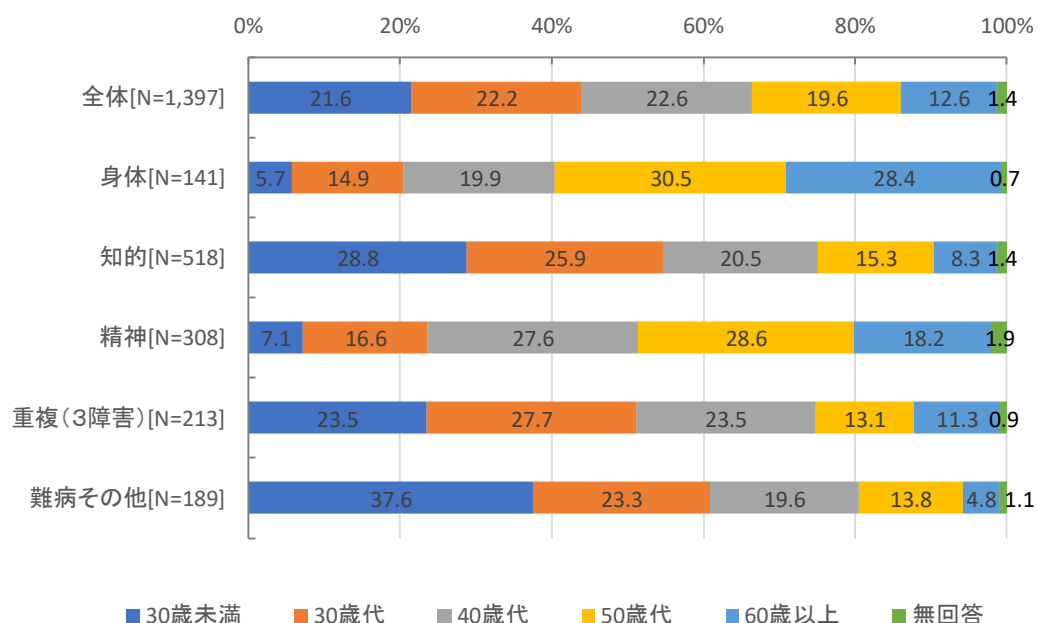
図表 3 性別（n=1,397）_障害種別



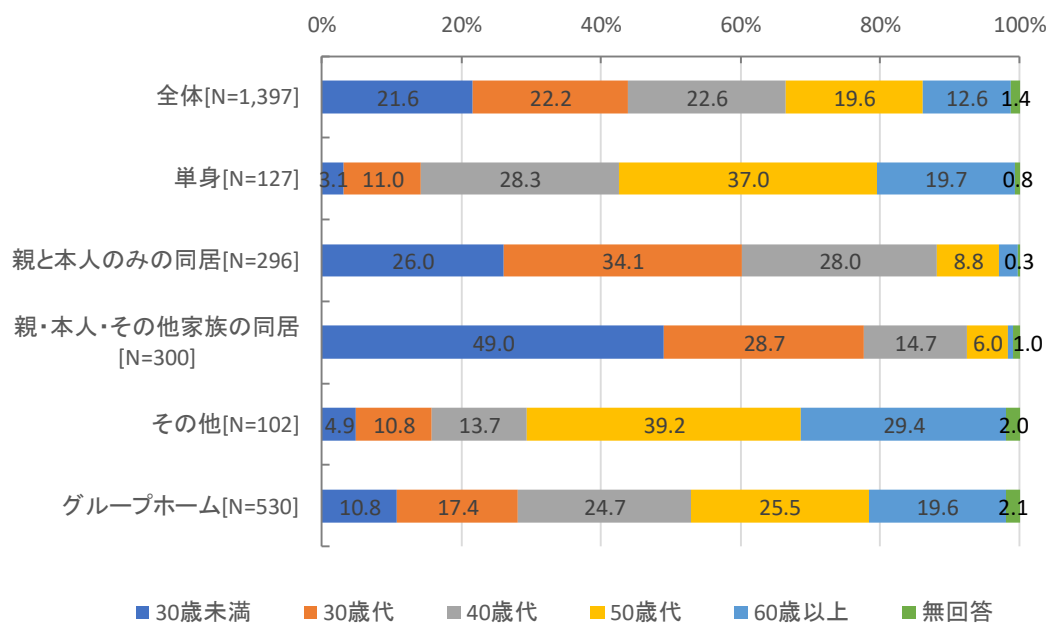
年齢は、「40代」が22.6%と最も多く、次いで「30代」が22.2%となっている。平均年齢は42.2歳である。

障害別では、「知的」「難病その他」で「30歳未満」の割合が3～4割程度と比較的高く、「身体」で「60歳以上」の割合が約3割と比較的高くなっている。世帯・居住形態別では、「単身」、「その他」、「グループホーム」で「50歳代」「60歳以上」が4～6割程度と比較的高くなっている。

図表 4 年齢（n=1,397）_障害種別



図表 5 年齢（n=1,397）_世帯・居住形態別

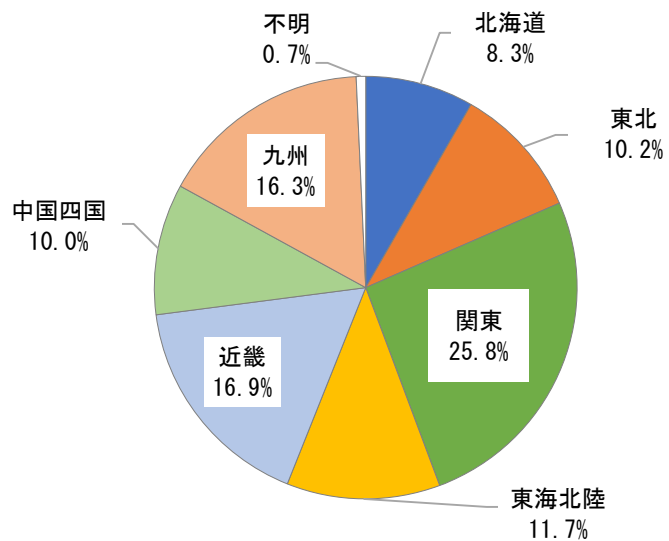


■ 住まいの地域

問3 あなたのお住まいの都道府県・市区町村を記入してください。

都道府県・市区町村の回答により、住まいの地域を区分したところ、「関東地方」の居住者が 25.8%と最も多く、次いで「近畿地方」が 16.9%となっている。

図表 6 住まいの地域 (n=1,397)



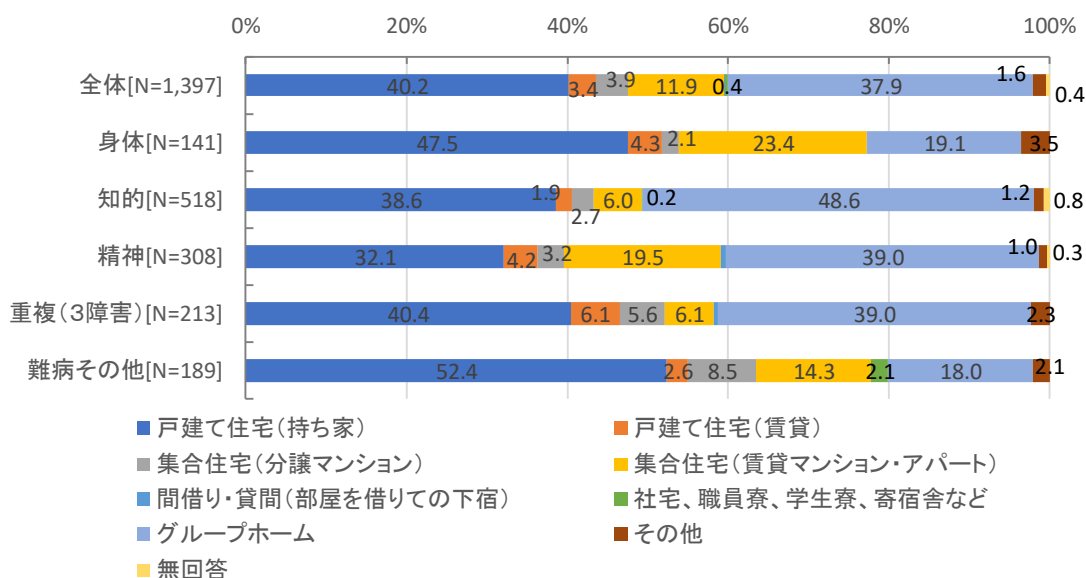
■ 住まいの種類

問 4 あなたのお住まいの種類を教えてください。(1つに○)

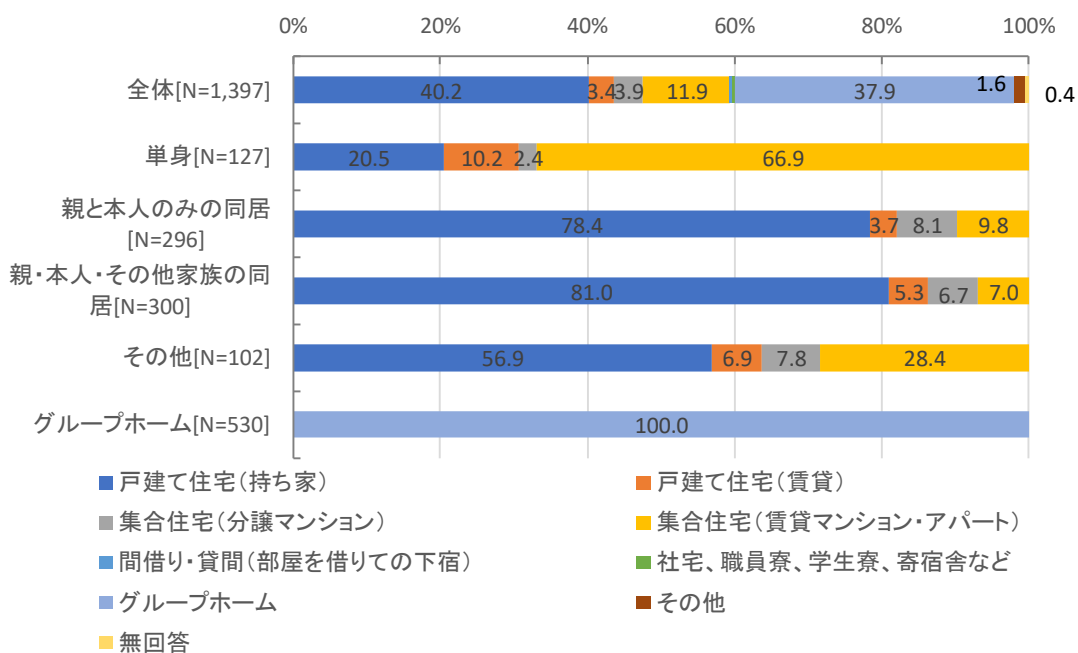
住まいの種類をみると、「戸建て住宅(持ち家)」が40.2%と最も多く、次いで「グループホーム」が37.9%となっている。

障害別では、「知的」で「グループホーム」の割合が約半数と比較的高くなっている。世帯・居住形態別では、「単身」で「集合住宅(賃貸マンション・アパート)」が約7割と最も高いのに対し、「親と本人のみの同居」「親・本人・その他家族の同居」「その他」で「戸建て住宅(持ち家)」が6～8割程度と最も高くなっている。

図表 7 住まいの種類 (n=1,397) 障害種別



図表 8 住まいの種類 (n=1,397) 世帯・居住形態別



■ 同居の家族

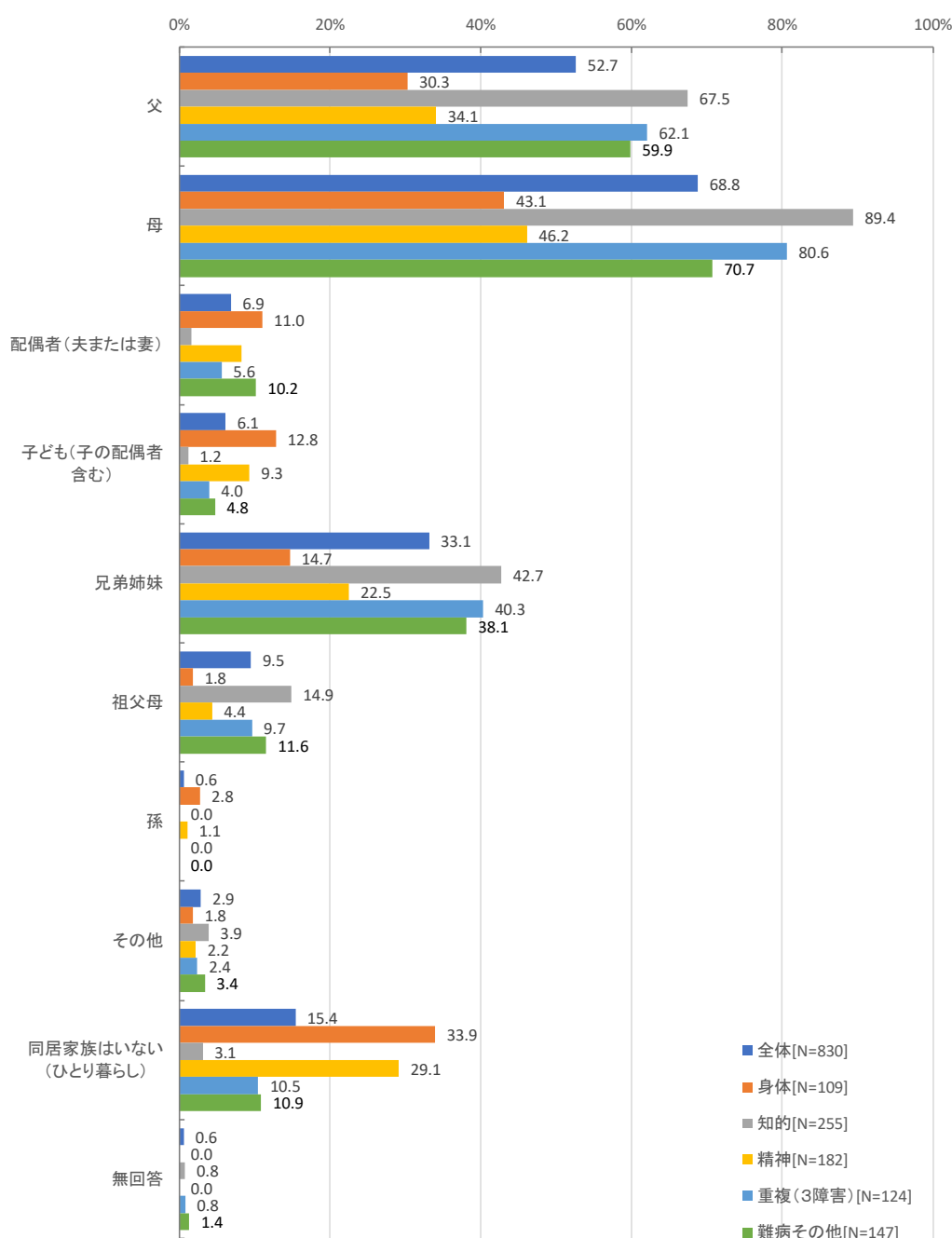
問 5 ①あなたが一緒に生活している人（同居の家族）を教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。あてはまるものすべてに○をしてください。

問 5 ②あなたを含めた同居の家族の人数（世帯人数）を教えてください。

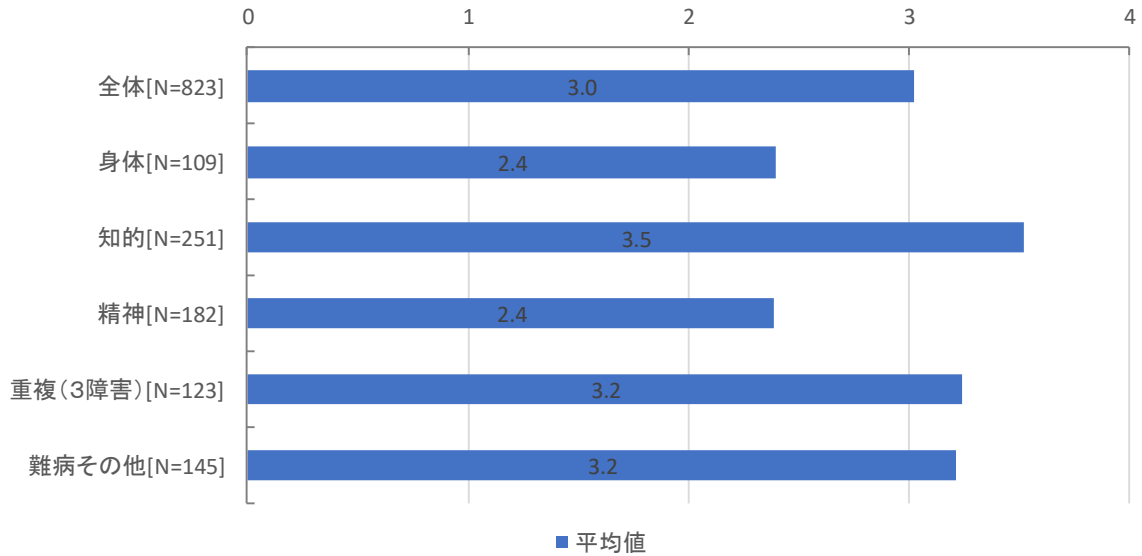
住まいの種類が戸建て住宅、集合住宅の人に、同居の家族を聞いたところ、「母」が 68.8%と最も多く、次いで「父」が 52.7%となっている。なお、世帯人数の平均は 3.0 人である。

障害別では、「知的」「重複（3 障害）」「難病その他」で「父」または「母」と同居の割合が 6 割～9 割程度と比較的高くなっている。一方で、「身体」「精神」で「同居家族はいない（ひとり暮らし）」の割合が約 3 割と比較的高くなっている。

図表 9 同居の家族（複数回答：n=830）_障害種別



図表 10 同居の家族の人数(n=823)_障害種別

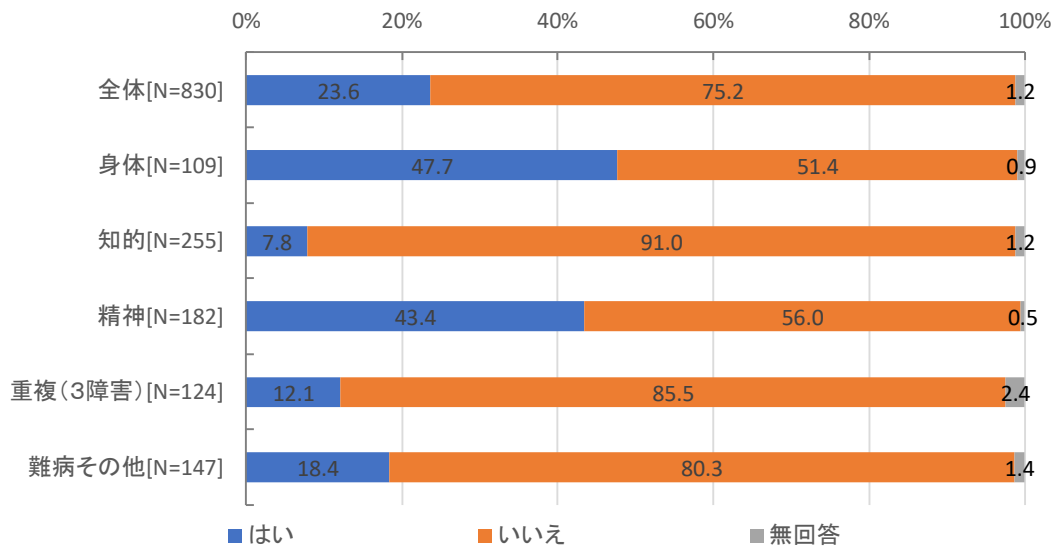


■ 世帯主の有無

問 5 ③あなたは世帯主（世帯の筆頭者）ですか。（1つに○）

世帯主かどうかを聞いたところ、「いいえ」が75.2%、「はい」が23.6%となっている。障害別では、「身体」「精神」で「はい」が4割以上と比較的高くなっている。

図表 11 世帯主（n=830）_障害種別

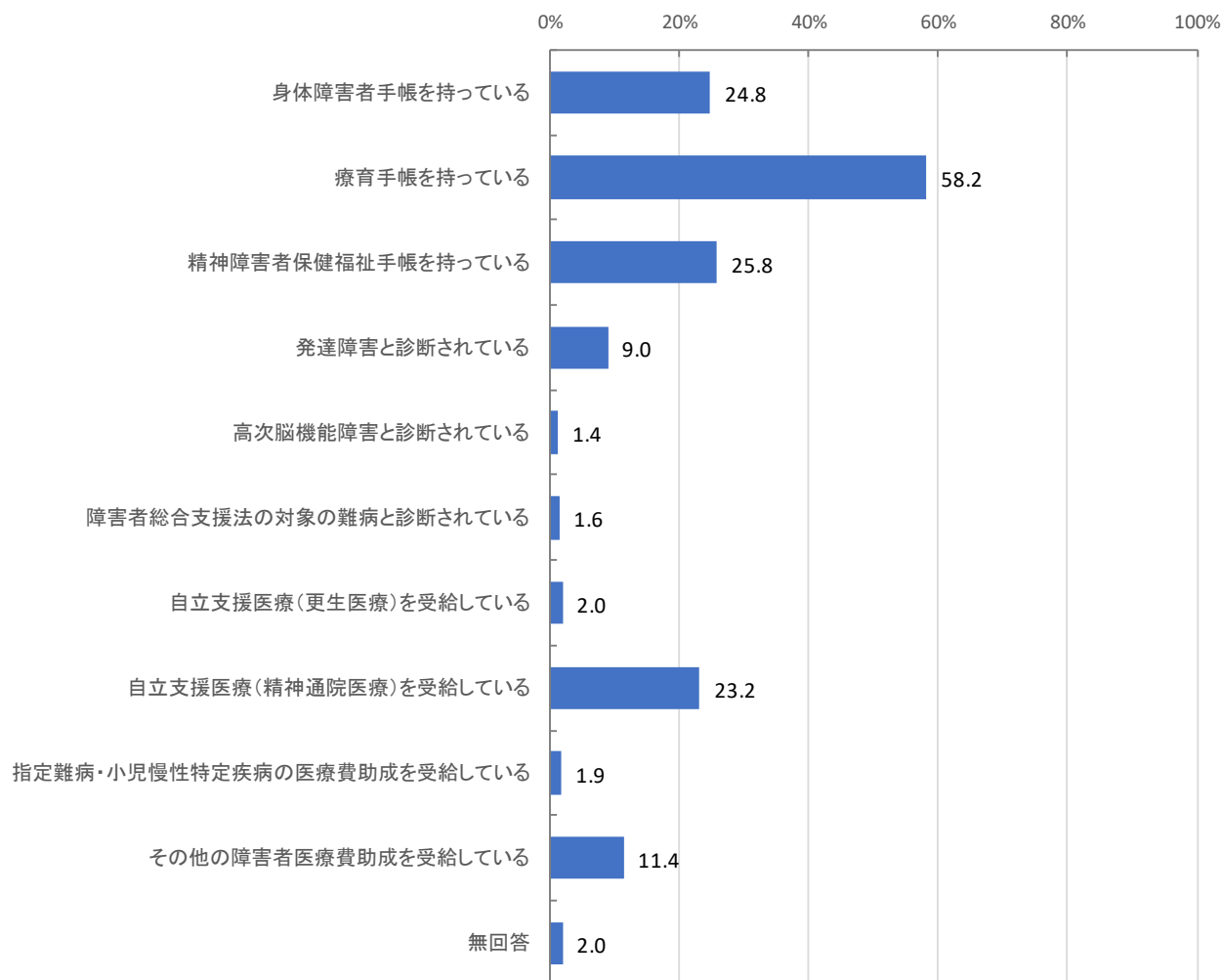


②障害の状況

問 6 あなたがお持ちの障害者手帳、障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。あてはまるものすべてに○をしてください。

障害の状況をみると、「身体障害者手帳を持っている」が 24.8%、「療育手帳を持っている」が 58.2%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が 25.8%、「発達障害と診断されている」が 9.0%等となっている。

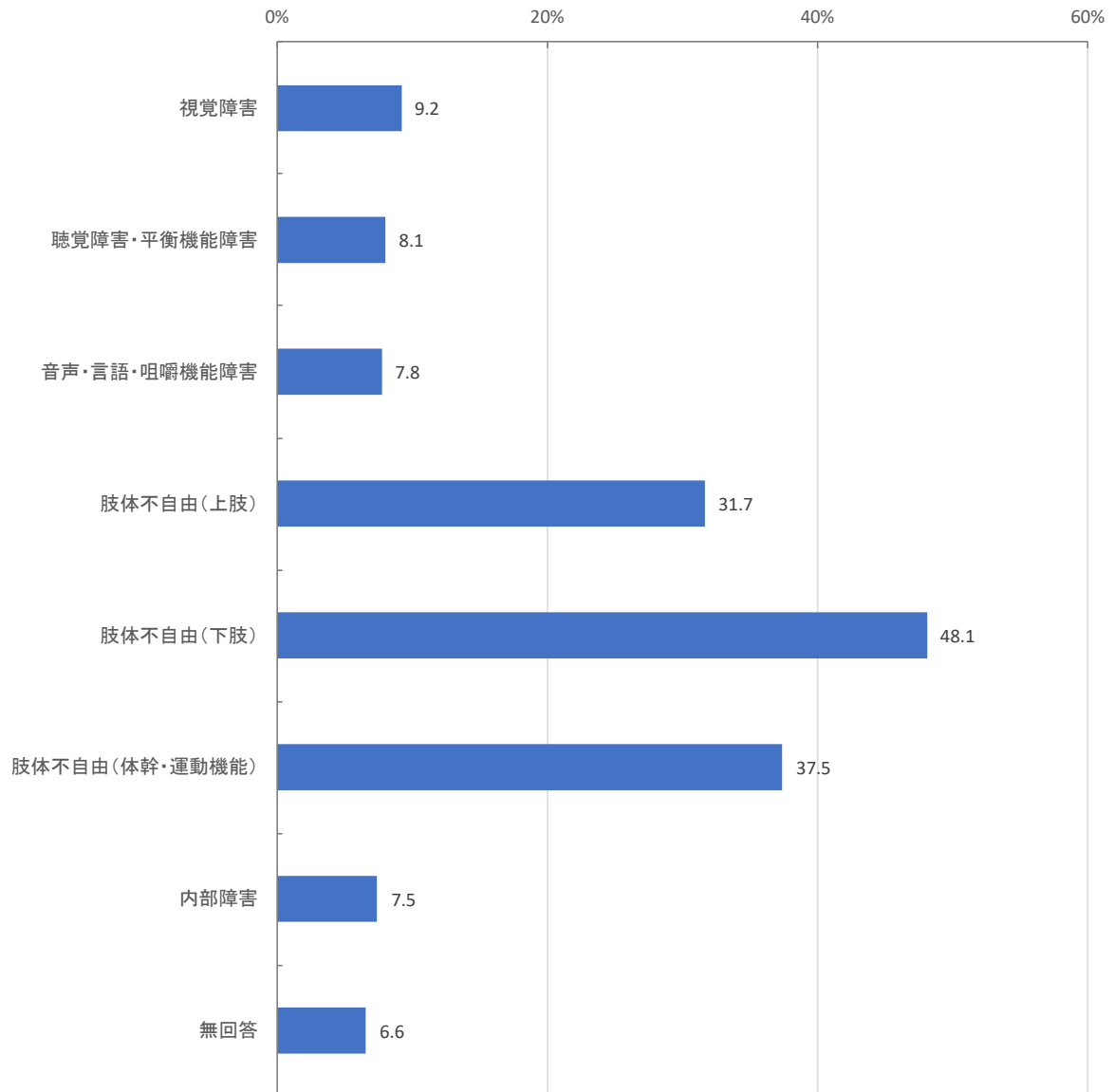
図表 12 障害の状況(複数回答:n=1,397)



問 6-2 「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きます。障害の種類をお答えください。
あてはまるものすべてに○をしてください。

身体障害手帳所持者の身体障害の内容をみると、「肢体不自由（下肢）」が 48.1%と最も高く、次いで「肢体不自由（体幹・運動機能）」が 37.5%となっている。

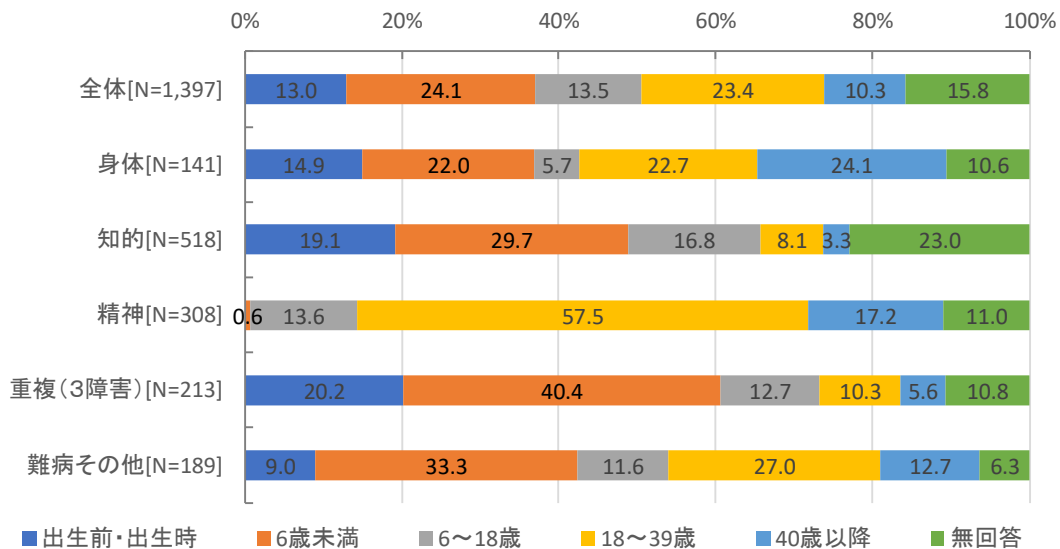
図表 13 身体障害手帳所持者の身体障害の内容(複数回答:n=347)



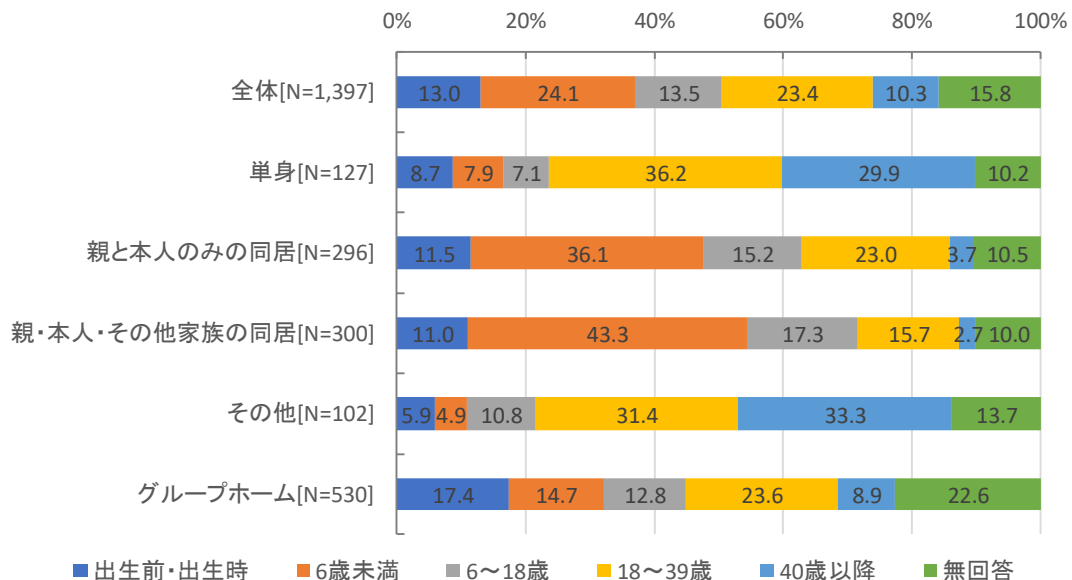
問 7 あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのは、いつ頃ですか。(1つに○)

最初の障害の診断・判定を受けた時期をみると、18歳以下の割合がほぼ半数となっている。障害別では、「身体」「知的」「重複（3障害）」「難病その他」で18歳以下の割合が4割～7割程度となっているのに対し、「精神」では「18～39歳」が半数以上となっている。世帯・居住形態別では、「親と本人のみの同居」「親・本人・その他家族の同居」で「出生前・出生時」と「6歳未満」を合わせて約半数となっている。

図表 14 最初の障害の診断・判定を受けた時期(n=1,397)_障害種別



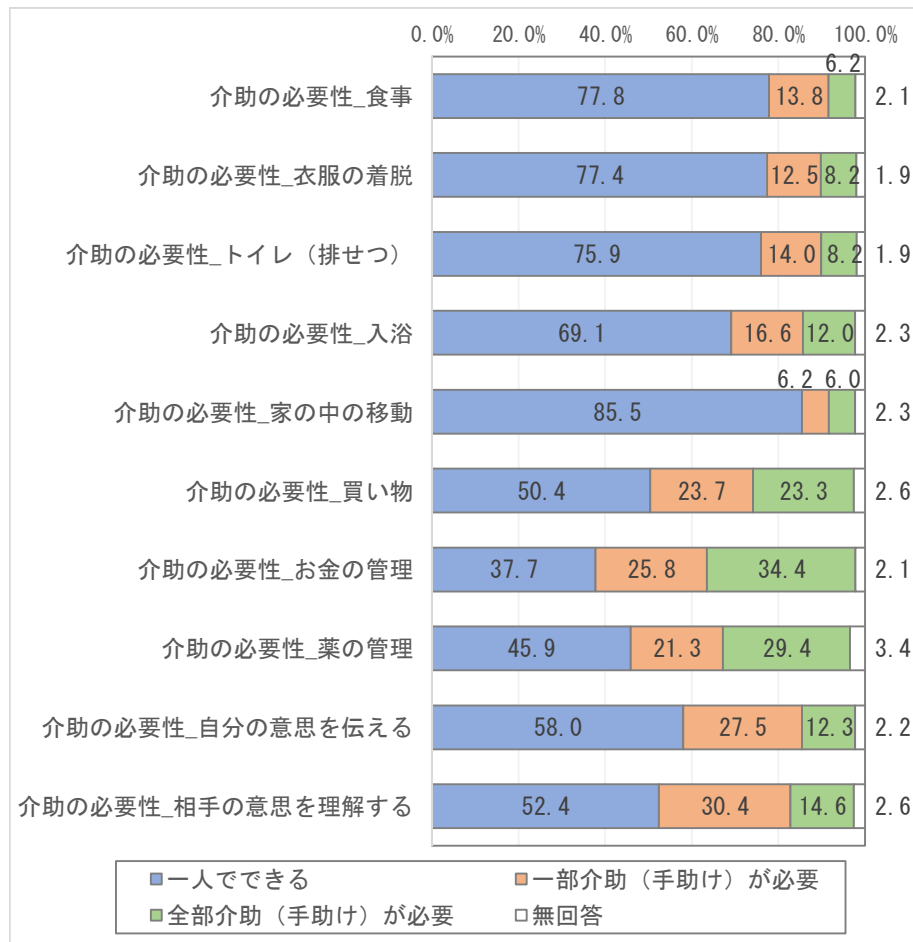
図表 15 最初の障害の診断・判定を受けた時期(n=1,397)_世帯・居住形態別



問 8 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

日常生活での介助の必要度をみると、介助を必要とする割合（「一部介助（手助け）が必要」「全部介助（手助け）が必要」の計）は『お金の管理』が最も高く、60.2%となっている。

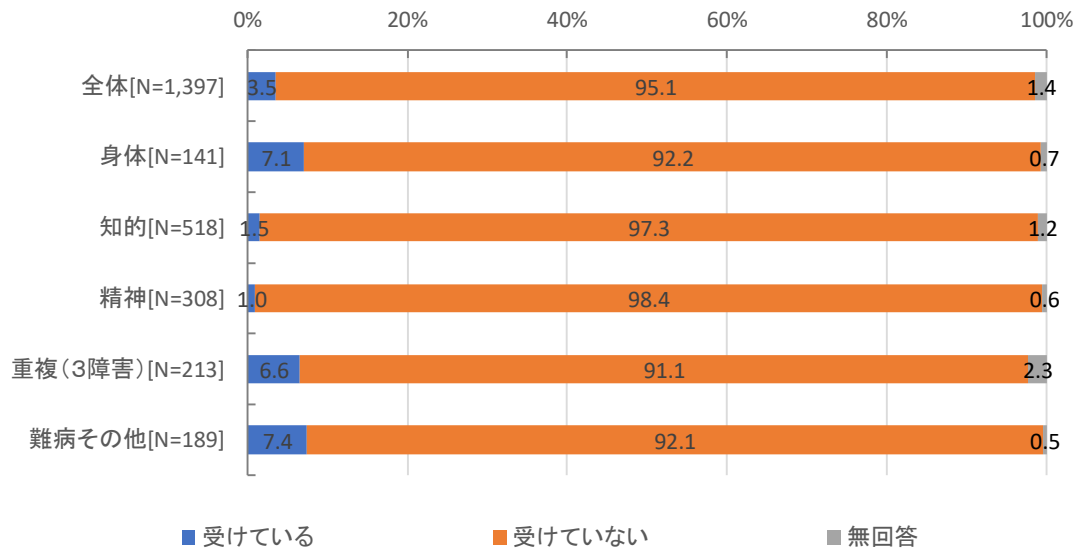
図表 16 日常生活での介助の必要度(n=1,397)



問 9 あなたは日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）を受けていますか。（1つに○）

日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）の状況を見ると、「受けている」が3.5%、「受けていない」が95.1%となっている。

図表 17 日常的な医療的ケア(n=1,397)_障害種別



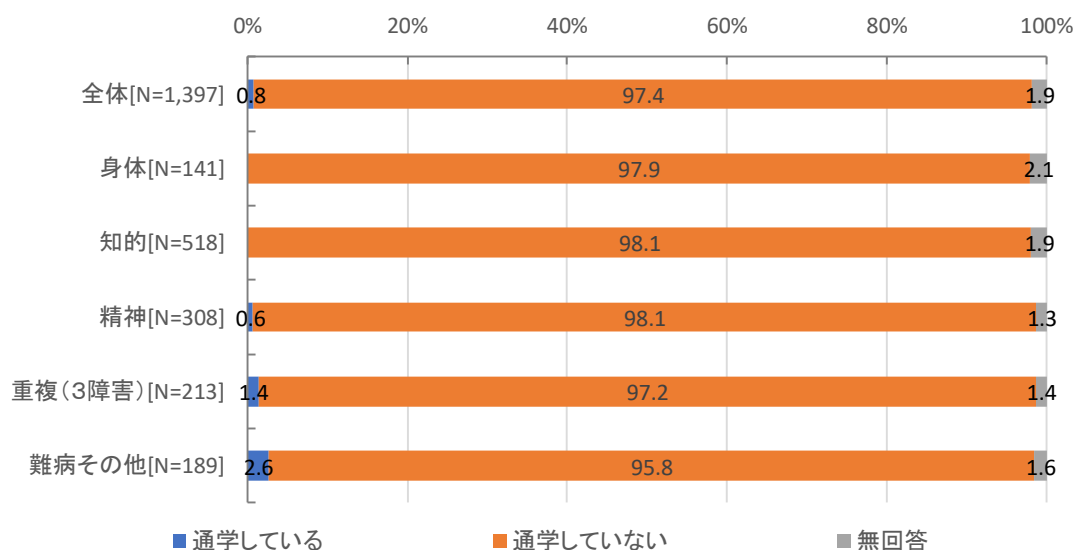
③通学・就業の状況

■ 通学状況

問 10 あなたは現在、学校（大学、専門学校等）に通っていますか。（1つに○）

通学の状況を見ると、学校（大学、専門学校等）に「通学している」が0.8%、「通学していない」が97.4%となっている。

図表 18 通学状況（n=1,397）_世帯・居住形態別

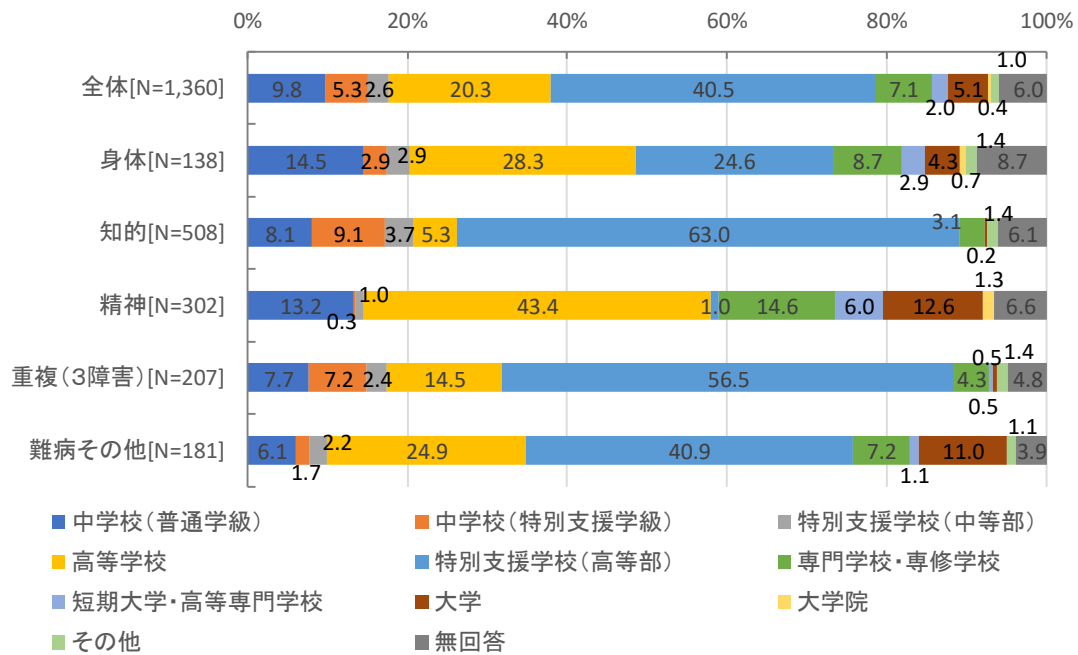


問 11 前の問で「通学していない」と回答した方にお聞きします。あなたが卒業した最終の学校の種類を教えてください。(1つに○)

卒業した最終の学校の種類をみると、「特別支援学校(高等部)」が40.5%と最も高く、次いで「高等学校」が20.3%となっている。

障害別では、「知的」「重複(3障害)」「難病その他」で「特別支援学校(高等部)」が4～6割程度と最も高いのに対し、「身体」「精神」で「高等学校」が最も高くなっている。

図表 19 最終の学校の種類 (n=1,360) _障害種別



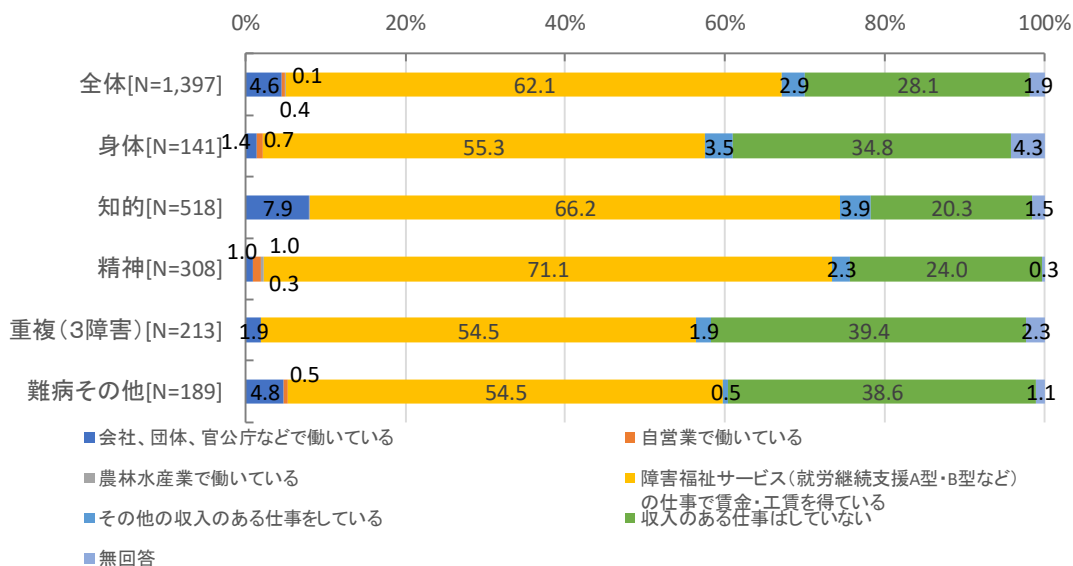
■ 就業状況

問 12 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

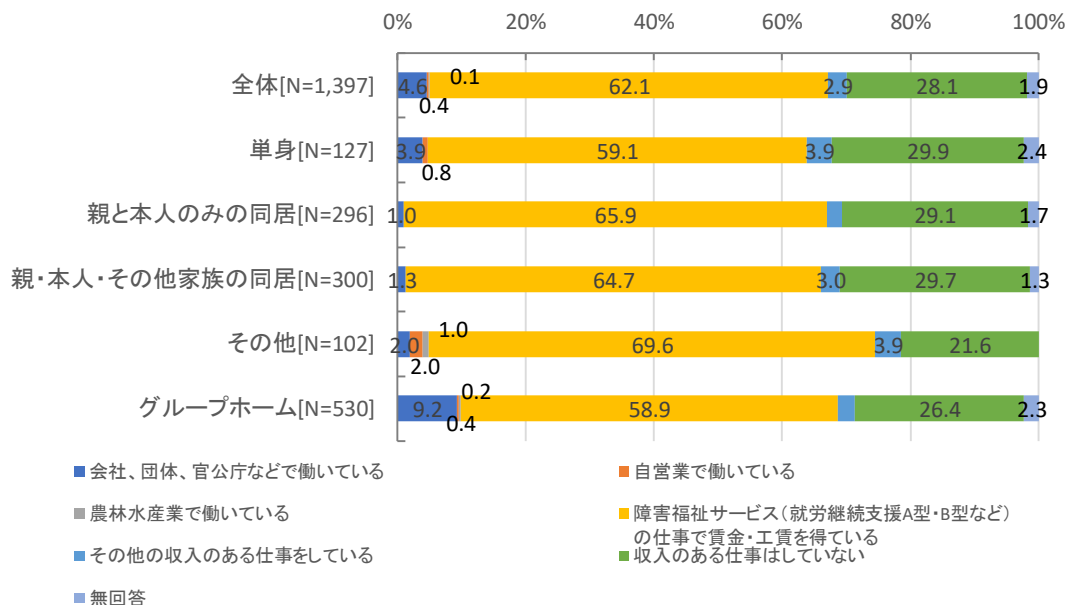
就業の状況を見ると、「障害福祉サービス（就労継続支援 A 型・B 型など）の仕事で賃金・工賃を得ている」が 62.1%と最も高く、次いで「収入のある仕事はしていない」が 28.1%となっている。

障害別では、「知的」で「会社、団体、官公庁などで働いている」の割合が 1 割弱見られる。

図表 20 就業状況（n=1,397）_障害種別



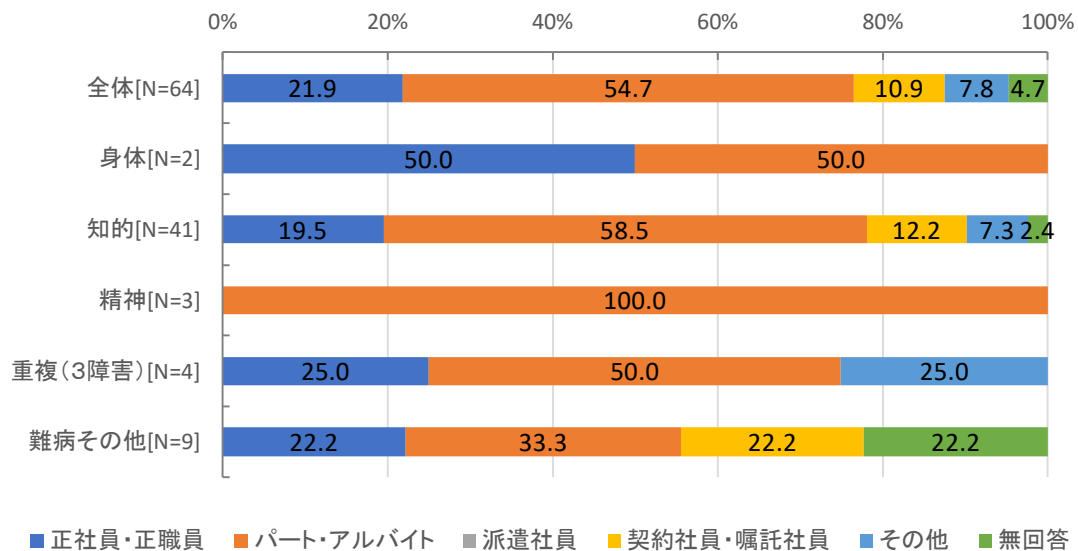
図表 21 就業状況（n=1,397）_世帯・居住形態別



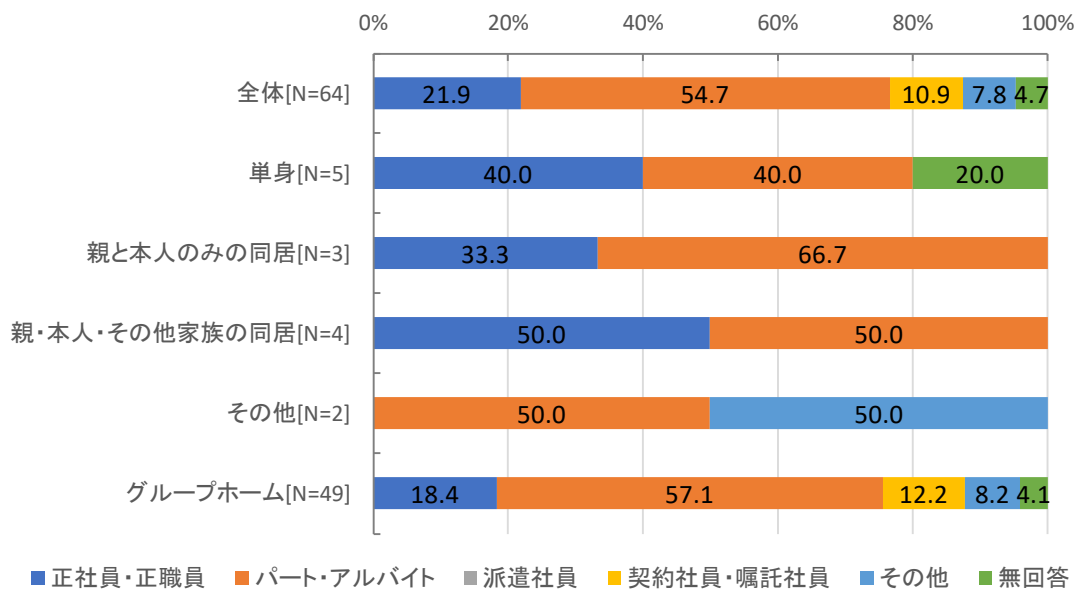
問 13 前の問で「1 会社、団体、官公庁などで働いている」と回答した方にお聞きします。勤務形態を教えてください。（1つに○）

会社、団体、官公庁などで働いている人の勤務形態を見ると、「パート・アルバイト」が 54.7%と最も高く、次いで「正社員・正職員」が 21.9%となっている。

図表 22 勤務形態（n=64）_障害種別



図表 23 勤務形態（n=64）_世帯・居住形態別

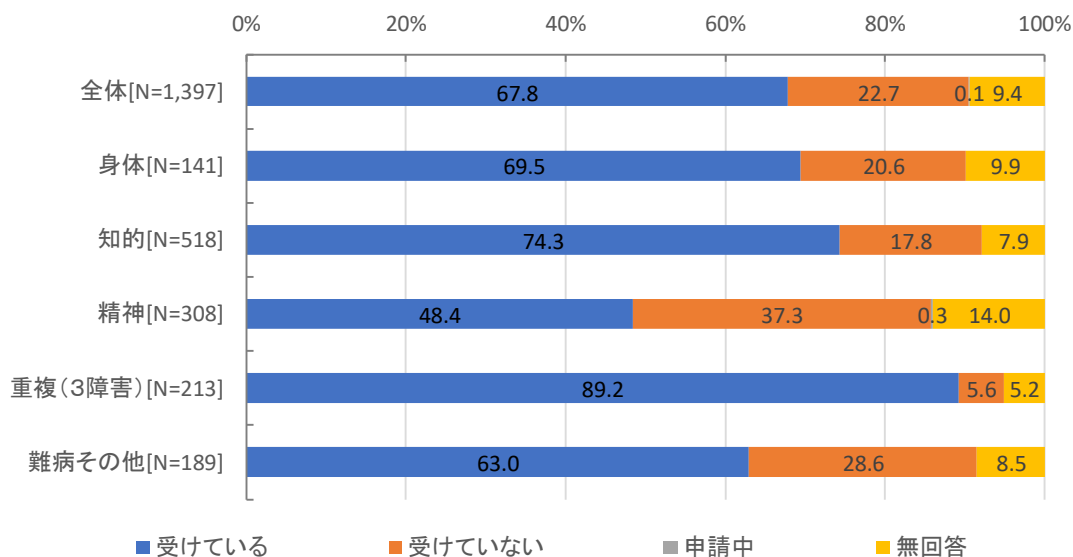


④サービス利用の状況

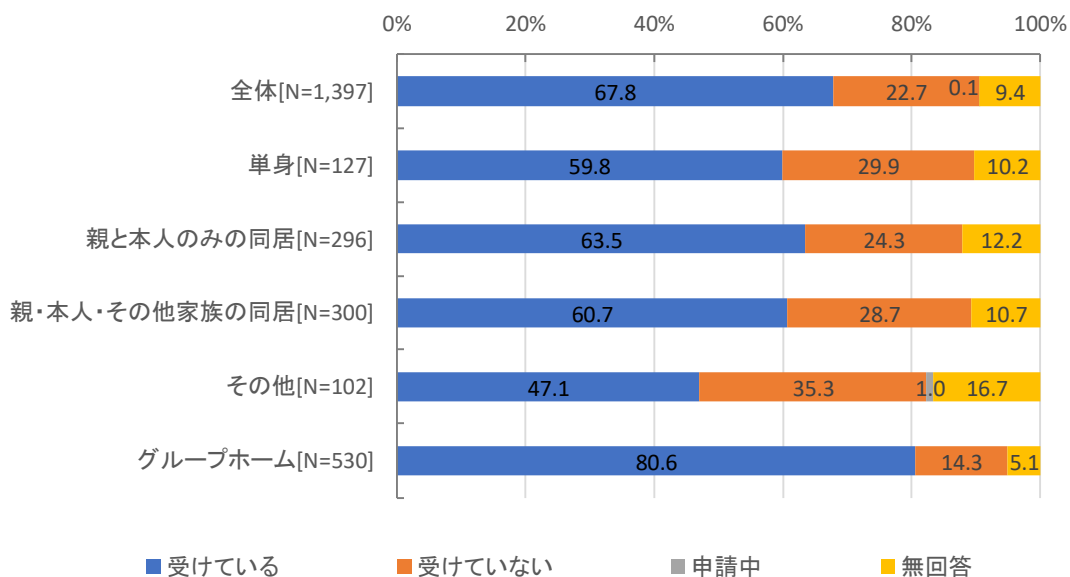
問 14 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○)

障害支援区分の認定をみると、「受けている」が67.8%、「受けていない」が22.7%、「申請中」が0.1%となっている。障害別では、「精神」で「受けていない」の割合が比較的高くなっている。

図表 24 障害支援区分の認定（n=1,397）_障害種別

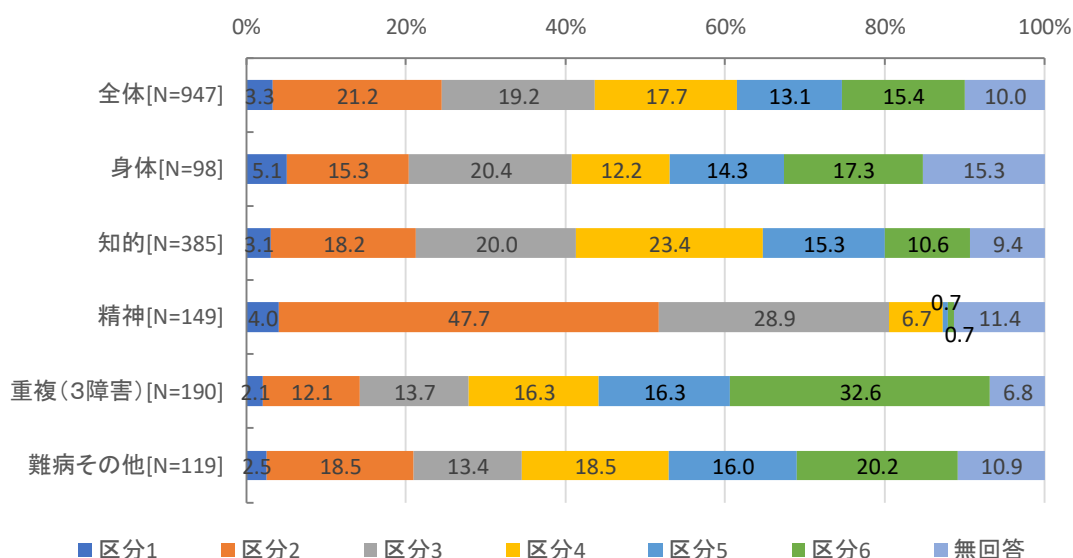


図表 25 障害支援区分の認定（n=1,397）_世帯・居住形態別

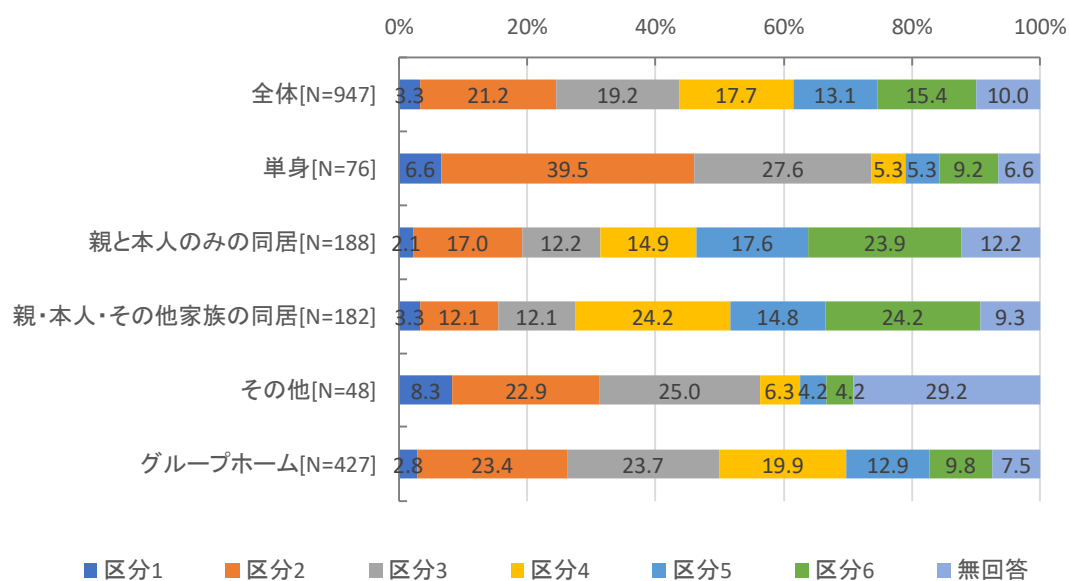


障害支援区分の認定を受けている人に、区分を聞いたところ、「区分 2」が 21.2%と最も多くなっている。障害別では、「重複（3 障害）」で「区分 5」「区分 6」の割合が比較的高くなっている。世帯・居住形態別では、「親と本人のみの同居」「親・本人・その他家族の同居」で「区分 5」「区分 6」が約 4 割となっている。

図表 26 障害支援区分（n=947）_障害種別



図表 27 障害支援区分（n=947）_世帯・居住形態別

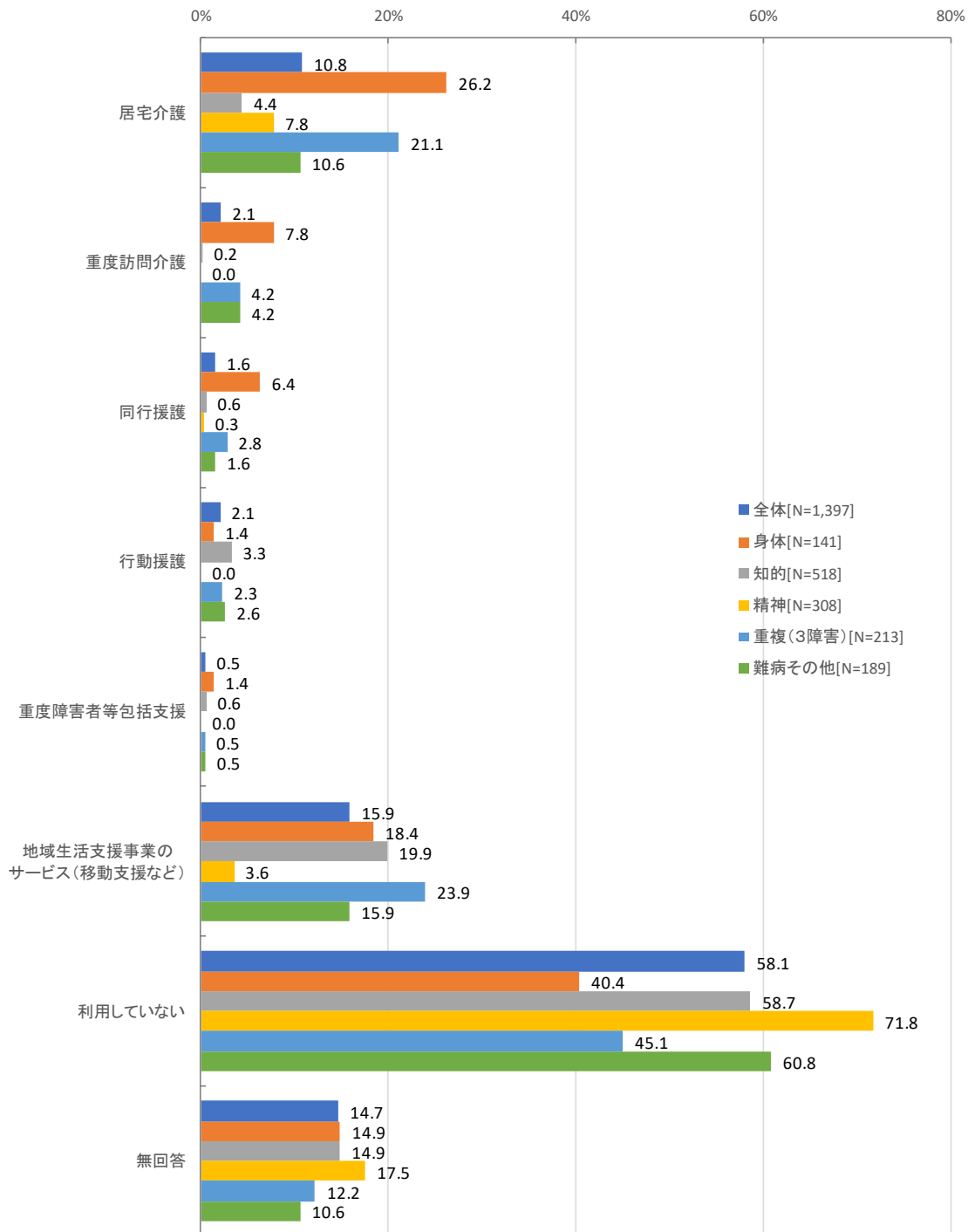


問 15 あなたは、令和元年7月の1か月に、障害福祉サービスの訪問サービスをどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用時間数を記入してください。

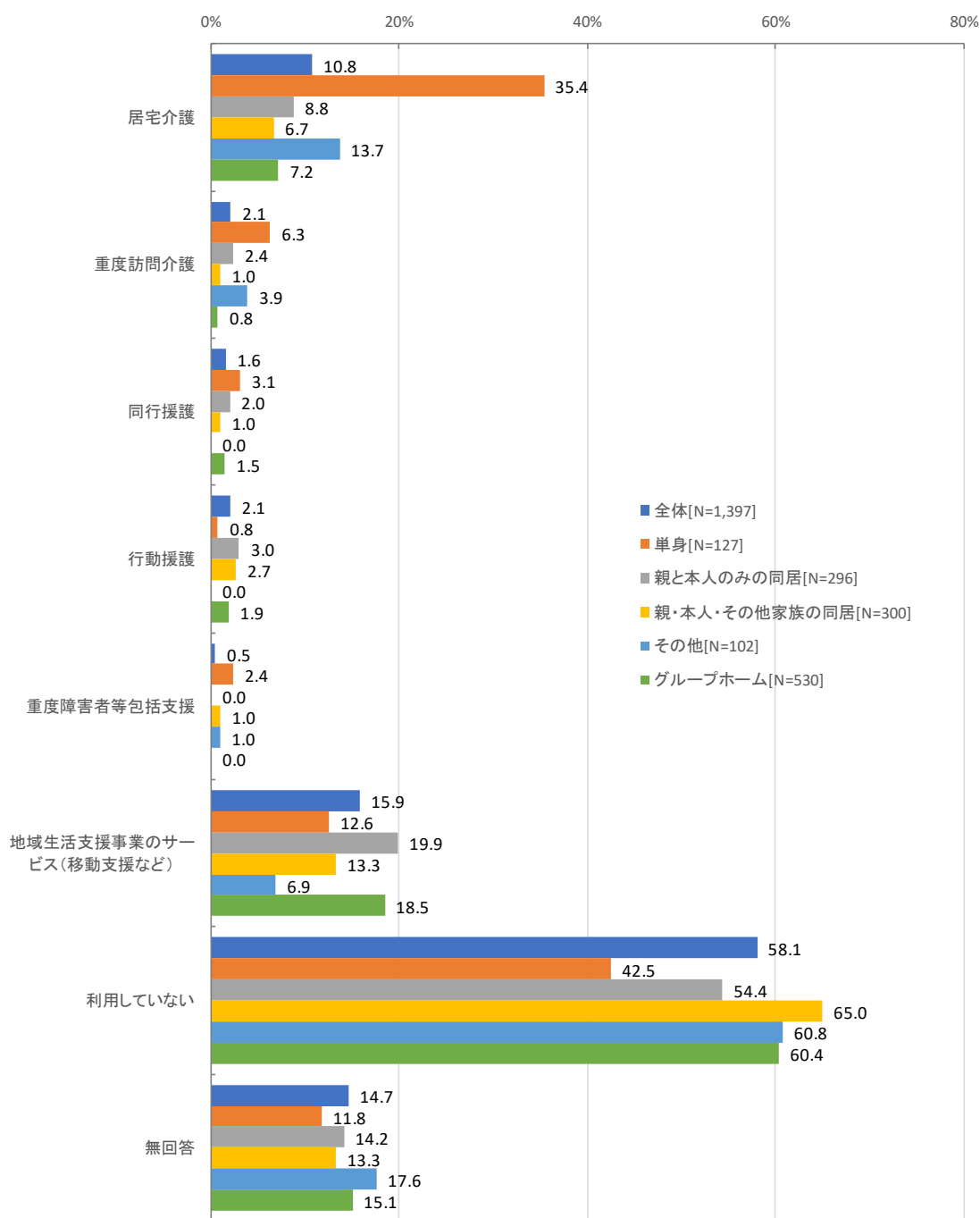
訪問サービスを「利用していない」が58.1%となっており、利用したサービスについては、「地域生活支援事業のサービス（移動支援など）」が15.9%となっている。

障害別では、「身体」で「居宅介護」の割合が3割弱と比較的高く、「重複（3障害）」で「居宅介護」「地域生活支援事業のサービス（移動支援など）」の割合が2割以上と比較的高くなっている。世帯・居住形態別では、「単身」で「居宅介護」が約3割と比較的高くなっている。

図表 28 利用した訪問サービス（複数回答：n=1,397）_障害種別



図表 29 利用した訪問サービス（複数回答：n=1,397）_世帯・居住形態別



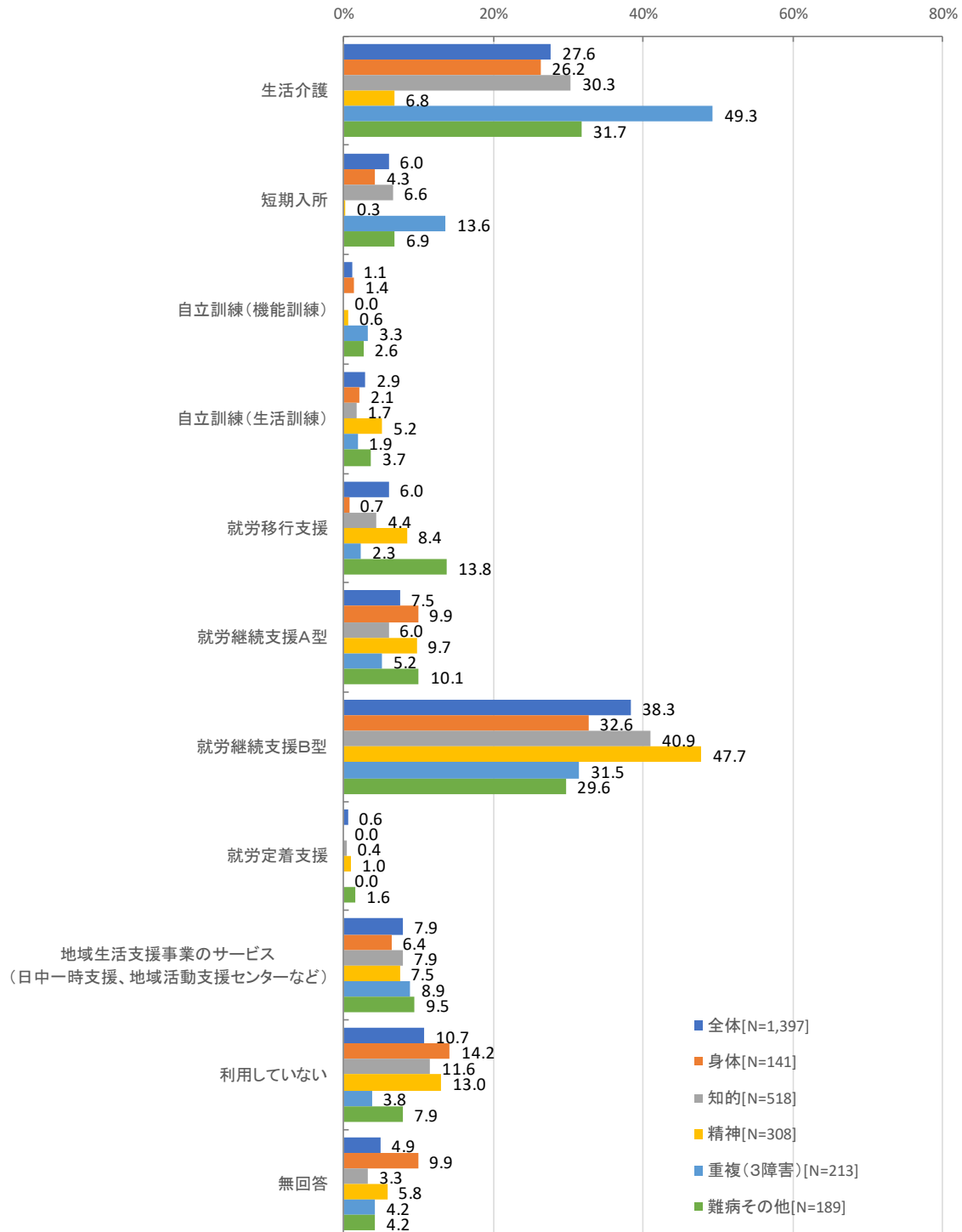
図表 30 サービスの平均利用時間数

サービス	平均利用時間（時間）
居宅介護（n = 136）	30.2
重度訪問介護（n = 24）	175.6
同行援護（n = 18）	12.1
行動援護（n = 27）	20.3
重度障害者等包括支援（n = 0）	0.0
地域生活支援事業のサービス（移動支援など）（n = 193）	19.0

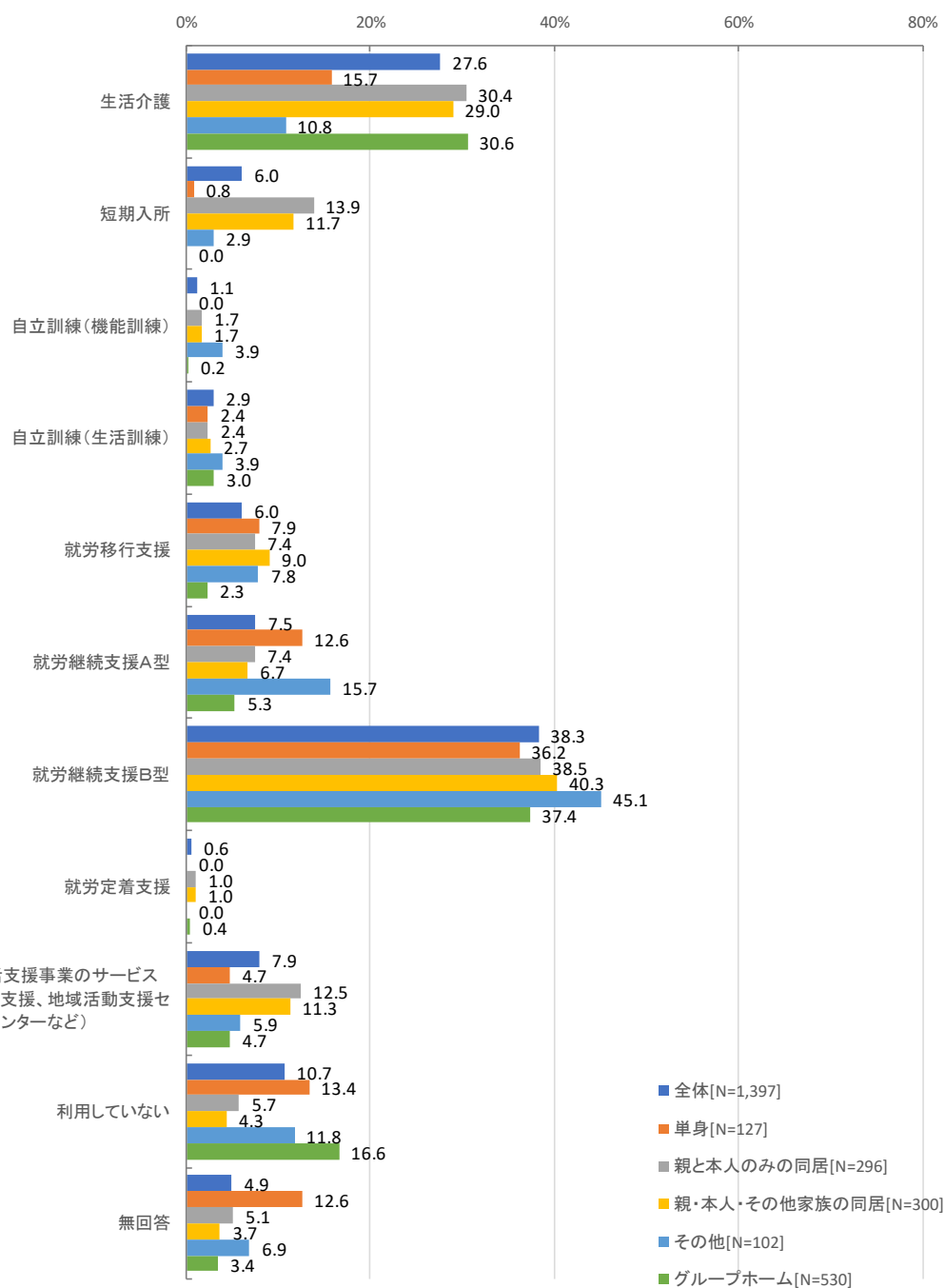
問 16 あなたは、令和元年 7 月の 1 か月に、障害福祉サービスの通所サービス等をどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1 か月の利用日数を記入してください。

利用した通所サービスをみると、「就労継続支援 B 型」が 38.3%、「生活介護」が 27.8%となっている。障害別では、「知的」「精神」で「就労継続支援 B 型」の割合が約 4 割と比較的高くなっており、「重複（3 障害）」で「生活介護」が約半数と比較的高くなっている。

図表 31 利用した通所サービス（複数回答：n=1,397）_障害種別



図表 32 利用した通所サービス（複数回答：n=1,397）_世帯・居住形態別



図表 33 サービスの平均利用日数

サービス	平均利用日数（日）
生活介護（n = 375）	20.0
短期入所（n = 82）	5.7
自立訓練（機能訓練）（n = 15）	8.5
自立訓練（生活訓練）（n = 37）	20.9
就労移行支援（n = 71）	20.3
就労継続支援 A 型（n = 89）	20.7
就労継続支援 B 型（n = 490）	19.9
就労定着支援（n = 5）	1.4
地域生活支援事業のサービス（日中一時支援、地域活動支援センターなど）（n = 97）	10.3

⑤収入・支出の状況

問 17 あなたの令和元年7月の1か月分の収入額を教えてください。それぞれの項目別に収入額を記入してください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入も記入してください。

ひと月の収入額をみると、本人の平均収入額は80,357円となっている。収入の内訳は、「障害年金などの公的年金」が48,219円（60.0%）、「賃金、工賃など働いて得た収入」が21,625円（26.9%）となっている。

配偶者、その他同居者の平均収入額は、それぞれ、132,015円、272,488円で、収入の内訳では、「賃金、工賃など働いて得た収入」が多くなっている。

世帯単位で平均収入額を算定したところ、世帯の平均収入は129,883円、内訳では、「賃金、工賃など働いて得た収入」が57,186円（44.0%）、「障害年金などの公的年金」が56,177円（43.3%）となっている。

図表 34 平均収入金額（単位：円）

区分	収入月額		収入月額の内訳				
	合計		賃金、工賃 など働いて得 た収入	障害年金な どの公的年 金	公的な手当	家族などから の仕送り	その他の収入
本人 (n=1,134)	平均額	80,357	21,625	48,219	6,293	1,416	2,803
	構成比	100.0%	26.9%	60.0%	7.8%	1.8%	3.5%
配偶者 (n=25)	平均額	132,015	102,958	22,258	6,800	0	0
	構成比	100.0%	78.0%	16.9%	5.2%	0.0%	0.0%
その他同居者 (n=194)	平均額	272,488	194,600	43,644	22,960	1,546	9,737
	構成比	100.0%	71.4%	16.0%	8.4%	0.6%	3.6%
世帯平均 (n=1,134)	平均額	129,883	57,186	56,177	10,371	1,680	4,469
	構成比	100.0%	44.0%	43.3%	8.0%	1.3%	3.4%

世帯単位の平均収入額を年齢別でみると、収入額合計は「30 歳未満」が最も高く 182,088 円、「60 歳以上」が最も低く 87,026 円となっている。収入内訳は「30 歳未満」では「給料、報酬、賃金、工賃など働いて得た収入」の割合が最も高いのに対し、「30 歳代」以上の回答者では、「障害年金などの公的年金」の割合が最も高くなっている。

障害別でみると、収入額合計は「難病その他」が最も高く 167,509 円、「精神」が最も低く 101,238 円となっている。収入内訳は「難病その他」では「給料、報酬、賃金、工賃など働いて得た収入」の割合が最も高いのに対し、それ以外の障害種別の回答者では、「障害年金などの公的年金」の割合が 4 割程度と最も高くなっている。

世帯・居住形態別でみると、収入額合計は「親・本人・その他家族の同居」が最も高く 188,372 円、「グループホーム」が最も低く 85,130 円となっている。収入内訳は「親・本人・その他家族の同居」「その他」で「給料、報酬、賃金、工賃など働いて得た収入」の割合が最も高いのに対し、それ以外の回答者では、「障害年金などの公的年金」の割合が最も高くなっている。

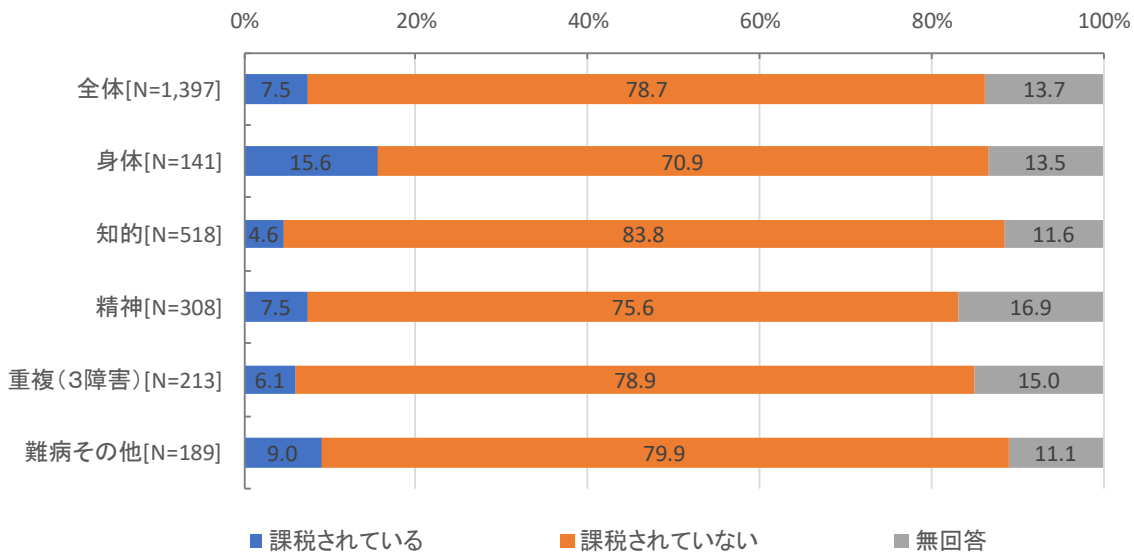
図表 27 世帯単位の平均収入金額（単位：円）_クロス集計結果

		調査数	合計	給料、報酬、賃金、工賃など働いて得た収入	障害年金などの公的年金	公的な手当	家族などからの仕送り	その他の収入
全体		1,134	129,883 100.0%	57,186 44.0%	56,177 43.3%	10,371 8.0%	1,680 1.3%	4,469 3.4%
年齢区分別	30 歳未満	234	182,088 100.0%	111,919 61.5%	54,160 29.7%	11,868 6.5%	1,581 0.9%	2,560 1.4%
	30 歳代	249	144,818 100.0%	61,184 42.2%	67,732 46.8%	8,593 5.9%	1,655 1.1%	5,655 3.9%
	40 歳代	269	114,128 100.0%	40,780 35.7%	56,586 49.6%	11,990 10.5%	1,721 1.5%	3,051 2.7%
	50 歳代	232	107,372 100.0%	41,348 38.5%	48,338 45.0%	10,089 9.4%	1,703 1.6%	5,894 5.5%
	60 歳以上	137	87,026 100.0%	18,556 21.3%	53,901 61.9%	8,377 9.6%	1,866 2.1%	4,326 5.0%
障害種別	身体	100	124,567 100.0%	48,541 39.0%	60,919 48.9%	12,223 9.8%	300 0.2%	2,584 2.1%
	知的	444	127,717 100.0%	58,906 46.1%	58,689 46.0%	7,199 5.6%	435 0.3%	2,489 1.9%
	精神	259	101,238 100.0%	34,695 34.3%	42,052 41.5%	11,246 11.1%	4,012 4.0%	9,234 9.1%
	重複（3 障害）	174	149,192 100.0%	57,736 38.7%	72,323 48.5%	15,509 10.4%	2,718 1.8%	905 0.6%
	難病その他	143	167,509 100.0%	92,480 55.2%	54,355 32.4%	12,030 7.2%	1,193 0.7%	7,451 4.4%
世帯・居住形態別	単身	98	95,567 100.0%	32,705 34.2%	38,133 39.9%	11,340 11.9%	3,418 3.6%	9,969 10.4%
	親と本人のみの同居	240	172,595 100.0%	73,589 42.6%	74,773 43.3%	17,196 10.0%	354 0.2%	6,684 3.9%
	親・本人・その他家族の同居	228	188,372 100.0%	109,568 58.2%	62,977 33.4%	12,235 6.5%	1,768 0.9%	1,825 1.0%
	その他	74	158,718 100.0%	97,101 61.2%	44,306 27.9%	8,986 5.7%	1,081 0.7%	7,243 4.6%
	グループホーム	466	85,130 100.0%	24,011 28.2%	49,424 58.1%	6,494 7.6%	2,139 2.5%	3,062 3.6%

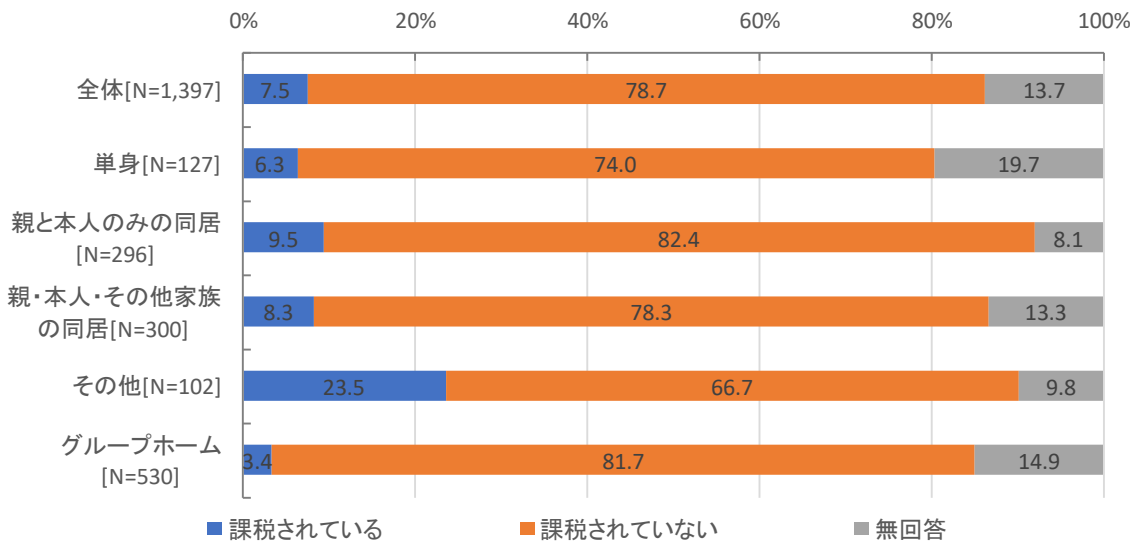
問 18 税金、生活保護について、あなたの課税、受給の状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

住民税の状況をみると、「課税されている」が7.5%、「課税されていない」が78.7%となっている。

図表 35 住民税の状況（n=1,397）_障害種別

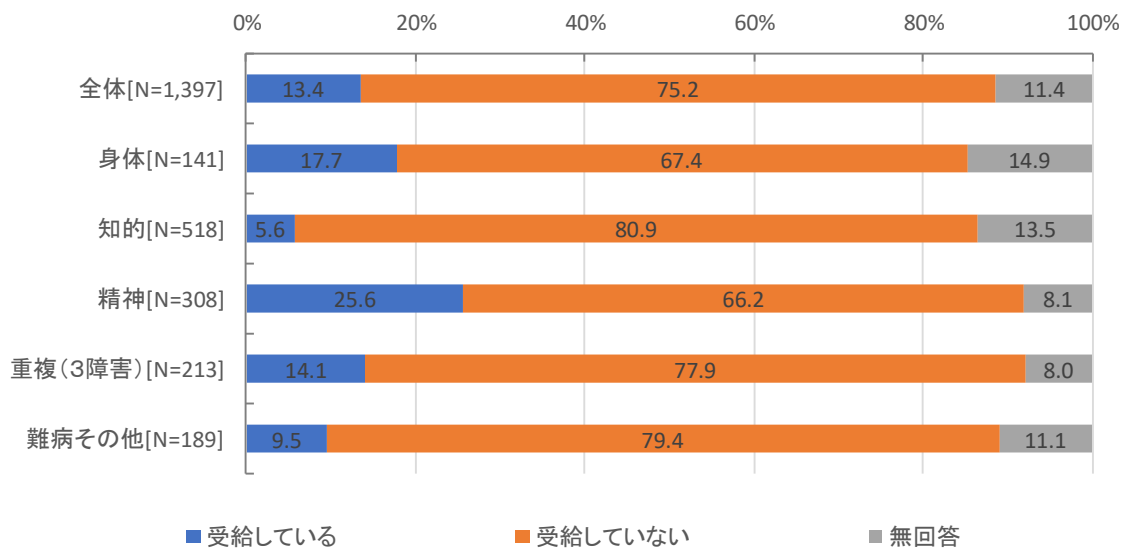


図表 36 住民税の状況（n=1,397）_世帯・居住形態別

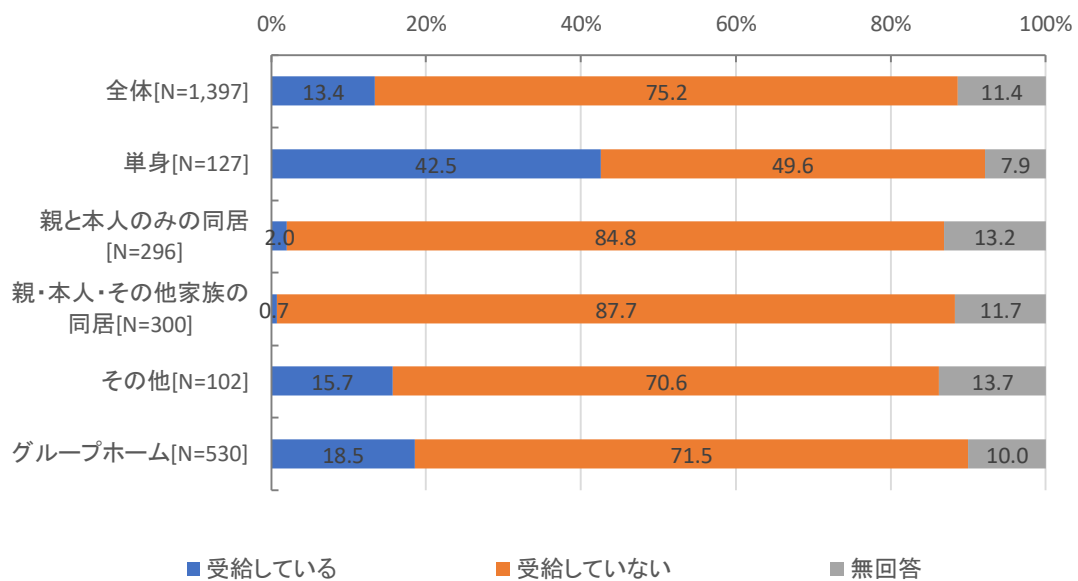


生活保護の状況をみると、「受給している」が 13.4%、「受給していない」が 75.2%となっている。障害別では、「精神」で「受給している」が2割以上と比較的高くなっている。

図表 37 生活保護の状況（n=1,397）_障害種別



図表 38 生活保護の状況（n=1,397）_世帯・居住形態別



問 19 あなたの世帯の令和元年7月の支出額を教えてください。支出額は、サービス事業者に支払ったものと、それ以外を分けて、それぞれの項目別に、ひと月分の支出額を記入してください。

ひと月の支出額をみると、本人のサービス事業者への支払平均額は、31,176 円となっている。内訳は、「食費（自己負担分）」が 10,537 円（33.8%）、「住居費（家賃・部屋代など）」が 9,931 円（31.9%）となっている。

同居者のサービス事業者への支払平均額は、2,219 円となっている。サービス事業者に支払い以外の支出は平均 61,132 円で、内訳は「食費」が 16,489 円（27.0%）、「住居費」が 8,036 円（13.1%）となっている。

図表 39 平均支出金額（単位：円）

	支出月額の内訳	平均額	（構成比）
サービス事業者への 支払額 （本人） （n=782）	サービス利用料	4,735	15.2%
	住居費（家賃・部屋代など）	9,931	31.9%
	食費（自己負担分）	10,537	33.8%
	光熱水費（自己負担分）	4,038	13.0%
	その他、上記以外の費目の支払額	1,935	6.2%
	合計	31,176	100.0%
サービス事業者への 支払額 （同居者） （n=317）	サービス利用料	285	12.8%
	住居費（家賃・部屋代など）	343	15.5%
	食費（自己負担分）	748	33.7%
	光熱水費（自己負担分）	206	9.3%
	その他、上記以外の費目の支払額	637	28.7%
	合計	2,219	100.0%
サービス事業者への 支払以外 （n=782）	食費	16,489	27.0%
	住居費	8,036	13.1%
	光熱水費	4,897	8.0%
	保健医療費	3,415	5.6%
	交通費	3,947	6.5%
	情報通信費	5,959	9.7%
	教育費	782	1.3%
	教養娯楽費	5,980	9.8%
	その他	7,702	12.6%
	税金・保険料	3,926	6.4%
	合計	61,132	100.0%

世帯単位で平均支出額を算定したところ、世帯の平均支出は 93,208 円、内訳では、サービス事業者への支払い以外の「食費」が 16,489 円 (17.7%)、サービス事業者への支払いの「食費 (自己負担分)」が 10,840 円 (11.6%) 等となっている。

図表 40 世帯単位の平均支出金額 (単位: 円)

(n=782)	支出月額の内訳	平均額	(構成比)
サービス事業者への 支払額	サービス利用料	4,850	5.2%
	住居費 (家賃・部屋代など)	10,070	10.8%
	食費 (自己負担分)	10,840	11.6%
	光熱水費 (自己負担分)	4,122	4.4%
	その他、上記以外の費目の支払額	2,193	2.4%
サービス事業者への 支払以外	食費	16,489	17.7%
	住居費	8,036	8.6%
	光熱水費	4,897	5.3%
	保健医療費	3,415	3.7%
	交通費	3,947	4.2%
	情報通信費	5,959	6.4%
	教育費	782	0.8%
	教養娯楽費	5,980	6.4%
	その他	7,702	8.3%
	税金・保険料	3,926	4.2%
合計		93,208	100.0%

世帯単位の平均支出額を年齢別でみると、支出額合計は「40 歳代」が最も高く 97,558 円、「60 歳以上」が最も低く 77,386 円となっている。支出内訳は「60 歳以上」で「事業者支払」の「食費（自己負担分）」が最も高く、それ以外の年代ではサービス事業者への支払い以外の「食費」が最も高くなっている。

図表 41 世帯単位の平均支出金額（単位：円）_年齢区分別

		全体		30 歳未満		30 歳代	
調査数		782		143		148	
合計		93,208	100.0%	92,462	100.0%	94,822	100.0%
事業者支払	サービス利用料	4,850	5.2%	3,023	3.3%	3,184	3.4%
	住居費（家賃・部屋代など）	10,070	10.8%	4,676	5.1%	9,766	10.3%
	食費（自己負担分）	10,840	11.6%	6,686	7.2%	9,743	10.3%
	光熱水費（自己負担分）	4,122	4.4%	1,979	2.1%	3,874	4.1%
	その他、上記以外の費目の支払額	2,193	2.4%	1,003	1.1%	2,618	2.8%
食費		16,489	17.7%	18,815	20.3%	19,095	20.1%
住居費		8,036	8.6%	8,322	9.0%	5,989	6.3%
光熱水費		4,897	5.3%	5,398	5.8%	5,031	5.3%
保健医療費		3,415	3.7%	4,983	5.4%	3,760	4.0%
交通費		3,947	4.2%	6,146	6.6%	4,207	4.4%
情報通信費		5,959	6.4%	9,440	10.2%	5,884	6.2%
教育費		782	0.8%	1020	1.1%	381	0.4%
教養娯楽費		5,980	6.4%	7,491	8.1%	6,564	6.9%
その他		7,702	8.3%	6,763	7.3%	10,080	10.6%
税金・保険料		3,926	4.2%	6,719	7.3%	4,645	4.9%

		40 歳代		50 歳代		60 歳以上	
調査数		188		176		115	
合計		97,558	100.0%	93,539	100.0%	77,386	100.0%
事業者支払	サービス利用料	5,823	6.0%	7,450	8.0%	3,772	4.9%
	住居費（家賃・部屋代など）	11,465	11.8%	11,295	12.1%	12,792	16.5%
	食費（自己負担分）	11,738	12.0%	11,658	12.5%	14,271	18.4%
	光熱水費（自己負担分）	4,661	4.8%	4,650	5.0%	5,173	6.7%
	その他、上記以外の費目の支払額	1,593	1.6%	3,355	3.6%	1,802	2.3%
食費		17,480	17.9%	13,895	14.9%	11,636	15.0%
住居費		9,259	9.5%	9,669	10.3%	5,130	6.6%
光熱水費		4,172	4.3%	5,614	6.0%	3,046	3.9%
保健医療費		2,317	2.4%	3,101	3.3%	3,292	4.3%
交通費		4,206	4.3%	2,718	2.9%	2,148	2.8%
情報通信費		5,855	6.0%	5,396	5.8%	2,777	3.6%
教育費		1358	1.4%	734	0.8%	127	0.2%
教養娯楽費		6,443	6.6%	4,884	5.2%	3,752	4.8%
その他		8,303	8.5%	6,675	7.1%	4,969	6.4%
税金・保険料		2,885	3.0%	2,445	2.6%	2,697	3.5%

障害別でみると、支出額合計は「難病その他」が最も高く 108,563 円、「身体」が最も低く 82,147 円となっている。支出内訳は障害種別でもサービス事業者への支払い以外の「食費」が最も高くなっている。「知的」では事業者への支払の占める割合が比較的高くなっている。

図表 42 世帯単位の平均支出金額（単位：円）_障害種別

		全体		身体		知的	
調査数		782		61		267	
合計		93,208	100.0%	82,147	100.0%	87,574	100.0%
事業者支払	サービス利用料	4,850	5.2%	3,575	4.4%	7,870	9.0%
	住居費（家賃・部屋代など）	10,070	10.8%	7,151	8.7%	11,789	13.5%
	食費（自己負担分）	10,840	11.6%	6,698	8.2%	14,182	16.2%
	光熱水費（自己負担分）	4,122	4.4%	3,076	3.7%	5,115	5.8%
	その他、上記以外の費目の支払額	2,193	2.4%	706	0.9%	1,500	1.7%
食費		16,489	17.7%	12,389	15.1%	14,326	16.4%
住居費		8,036	8.6%	7,861	9.6%	4,341	5.0%
光熱水費		4,897	5.3%	6,726	8.2%	2,917	3.3%
保健医療費		3,415	3.7%	5,174	6.3%	2,284	2.6%
交通費		3,947	4.2%	5,240	6.4%	3,402	3.9%
情報通信費		5,959	6.4%	6,711	8.2%	4,084	4.7%
教育費		782	0.8%	246	0.3%	361	0.4%
教養娯楽費		5,980	6.4%	4,944	6.0%	6,292	7.2%
その他		7,702	8.3%	7,443	9.1%	5,562	6.4%
税金・保険料		3,926	4.2%	4,208	5.1%	3,548	4.1%

		精神		重複		難病その他	
調査数		224		120		101	
合計		92,838	100.0%	97,798	100.0%	108,563	100.0%
事業者支払	サービス利用料	2,963	3.2%	3,269	3.3%	3,056	2.8%
	住居費（家賃・部屋代など）	10,494	11.3%	10,780	11.0%	6,075	5.6%
	食費（自己負担分）	8,329	9.0%	13,141	13.4%	7,410	6.8%
	光熱水費（自己負担分）	3,635	3.9%	4,817	4.9%	2,470	2.3%
	その他、上記以外の費目の支払額	1,881	2.0%	2,557	2.6%	5,101	4.7%
食費		17,203	18.5%	17,067	17.5%	22,200	20.4%
住居費		10,359	11.2%	6,759	6.9%	13,572	12.5%
光熱水費		5,299	5.7%	5,380	5.5%	7,178	6.6%
保健医療費		3,178	3.4%	3,611	3.7%	5,738	5.3%
交通費		3,095	3.3%	4,139	4.2%	6,423	5.9%
情報通信費		6,417	6.9%	6,913	7.1%	7,980	7.4%
教育費		616	0.7%	253	0.3%	1,997	1.8%
教養娯楽費		5,769	6.2%	5,878	6.0%	6,703	6.2%
その他		10,298	11.1%	9,939	10.2%	5,602	5.2%
税金・保険料		3,303	3.6%	3,294	3.4%	7,056	6.5%

世帯・居住形態別でみると、支出額合計は「その他」が最も高く 144,105 円、「親・本人・その他家族の同居」が最も低く 80,977 円となっている。支出内訳は「単身」ではサービス事業者への支払い以外の「住居費」、「グループホーム」では「事業者支払」の「住居費（家賃・部屋代など）」が最も高く、それ以外の世帯・居住形態の回答者ではサービス事業者への支払い以外の「食費」が最も高くなっている。

図表 43 世帯単位の平均支出金額（単位：円）_世帯・居住形態別

		全体		単身		親と本人のみの同居	
調査数		782		82		132	
合計		93,208	100.0%	100,237	100.0%	98,396	100.0%
事業者支払	サービス利用料	4,850	5.2%	568	0.6%	2,351	2.4%
	住居費（家賃・部屋代など）	10,070	10.8%	3,506	3.5%	2,042	2.1%
	食費（自己負担分）	10,840	11.6%	3,778	3.8%	5,125	5.2%
	光熱水費（自己負担分）	4,122	4.4%	1,090	1.1%	869	0.9%
	その他、上記以外の費目の支払額	2,193	2.4%	2,878	2.9%	1,558	1.6%
食費		16,489	17.7%	22,906	22.9%	25,907	26.3%
住居費		8,036	8.6%	26,191	26.1%	6,654	6.8%
光熱水費		4,897	5.3%	9,628	9.6%	7,389	7.5%
保健医療費		3,415	3.7%	2,862	2.9%	5,736	5.8%
交通費		3,947	4.2%	3,354	3.3%	6,955	7.1%
情報通信費		5,959	6.4%	7,718	7.7%	7,070	7.2%
教育費		782	0.8%	98	0.1%	760	0.8%
教養娯楽費		5,980	6.4%	5,576	5.6%	6,726	6.8%
その他		7,702	8.3%	7,700	7.7%	12,398	12.6%
税金・保険料		3,926	4.2%	2,383	2.4%	6,856	7.0%

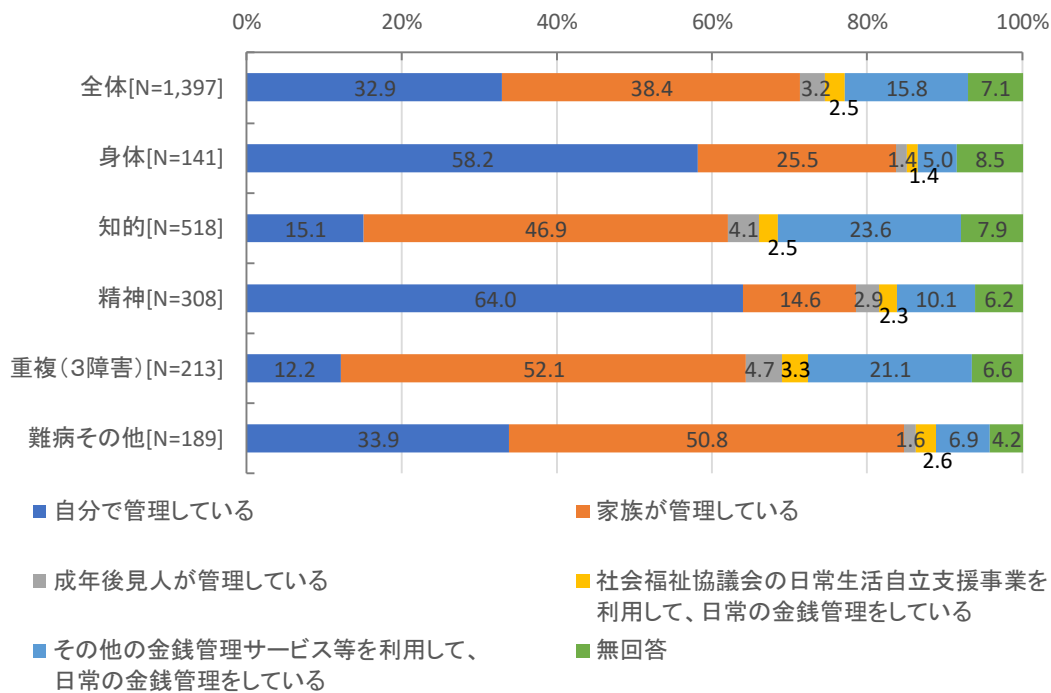
		親・本人・その他家族の同居		その他		グループホーム	
調査数		128		55		362	
合計		80,977	100.0%	144,105	100.0%	86,942	100.0%
事業者支払	サービス利用料	1,313	1.6%	2,430	1.7%	8,455	9.7%
	住居費（家賃・部屋代など）	543	0.7%	2,382	1.7%	19,063	21.9%
	食費（自己負担分）	3,795	4.7%	4,105	2.8%	18,376	21.1%
	光熱水費（自己負担分）	248	0.3%	2,382	1.7%	7,705	8.9%
	その他、上記以外の費目の支払額	692	0.9%	6,140	4.3%	2,269	2.6%
食費		19,864	24.5%	27,472	19.1%	8,909	10.2%
住居費		7,242	8.9%	21,667	15.0%	2,592	3.0%
光熱水費		6,115	7.6%	12,798	8.9%	1,264	1.5%
保健医療費		5,475	6.8%	5,173	3.6%	1,809	2.1%
交通費		6,406	7.9%	5,970	4.1%	1,889	2.2%
情報通信費		8,400	10.4%	13,952	9.7%	3,100	3.6%
教育費		1,741	2.2%	4,279	3.0%	96	0.1%
教養娯楽費		7,070	8.7%	5,617	3.9%	5,118	5.9%
その他		5,942	7.3%	21,353	14.8%	4,634	5.3%
税金・保険料		6,130	7.6%	8,384	5.8%	1,662	1.9%

問 20 あなたの収入・支出のお金について、日常の管理はどのようにしていますか。（1つに○）

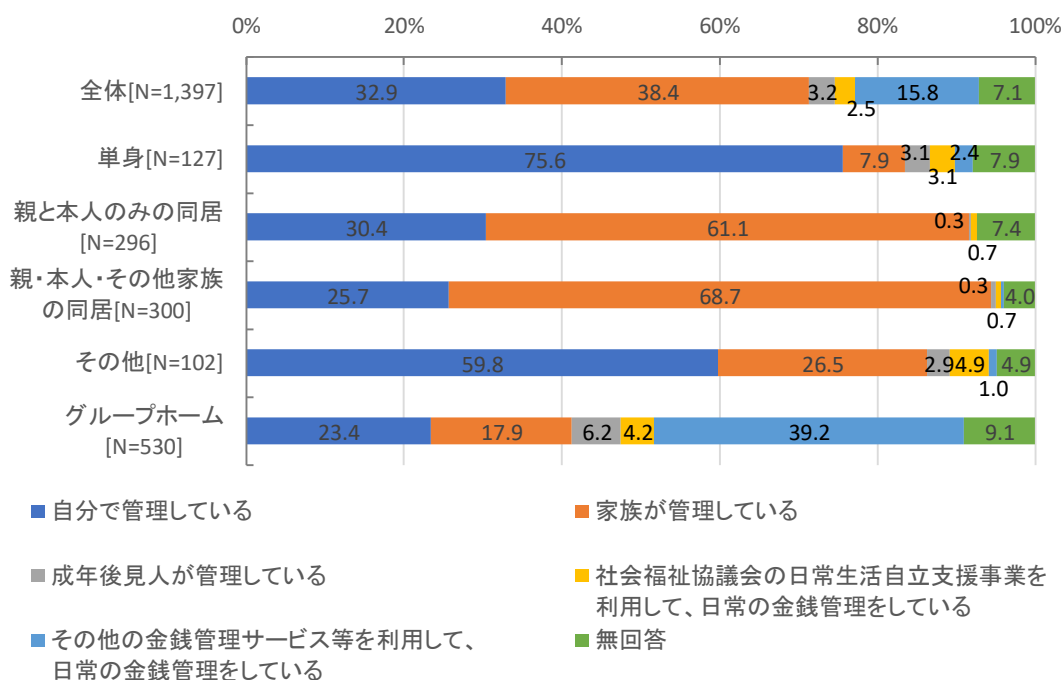
日常のお金の管理をみると、「家族が管理している」が38.4%と最も高く、次いで「自分で管理している」が32.9%となっている。

障害別では、「身体」「精神」で「自分で管理している」の割合が最も高いのに対し、「知的」「重複（3障害）」「難病その他」で「家族が管理している」の割合が最も高くなっている。世帯・居住形態別では、「グループホーム」で「その他の金銭管理サービス等を利用して、日常の金銭管理をしている」が約4割と高くなっている。

図表 44 日常のお金の管理（n=1,397）_障害種別



図表 45 日常のお金の管理（n=1,397）_世帯・居住形態別

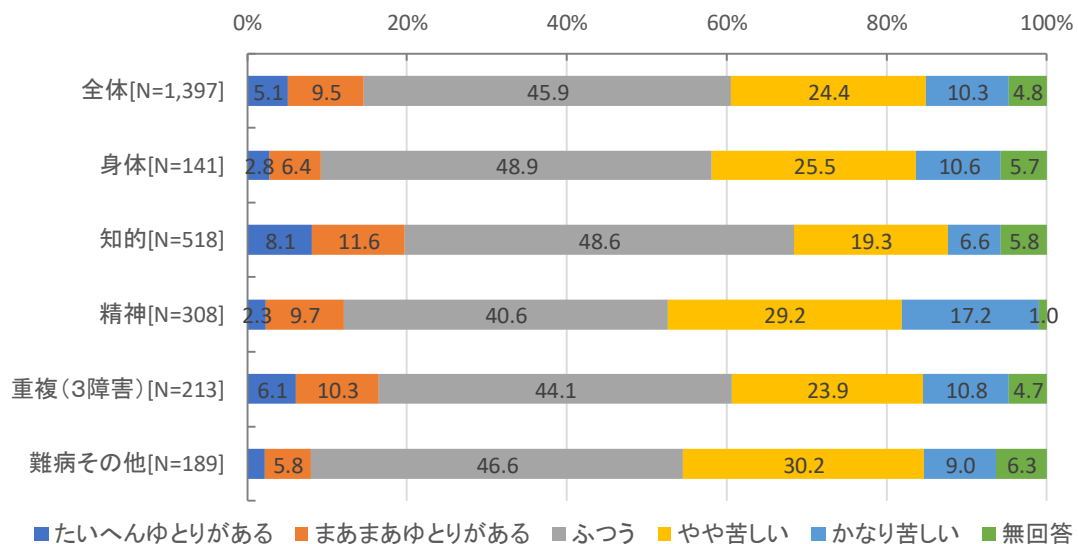


問 21 あなたは、現在の暮らしの状況（家計の状況）について、どのように感じていますか。（1つに○）

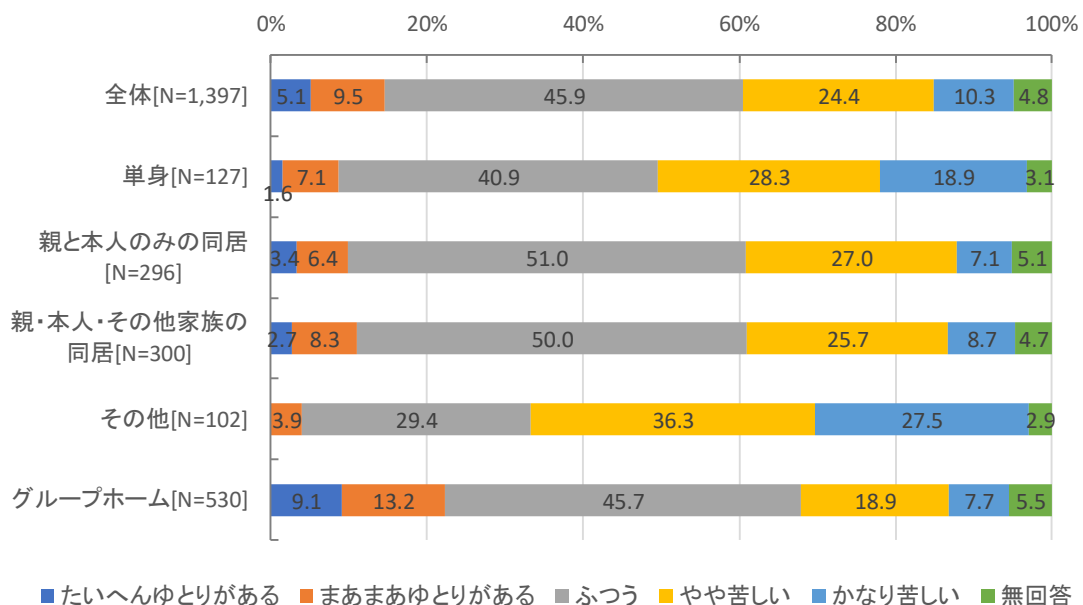
現在の暮らし（家計）の状況は「ふつう」が45.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」が24.4%となっている。

障害別では、「精神」で「やや苦しい」「かなり苦しい」の割合が約半数と比較的高くなっている。世帯・居住形態別では、「単身」「その他」で「やや苦しい」「かなり苦しい」の割合が4～6割程度と比較的高くなっている。

図表 46 現在の暮らしの状況（n=1,397）_障害種別



図表 47 現在の暮らしの状況（n=1,397）_世帯・居住形態別

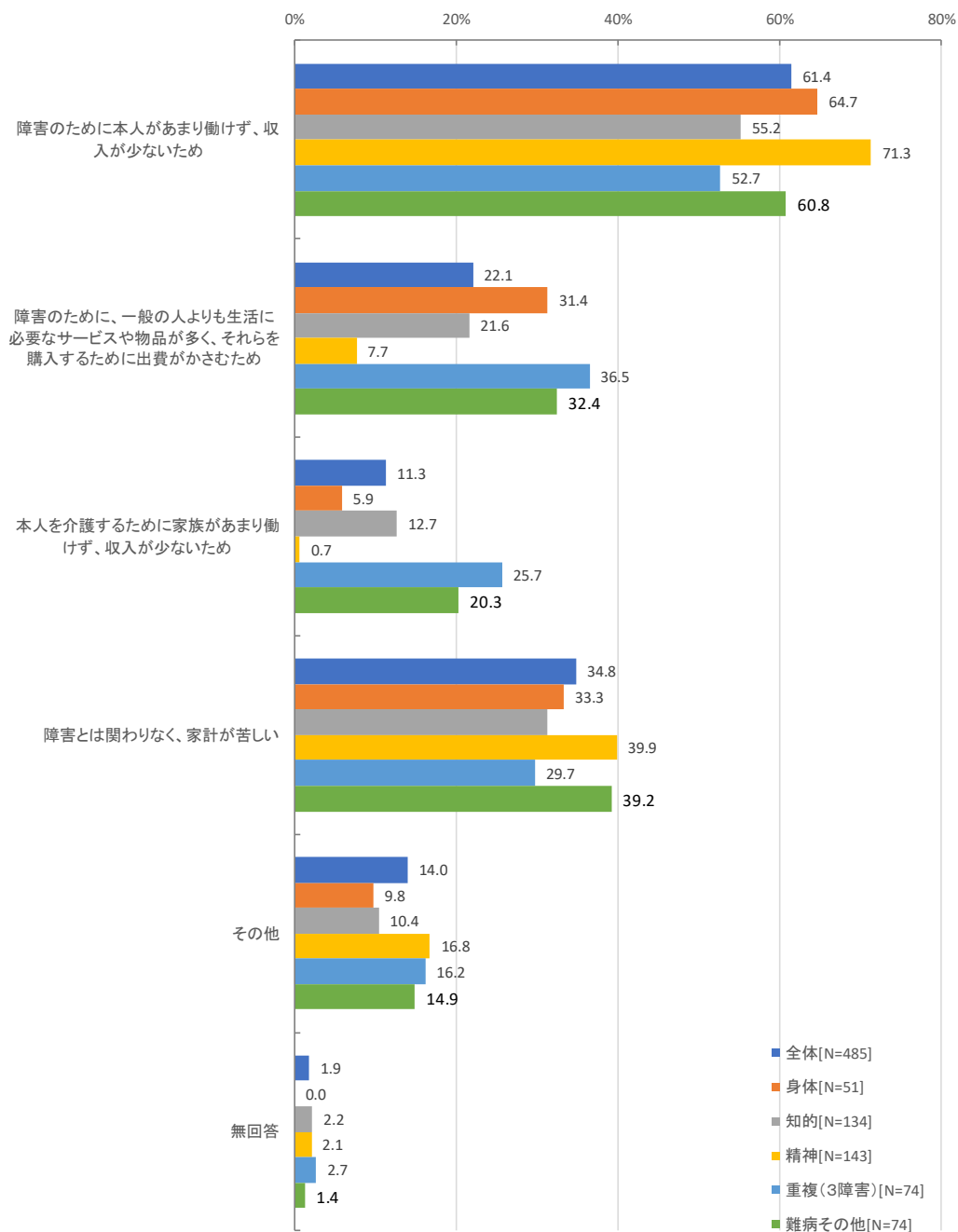


問 22 前の問で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方にお聞きします。暮らしが苦しいと感じる理由は何でしょうか。あてはまるものすべてに○をしてください。

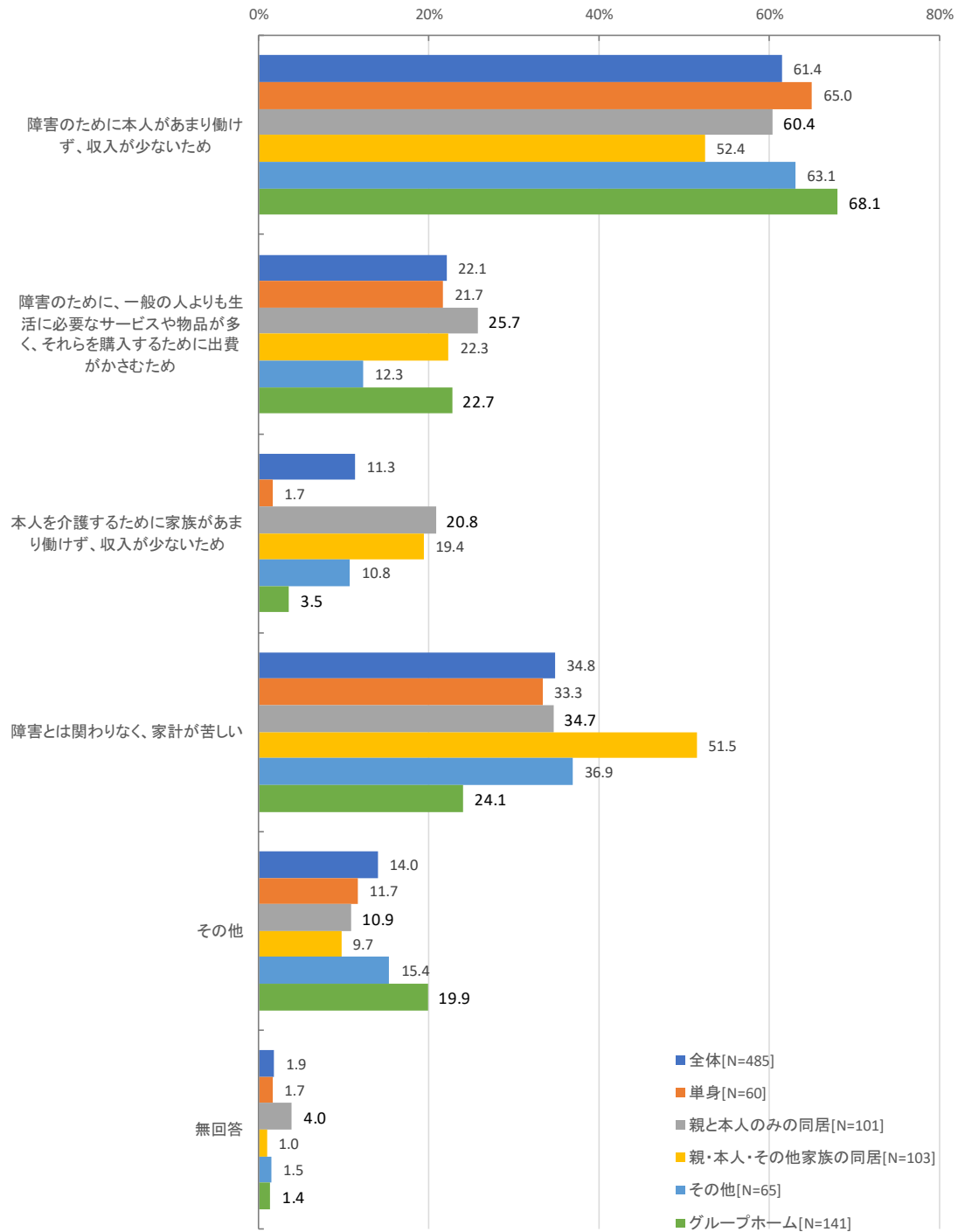
暮らしが苦しいと感じている人に、その理由を聞いたところ、「障害のために本人があまり働けず、収入が少ないため」が61.4%と最も高く、次いで「障害とは関わりなく、家計が苦しい」が34.8%となっている。

障害別では、「身体」「重複（3障害）」「難病その他」で「障害のために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため」が3割以上と、他の障害に比べて比較的高くなっている。世帯・居住形態別では、「親・本人・その他家族の同居」で「障害とは関わりなく、家計が苦しい」が約半数と、他の世帯・居住形態に比べて比較的高くなっている。

図表 48 暮らしが苦しいと感じる理由（複数回答：n=485）_障害種別



図表 49 暮らしが苦しいと感じる理由（複数回答：n=485）_世帯・居住形態別



(3) 障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関する調査

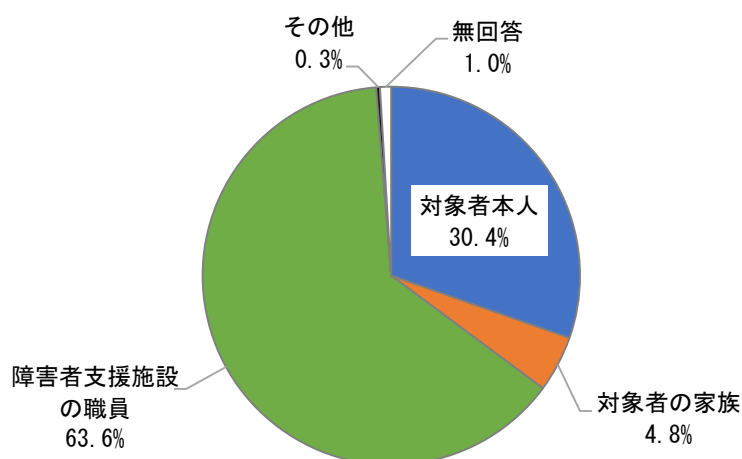
①対象者の属性

■ アンケート回答者

問1 このアンケートに答えた人を教えてください。(1つに○)

アンケート回答者をみると、「障害者支援施設の職員」が63.6%と最も高く、次いで「対象者本人」は30.4%となっている。

図表 50 アンケート回答者 (n=313)

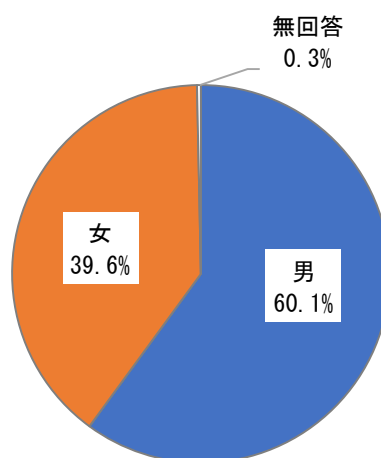


■ 性別・年齢

問3 あなたの性別・年齢を教えてください。

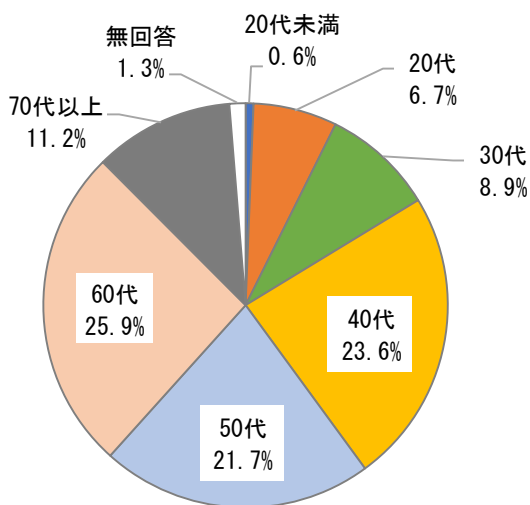
性別をみると、「男性」が60.1%、「女性」が39.6%と、「男性」が「女性」より多くなっている。

図表 51 性別 (n=313)



年齢をみると、「60代」が25.9%と最も多く、次いで「40代」（23.6%）、「50代」（21.7%）等となっている。平均年齢は52.9歳となっている。

図表 52 年齢（n=313）

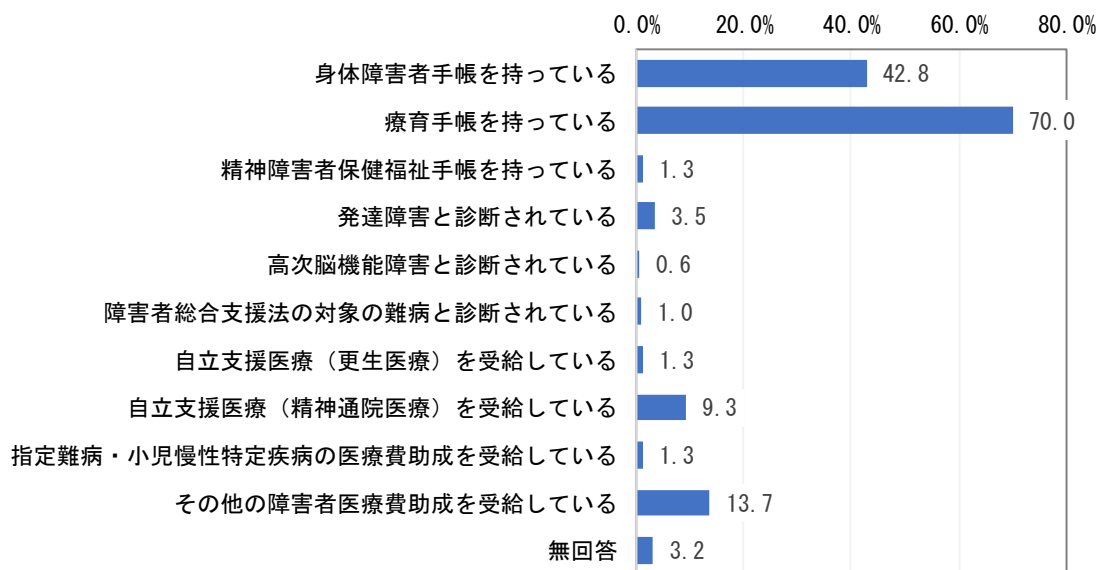


②障害の状況、利用サービス

問 4 あなたがお持ちの障害者手帳、障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きます。あてはまるものすべてに○をしてください。

障害の状況をみると、「身体障害者手帳を持っている」が42.8%、「療育手帳を持っている」が70.0%等となっている。

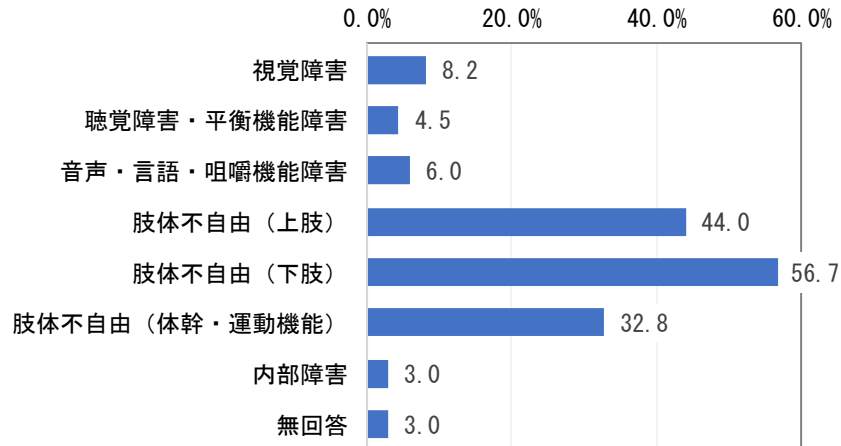
図表 53 障害の状況（複数回答：n=313）



問 4-2 「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きます。障害の種類をお答えください。
あてはまるものすべてに○をしてください。

身体障害手帳所持者の身体障害の内容をみると、「肢体不自由（下肢）」が 56.7%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢）」（44.0%）、「肢体不自由（体幹・運動機能）」（32.8%）等となっている。

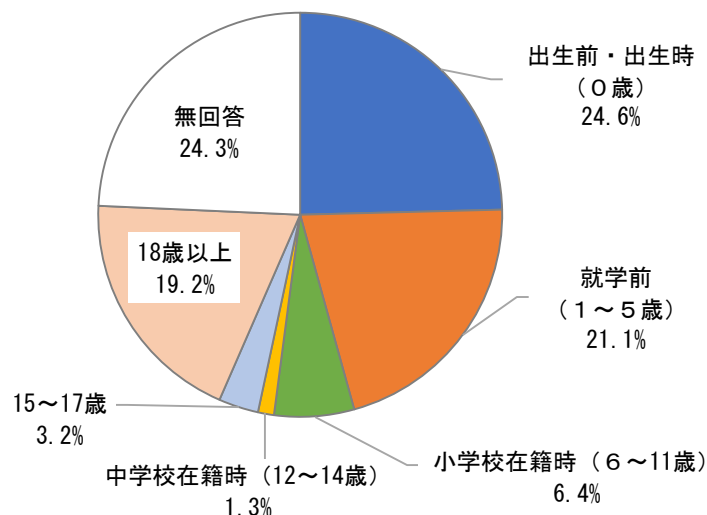
図表 54 身体障害手帳所持者の身体障害の内容（複数回答：n=134）



問 5 あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのは、いつ頃ですか。（1つに○）

最初の障害の診断・判定を受けた時期をみると、「出生前・出生時（0歳）」が 24.6%と最も高く、次いで「就学前（1～5歳）」（21.1%）、「18歳以上」（19.2%）等となっている。

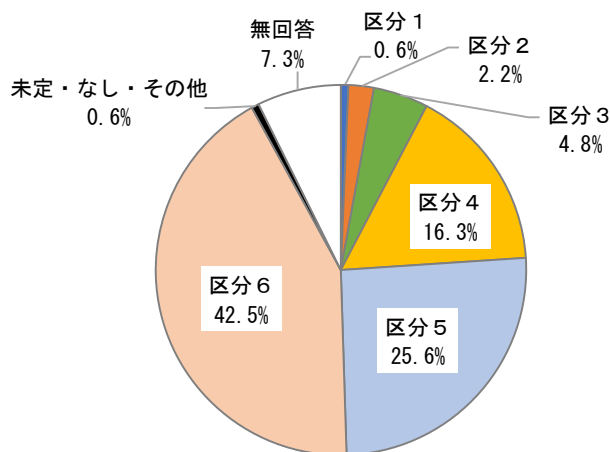
図表 55 最初の障害の診断・判定を受けた時期（n=313）



問 6 障害支援区分の認定は次のうちどれですか。（1つに○）

障害支援区分の認定をみると、「区分 6」が 42.5%と最も高く、次いで「区分 5」（25.6%）、「区分 4」（16.3%）等となっている。

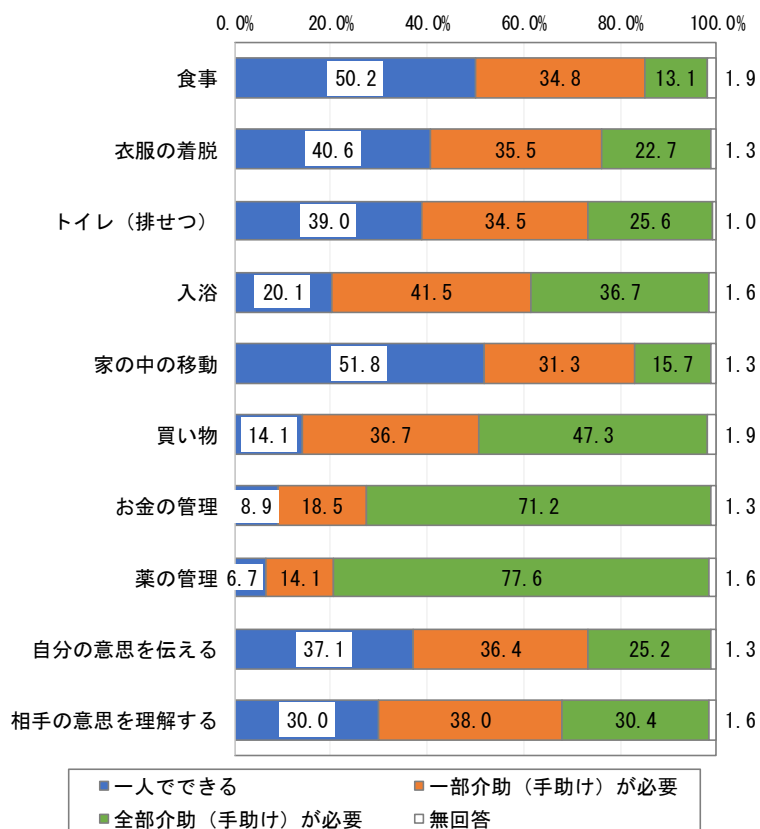
図表 56 障害支援区分の認定（n=313）



問 7 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。それぞれ、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

日常生活での介助の必要度をみると、介助を必要とする割合（「一部介助（手助け）が必要」と「全部介助（手助け）が必要」の合計）は『薬の管理』が最も高く約 9 割となっている。次いで「お金の管理」、「買い物」等となっている。

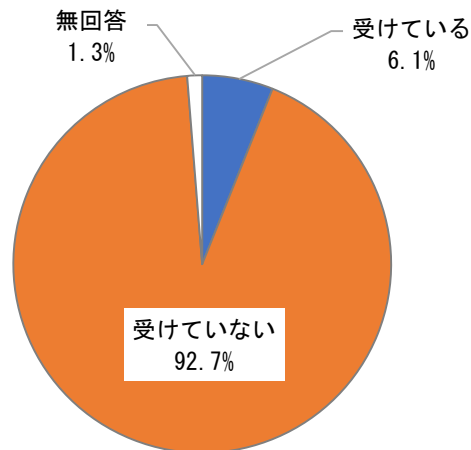
図表 57 日常生活での介助の必要度（n=313）



問 8 あなたは日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）を受けていますか。（1つに○）

日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）の状況を見ると、「受けている」が 6.1%、「受けていない」が 92.7%となっている。ほとんどの人が「受けていない」となっている。

図表 58 日常的な医療的ケア（n=313）



問 9 あなたが利用している日中サービスについて、令和元年7月の1か月に利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数を記入してください。

日中サービスの利用日数（平均）を見ると、入所施設では「生活介護」が 24.2 日と最も高く、次いで「自立訓練（生活訓練）」が 17.2 日となっている。入所施設外では「就労継続支援 B 型」が 14.3 日で最も高くなっている。

図表 59 日中サービスの利用日数（一か月平均）（n=313）

	入所施設のサービス	入所施設外のサービス
生活介護 (n=275)	24.2 日	1.2 日
自立訓練（機能訓練） (n=10)	16.8 日	1.6 日
自立訓練（生活訓練） (n=9)	17.2 日	2.9 日
就労移行支援 (n=0)	0.0 日	0.0 日
就労継続支援 A 型 (n=0)	0.0 日	0.0 日
就労継続支援 B 型 (n=9)	6.8 日	14.3 日

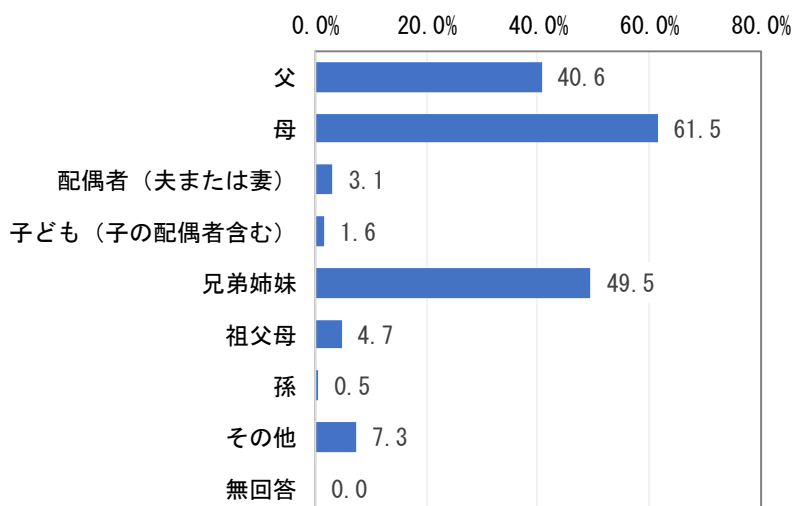
③帰省先の状況

(※帰省先に家族がいる人のみ)

問 10 ①帰省先にいる人（家族など）を教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。(あてはまるものすべてに○)

帰省先にいる人（家族など）をみると、「母」が 61.5%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」（49.5%）、「父」（40.6%）等となっている。

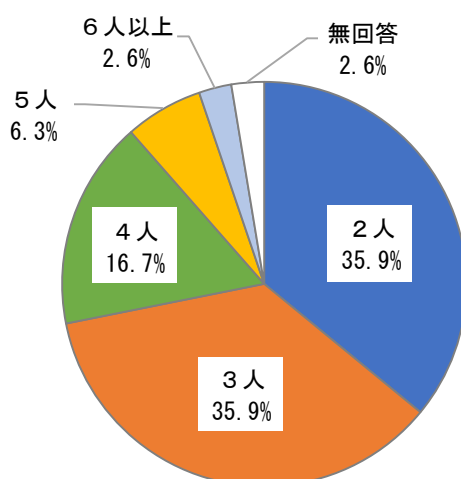
図表 60 帰省先にいる人（複数回答：n=192）



問 10 ②あなたを含めた帰省先の家族の人数（世帯人数）を教えてください。

帰省先の家族の人数（世帯人数）は、「2人」と「3人」が 35.9%と最も高く、次いで「4人」（16.7%）等となっている。帰省先の家族の人数（世帯人数）は平均で 3.0 人となっている。

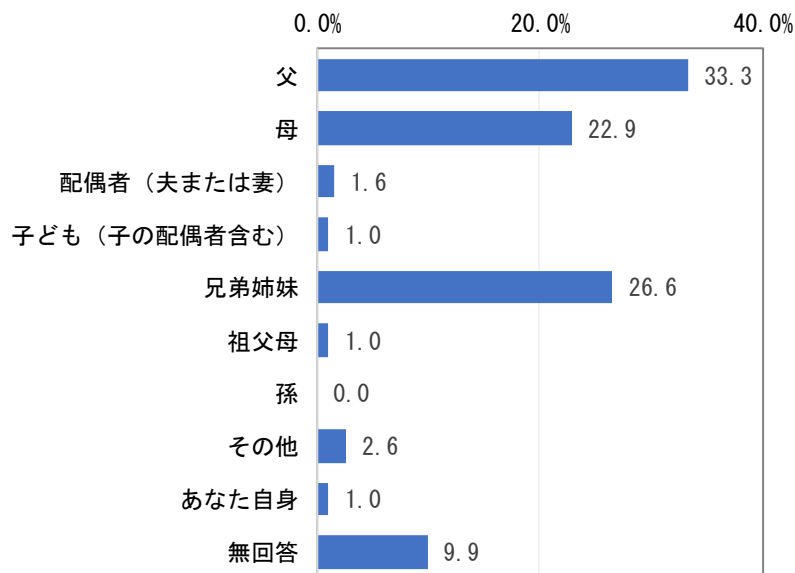
図表 61 帰省先の家族の人数（n=192）



問 10 ③帰省先の家族の生計中心者について教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。
（1 つに○）

帰省先の家族の生計中心者は「父」が 33.3%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」（26.6%）、「母」（22.9%）等となっている。

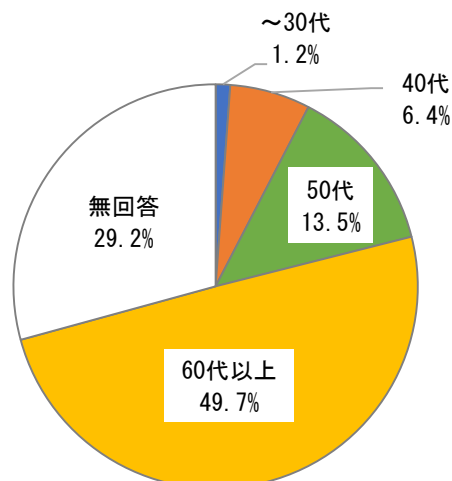
図表 62 帰省先の家族の生計中心者（n=192）



問 10 ④生計中心者の年齢を教えてください。（令和元年 7 月 31 日現在）

生計中心者の年齢は「60 代以上」が 49.7%と最も高く、次いで「50 代」（13.5%）等となっている。生計中心者の年齢は平均で 65.8 歳となっている。

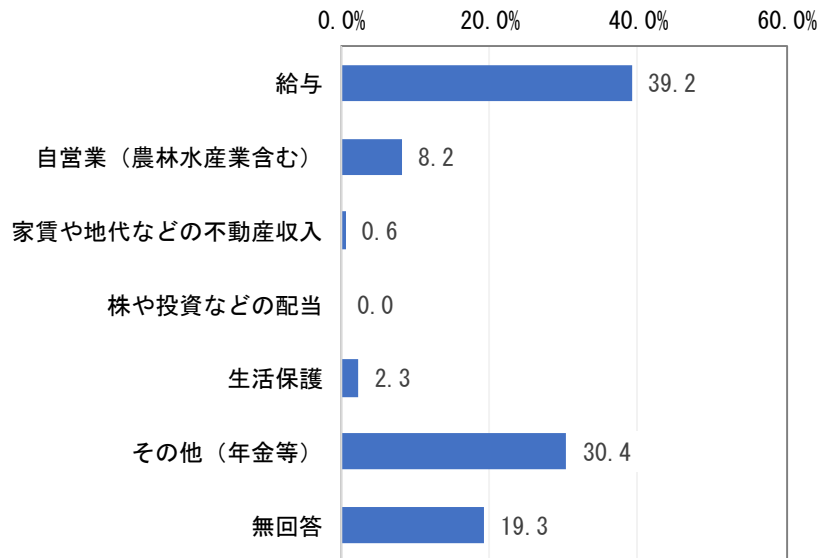
図表 63 生計中心者の年齢（n=171）



問 10 ⑤生計中心者の主な収入源を教えてください。(1 つに○)

生計中心者の主な収入源をみると、「給与」が 39.2%と最も高く、次いで「その他（年金等）」が 30.4%等となっている。

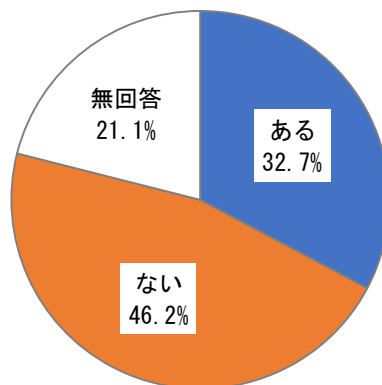
図表 64 生計中心者の主な収入源（n=171）



問 10 ⑥生計中心者のほかに、収入を得ている人の有無を教えてください。(1 つに○)

生計中心者のほかに、収入を得ている人の有無をみると、「ある」が 32.7%、「ない」が 46.2%となっている。

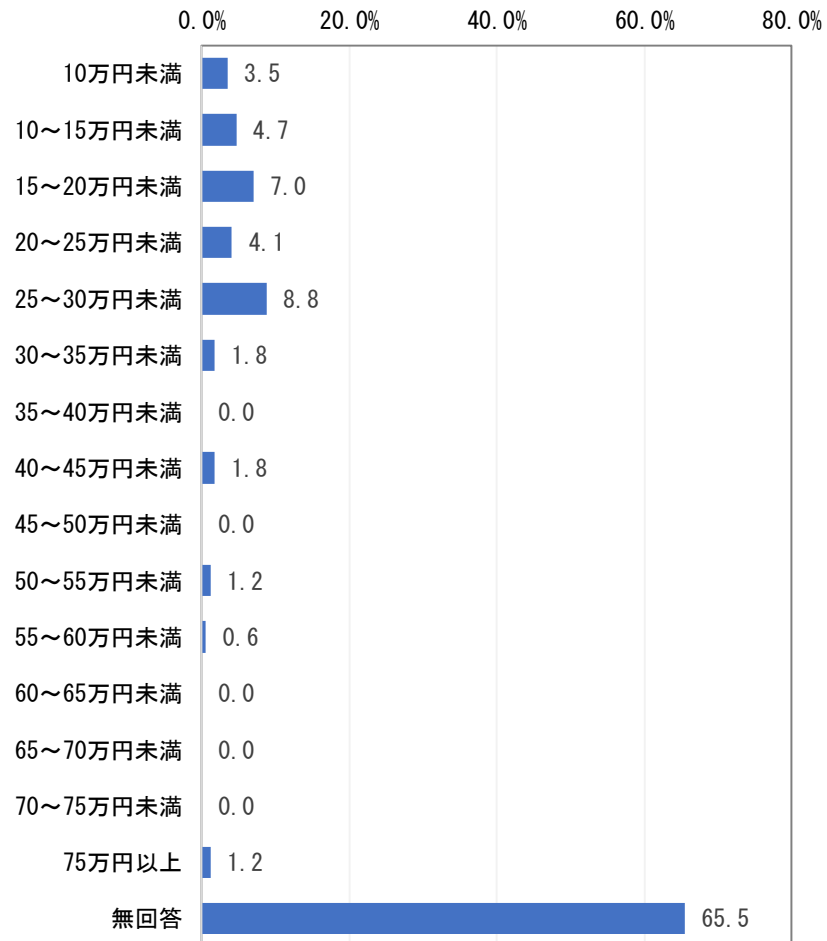
図表 65 収入を得ている人の有無（n=171）



問 10 ⑦帰省先の家族の世帯月収について教えてください。(1つに○)

帰省先の家族の世帯月収をみると、「25～30 万円未満」が 8.8%と最も高く、次いで「15～20 万円未満」が 7.0%となっている。無回答が多くなっている。

図表 66 帰省先の家族の世帯月収 (n=171)



④収入・支出の状況

問 11 あなたの令和元年7月の1か月分の収入額を教えてください。それぞれの項目別に収入額を記入してください。

収支状況について、収入月額をみると、全体平均が84,507円となっている。内訳をみると、「障害基礎年金」、「その他の手当、年金、給付金等」の占める割合が高くなっている。

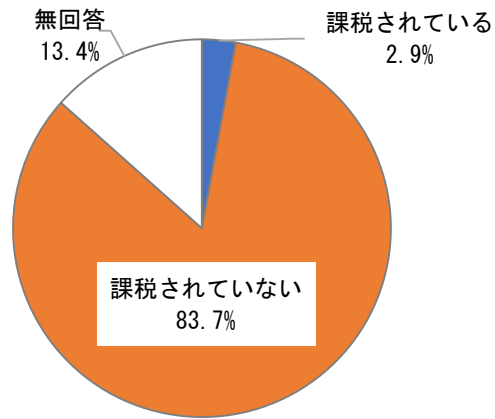
図表 67 平均収入金額（単位：円）

	収入月額	収入月額の内訳						
	平均額	賃金、工賃など働いて得た収入	障害基礎年金	補足給付	生活保護費	その他の手当、年金、給付金等	家族などからの仕送り	その他の収入
全体 (n=230)	84,507	1,272	70,061	3,348	1,342	6,610	1,674	201
(構成比)	100.0%	1.5%	82.9%	4.0%	1.6%	7.8%	2.0%	0.2%

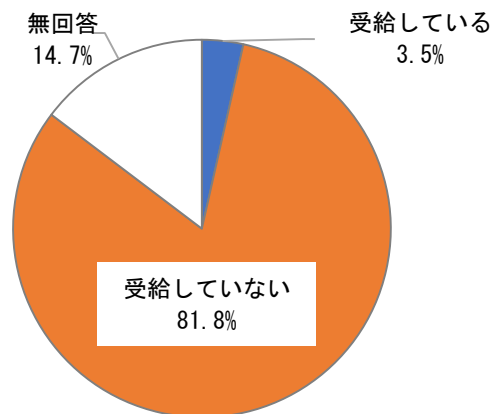
問 12 税金、生活保護について、あなたの課税、受給の状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

住民税は「課税されている」が2.9%、「課税されていない」が83.7%となっている。生活保護は「受給している」が3.5%、「受給していない」が81.8%となっている。住民税、生活保護について、どちらも「課税されていない」「受給していない」人が約8割となっている。

図表 68 住民税の課税の有無 (n=313)



図表 69 生活保護の受給の有無 (n=313)



問 13 あなたの令和元年7月の支出額を教えてください。支出額は、施設に支払ったものと、それ以外を分けて、それぞれの項目別に、ひと月分の支出額を記入してください。

収支状況について、支出月額をみると、全体で 62,592 円となっている。内訳をみると、施設への支払いの合計が 48,570 円、施設への支払い以外の合計が 14,022 円となっており、それぞれ支出の 77.6%、22.4%となっている。

支出の内訳では、施設への支払い分で、「食費（自己負担分）」、「施設入所支援のサービス利用料」、「光熱水費（自己負担分）」の占める割合が高くなっている。

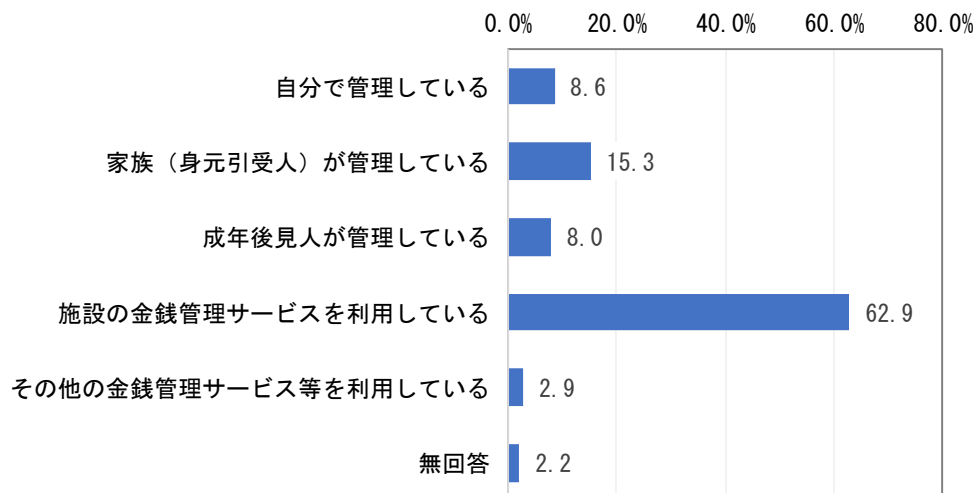
図表 70 平均支出金額（単位：円）

全体（n=262）	支出月額の内訳	平均額	（構成比）
施設への支払	施設入所支援のサービス利用料	8,981	14.3%
	日中サービスのサービス利用料	564	0.9%
	室料	348	0.6%
	食費（自己負担分）	29,662	47.4%
	光熱水費（自己負担分）	6,767	10.8%
	その他、上記以外の費目の支払額	2,247	3.6%
	合計	48,570	77.6%
施設への支払以外	食費	3,004	4.8%
	保健医療費	2,163	3.5%
	情報通信費	839	1.3%
	交通費	731	1.2%
	教育費	6	0.0%
	教養娯楽費	2,479	4.0%
	その他	2,860	4.6%
	税金・保険料	1,940	3.1%
	合計	14,022	22.4%
総計		62,592	100.0%

問 14 あなたの収入・支出のお金について、管理はどのようにしていますか。（1つに○）

収入・支出のお金の管理をみると、「施設の金銭管理サービスを利用している」が 62.9%と最も高く、次いで「家族（身元引受人）が管理している」が 15.3%となっている。なお、金銭管理サービスを利用している人の平均月額利用料は 1,444 円となっている。

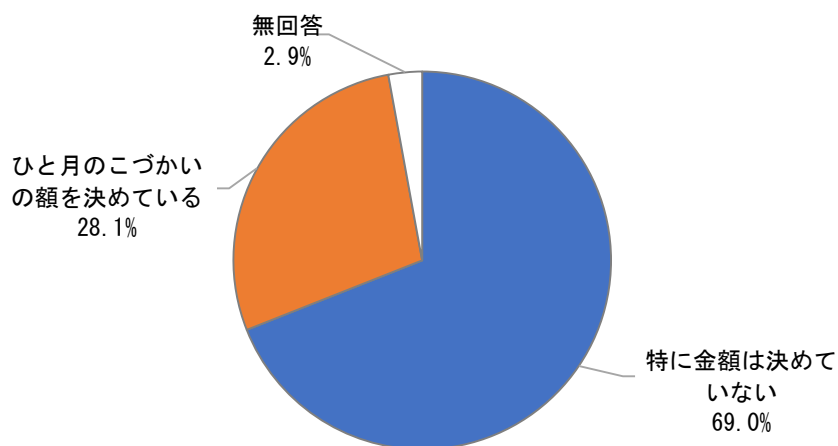
図表 71 収入・支出のお金の管理（n=313）



問 15 あなたは、自由に使えるお金（こづかい）の額を決めていますか。（1つに○）

自由に使えるお金（こづかい）の額について、「特に金額は決めていない」が 69.0%、「ひと月のこづかいの額を決めている」が 28.1%となっている。なお、額を決めている場合の平均月額額は月 10,100 円となっている。

図表 72 自由に使えるお金の額（n=313）



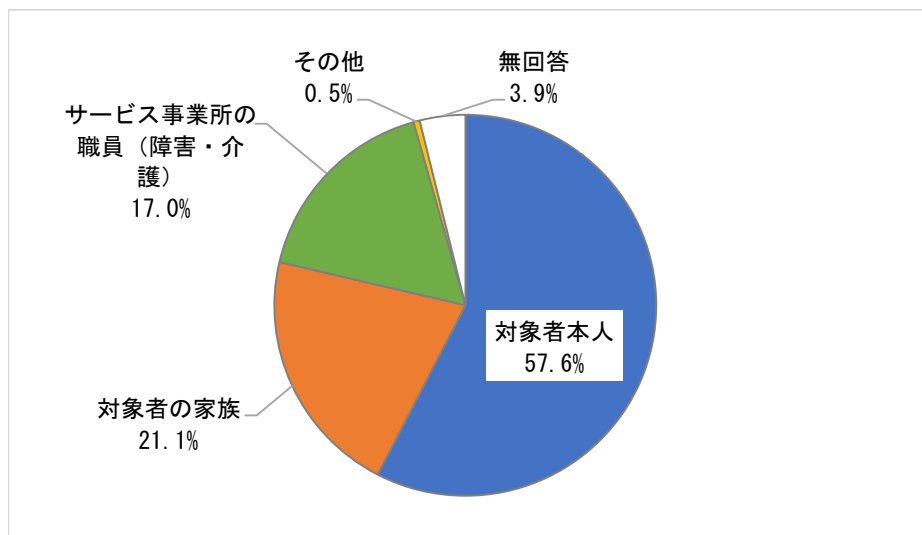
(4) 高齢障害者の暮らしの状況に関する調査

①対象者の属性

問1 このアンケートに答えた人を教えてください。(1つに○)

アンケート回答者をみると、「対象者本人」が57.6%、次いで「対象者の家族」が21.1%となっている。

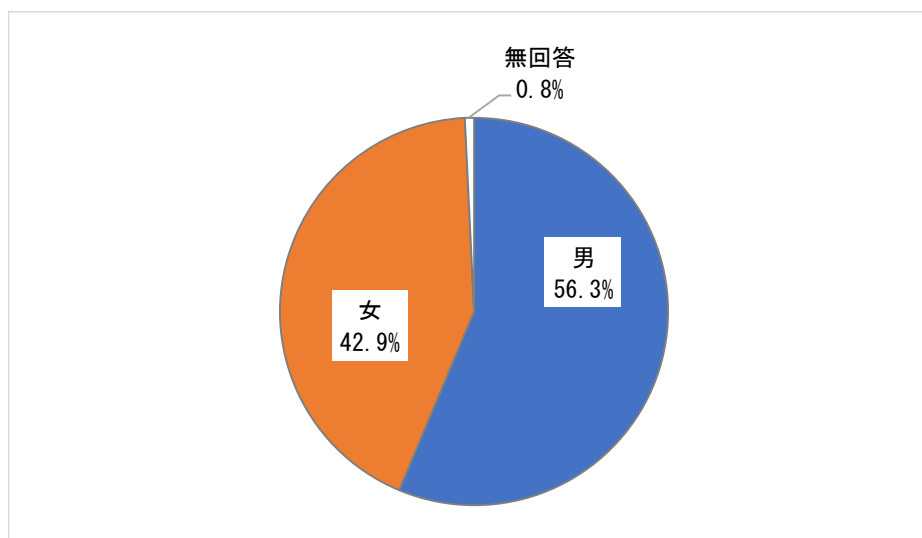
図表 73 アンケート回答者 (n=389)



問2 あなたの性別・年齢を教えてください。

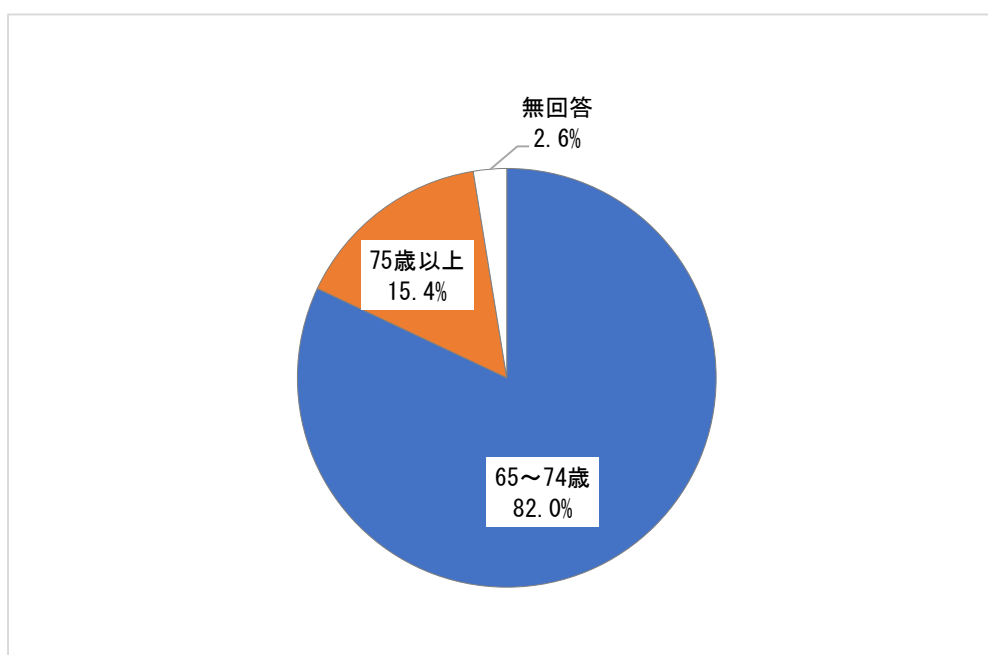
性別をみると、「男性」が56.3%、「女性」が42.9%となっている。

図表 74 性別 (n=389)



年齢は「65～74 歳」が 82.0%、「75 歳以上」が 15.4%となっている。平均年齢は 70.0 歳となっている。

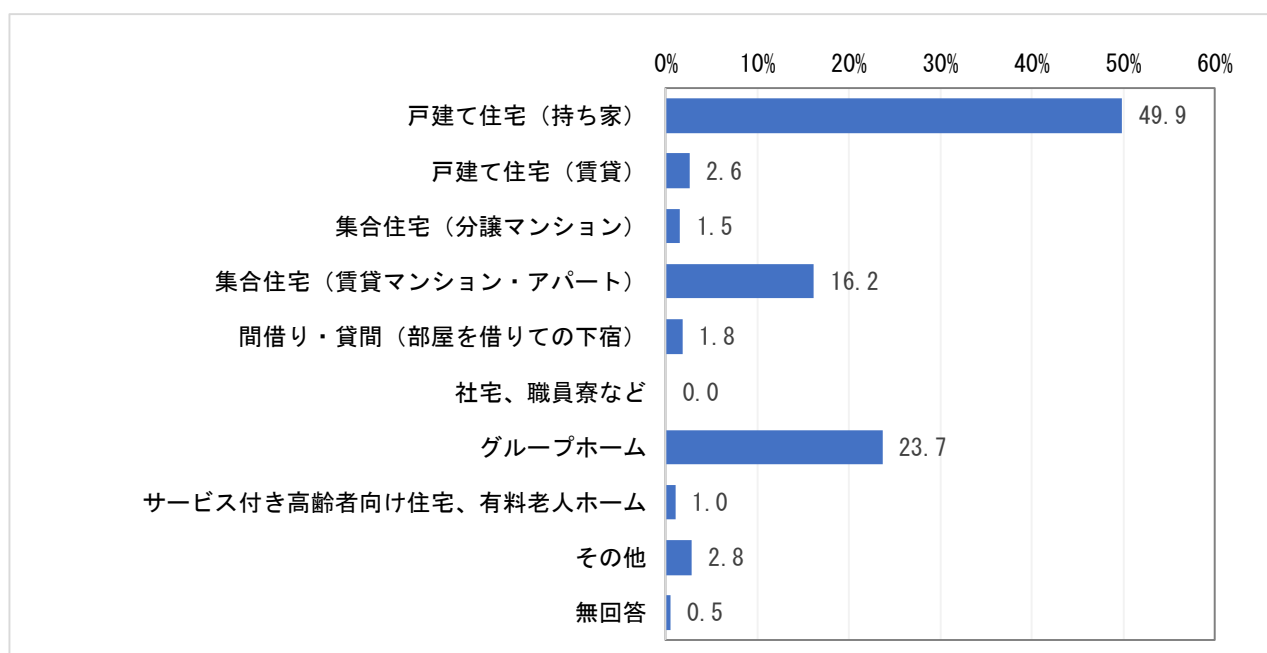
図表 75 年齢 (n=389)



問 4 あなたのお住まいの種類を教えてください。(1つに○)

住まいの種類は「戸建て住宅（持ち家）」が 49.9%と最も多く、次いで「グループホーム」（23.7%）、「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」（16.2%）等となっている。

図表 76 住まいの種類(n=389)

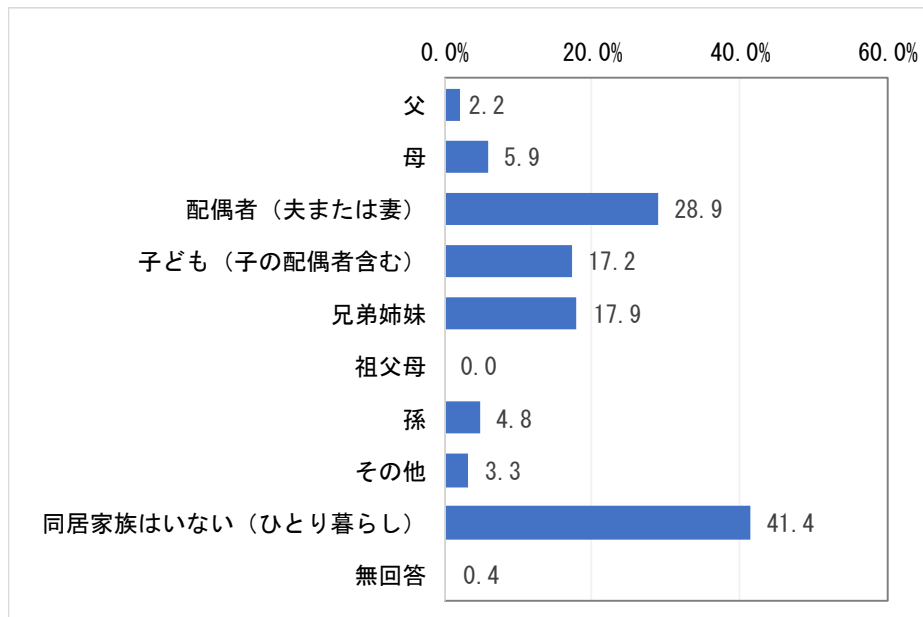


問 5 ① あなたと一緒に生活している人（同居の家族）を教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。あてはまるものすべてに○をしてください。

問 5 ② あなたを含めた同居の家族の人数（世帯人数）を教えてください。

戸建て住宅、集合住宅の居住者に、同居者を聞いたところ、「同居家族はいない（ひとり暮らし）」が 41.4% と最も多く、一緒に生活している人（同居の家族）については「配偶者（夫または妻）」（28.9%）、「兄弟姉妹」（17.9%）、「子ども（子の配偶者含む）」（17.2%）等となっている。また、世帯の平均人数は 2.1 人となっている。

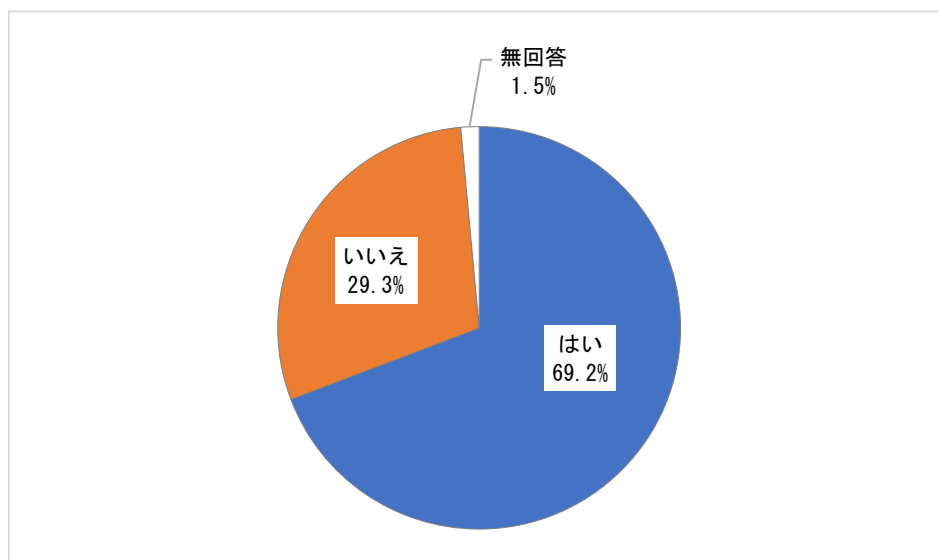
図表 77 同居の家族（複数回答：n=273）



問 5 ③ あなたは世帯主（世帯の筆頭者）ですか。（1つに○）

「世帯主（世帯の筆頭者）」が 69.2%となっている。

図表 78 世帯主(n=273)

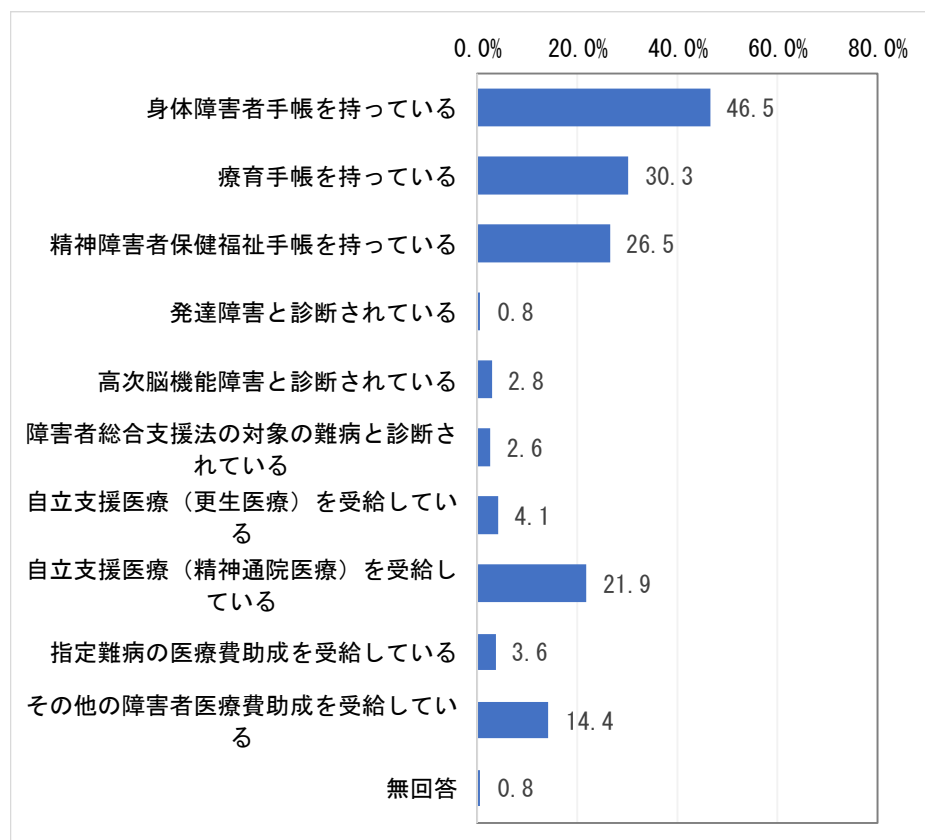


②障害の状況

問 6 あなたがお持ちの障害者手帳、障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。あてはまるものすべてに○をしてください。

障害の状況をみると、「身体障害者手帳を持っている」が 46.5%、「療育手帳を持っている」が 30.3%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が 26.5%、「自立支援医療（精神通院医療）を受給している」が 21.9%等となっている。

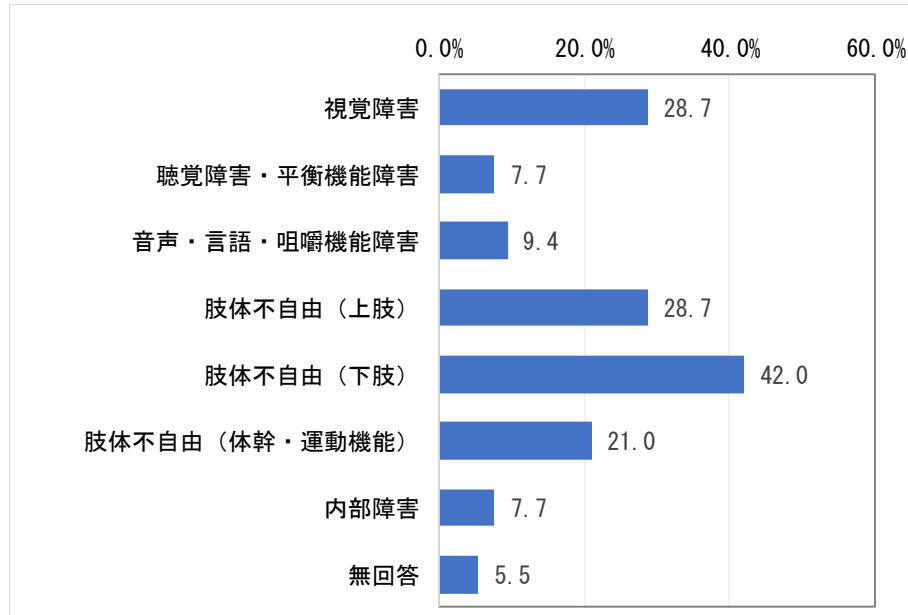
図表 79 障害の状況（複数回答：n=389）



問 6 ②「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きます。障害の種類をお答えください。
あてはまるものすべてに○をしてください。

身体障害手帳所持者の身体障害の内容をみると、「肢体不自由（下肢）」が 42.0%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢）」「視覚障害」（28.7%）等となっている。

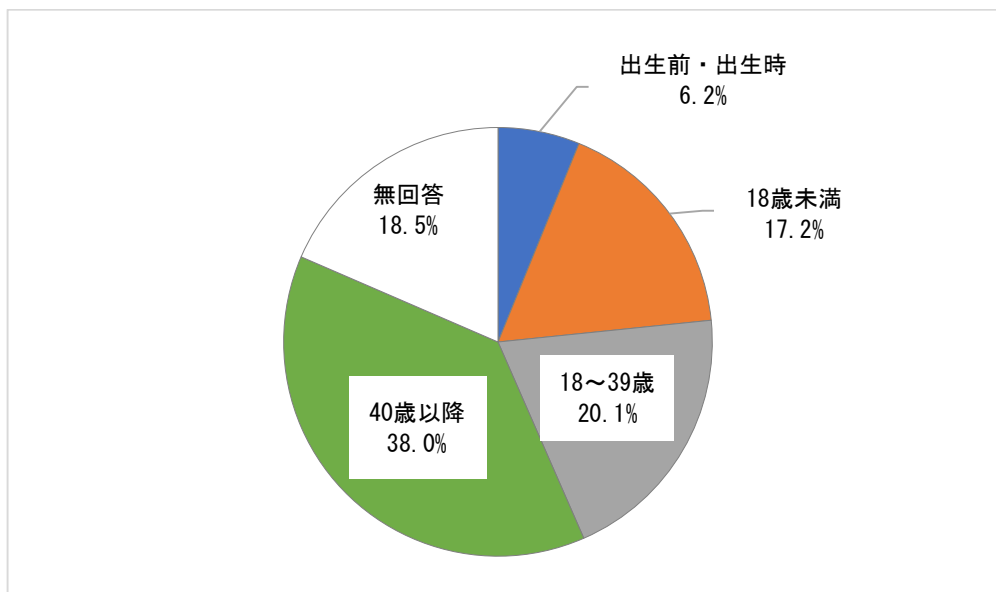
図表 80 身体障害手帳所持者の身体障害の内容（複数回答：n=181）



問 7 あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのは、いつ頃ですか。（1つに○）

最初の障害の診断・判定を受けた時期をみると、「40歳以降」が 38.0%、「18～39歳」が 20.1%等となっている。

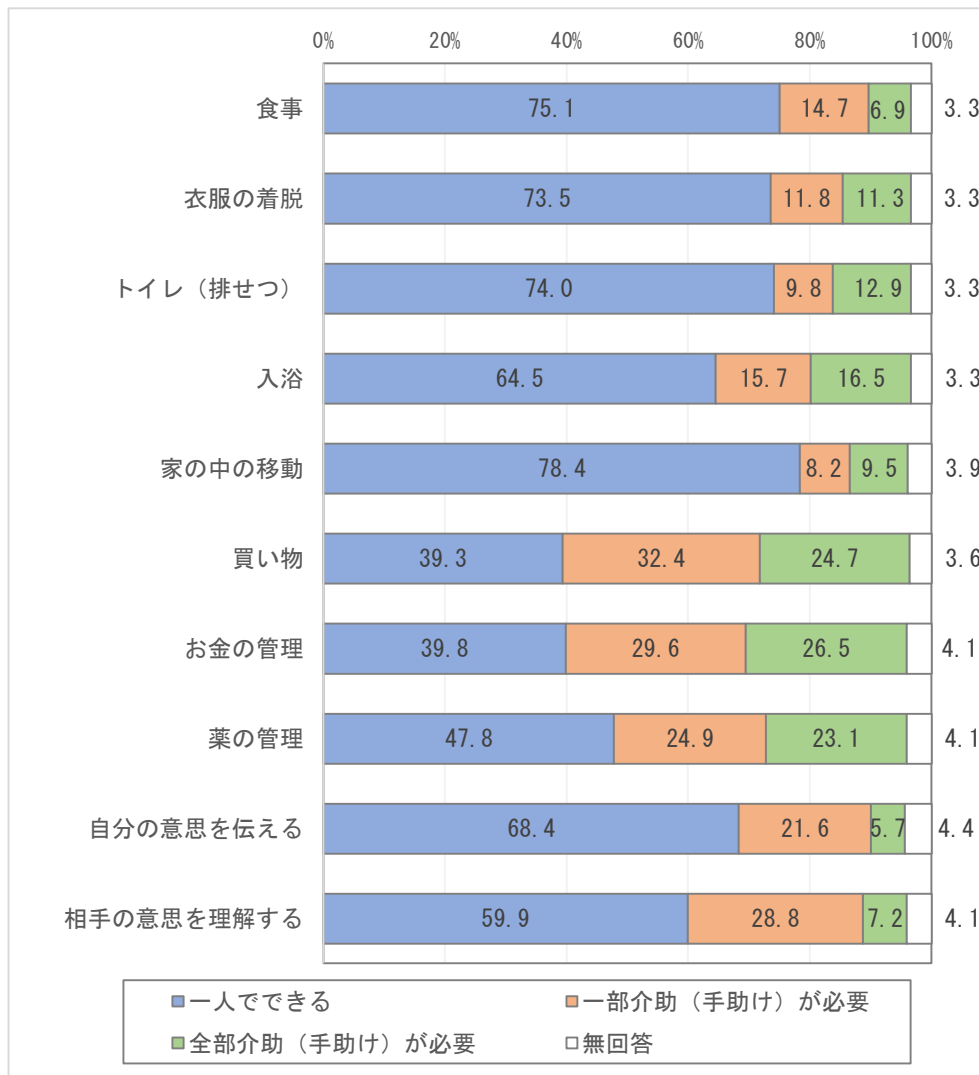
図表 81 最初の障害の診断・判定を受けた時期（n=389）



問 8 日常生活での介助の必要性についてお聞きます。それぞれ、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

日常生活での介助の必要度をみると、介助を必要とする割合（「一部介助（手助け）が必要」と「全部介助（手助け）が必要」の合計）は「買い物」「お金の管理」が最も高く、約 6 割となっている。次いで「薬の管理」等となっている。

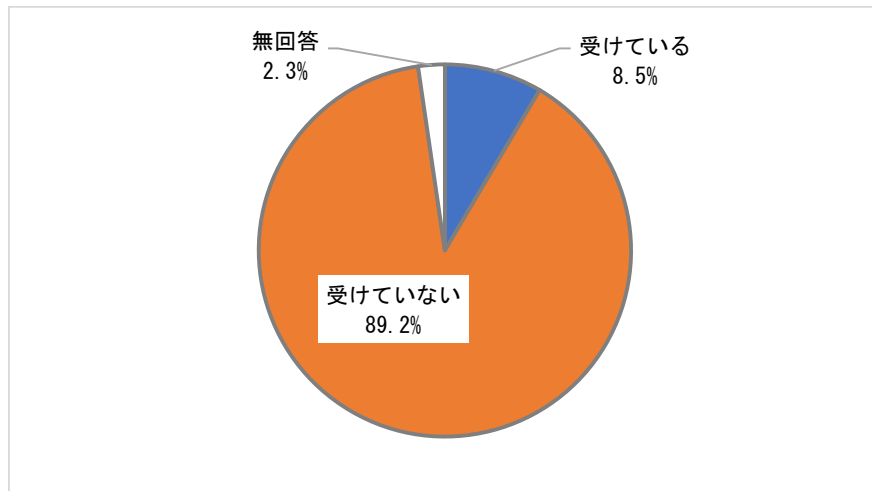
図表 82 日常生活での介助の必要度（n=389）



問9 あなたは日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）を受けていますか。（1つに○）

日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）の状況を見ると、「受けている」が8.5%、「受けていない」が89.2%となっている。

図表 83 日常的な医療的ケア（n=389）



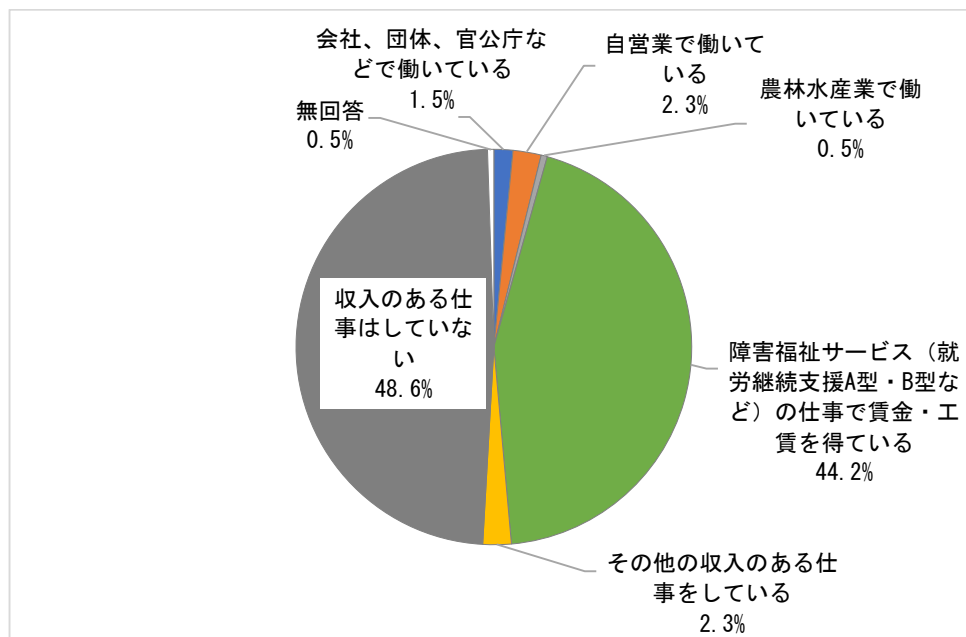
③就業の状況

問10 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

問11 「会社、団体、官公庁などで働いている」と回答した方にお聞きします。勤務形態を教えてください。（1つに○）

現在収入のある仕事をしている人は、「障害福祉サービス（就労継続支援A型・B型など）の仕事で賃金・工賃を得ている」が44.2%となっている。「収入のある仕事はしていない」は48.6%となっている。なお、「会社、団体、官公庁などで働いている」の回答数は6人で、勤務形態は「パート・アルバイト」が3人（50%）である。

図表 84 収入のある仕事の状況（n=389）

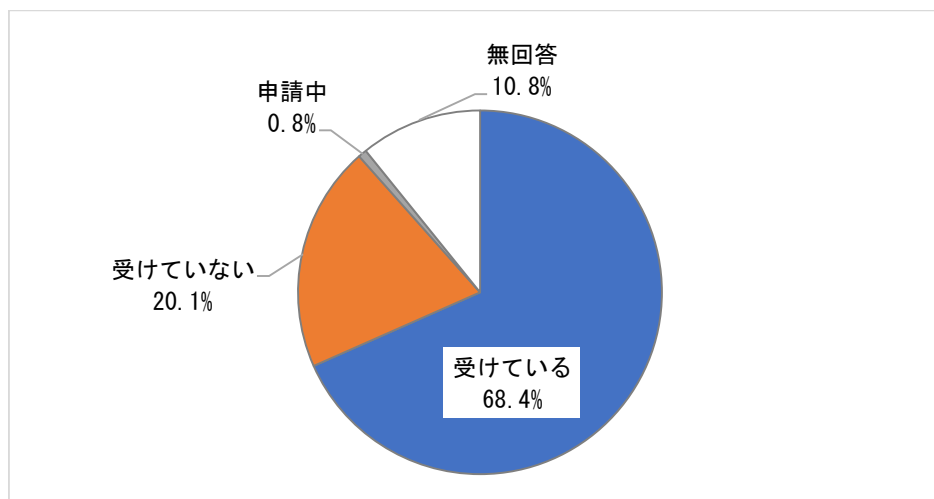


④サービス利用の状況

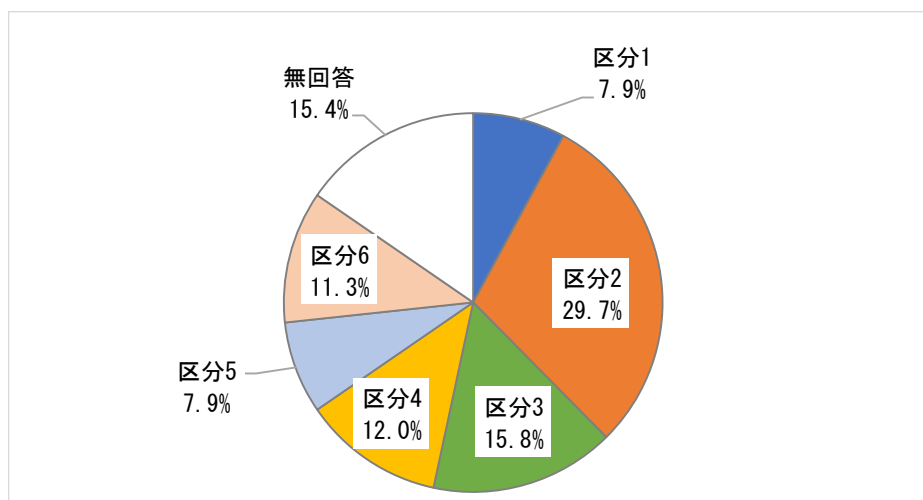
問 12 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（1つに○）

障害支援区分の認定を「受けている」が68.4%となっている。区分認定の内訳は、「区分2」が29.7%と最も高く、次いで「区分3」（15.8%）、「区分4」（12.0%）等となっている。

図表 85 障害支援区分の認定（n=389）



図表 86 現在の障害支援区分（n=266）

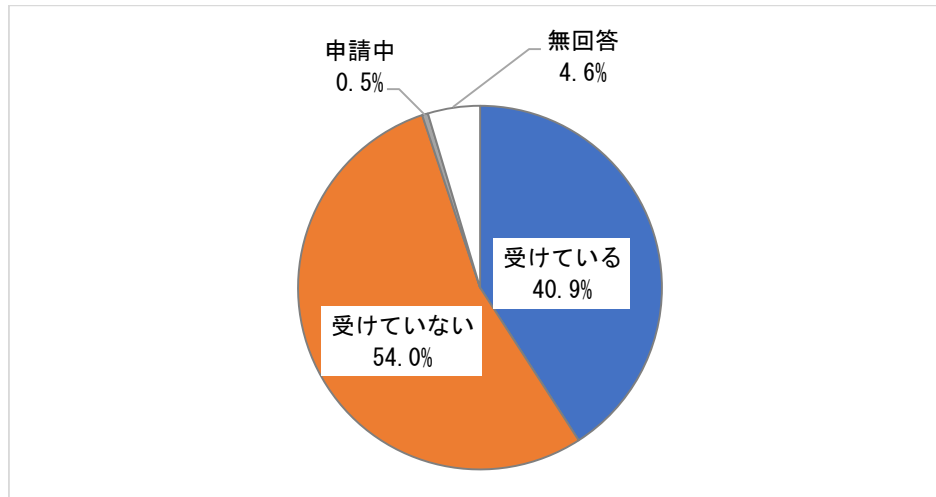


問 13 あなたは、要介護認定を受けていますか。(1つに○)

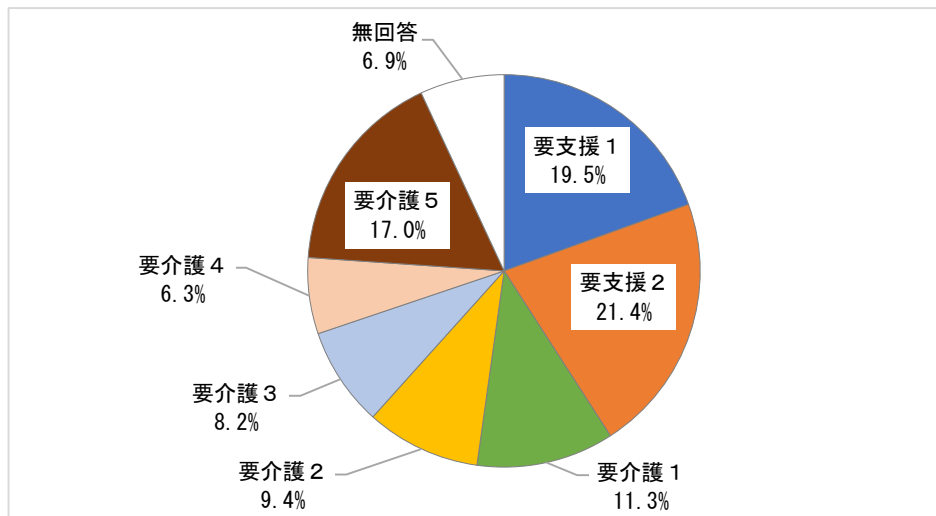
要介護認定については、「受けている」が40.9%、「受けていない」が54.0%となっている。

要介護認定を受けている人の要介護度は、「要支援2」が21.4%、「要支援1」が19.5%、「要介護5」が17.0%等となっている。

図表 87 要介護の認定 (n=389)



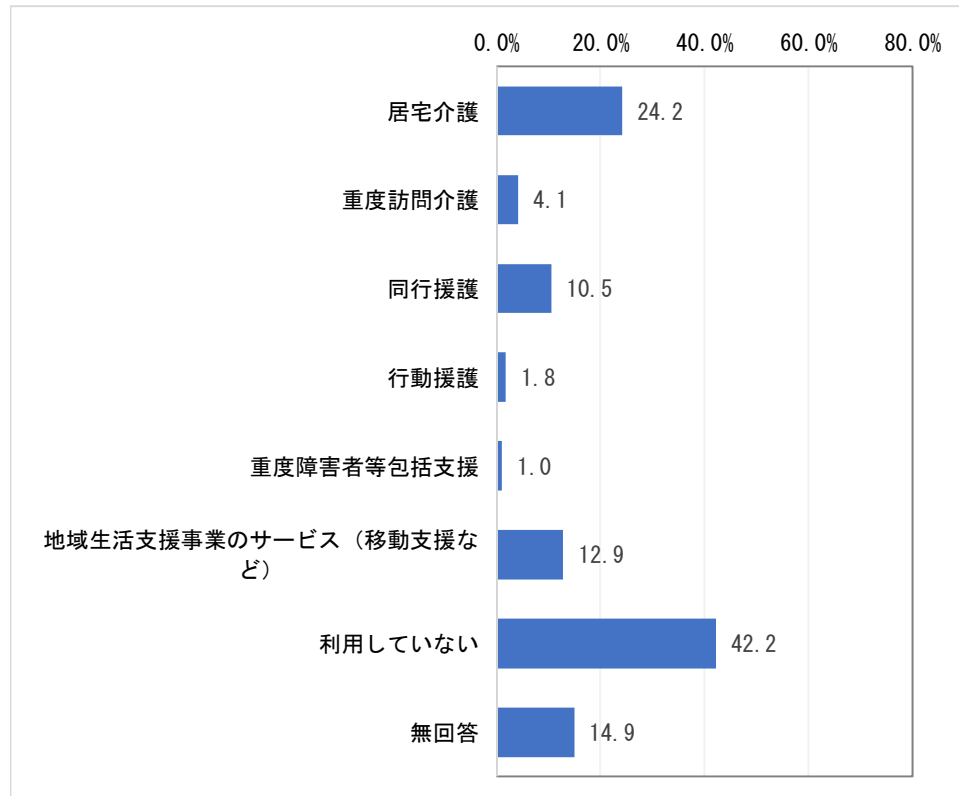
図表 88 現在の要介護度 (n=159)



問 14 令和元年 7 月の 1 か月に、障害福祉サービスの訪問サービスをどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1 か月の利用時間数を記入してください。

訪問サービスを「利用していない」が 42.2%となっており、利用したサービスについては、「居宅介護」が 24.2%等となっている。

図表 89 利用した訪問サービス（複数回答：n=389）



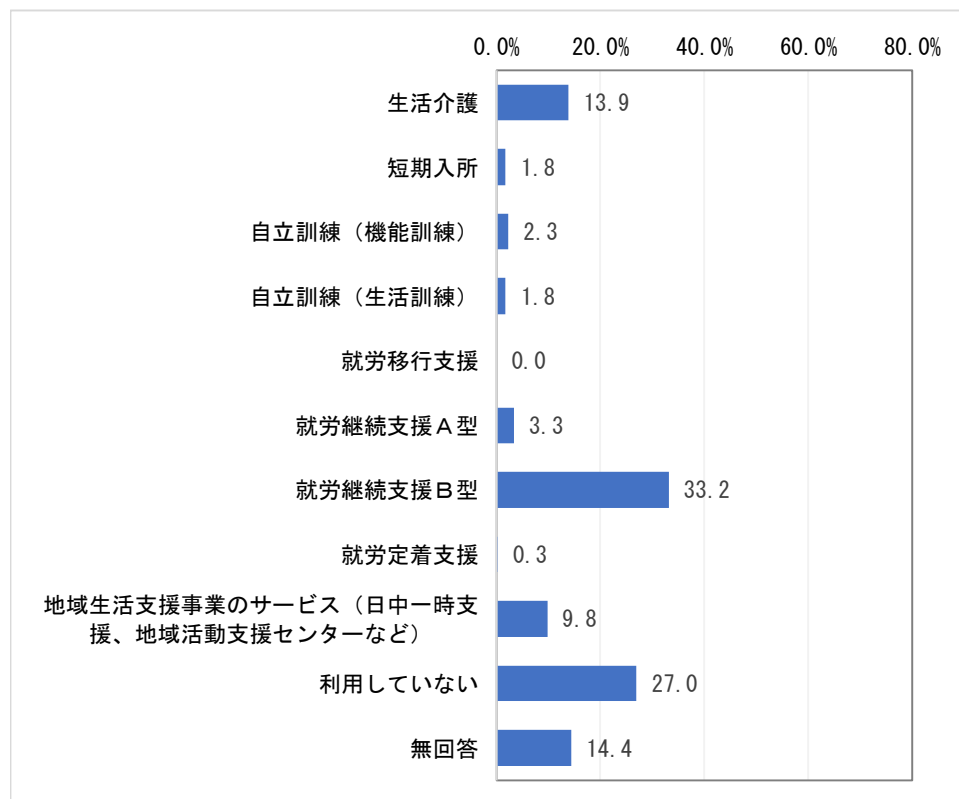
図表 90 サービスの平均利用時間数

サービス	平均利用時間（時間）
居宅介護（n = 81）	25.4
重度訪問介護（n = 11）	190.8
同行援護（n = 35）	17.5
行動援護（n = 4）	8.0
重度障害者等包括支援（n = 0）	0.0
地域生活支援事業のサービス（移動支援など）（n = 42）	18.3

問 15 あなたは、令和元年7月の1か月に、障害福祉サービスの通所サービス等をどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数を記入してください。

利用した通所サービスをみると、「就労継続支援B型」が33.2%、「生活介護」が13.9%となっている。

図表 91 利用した通所サービス（複数回答：n=389）



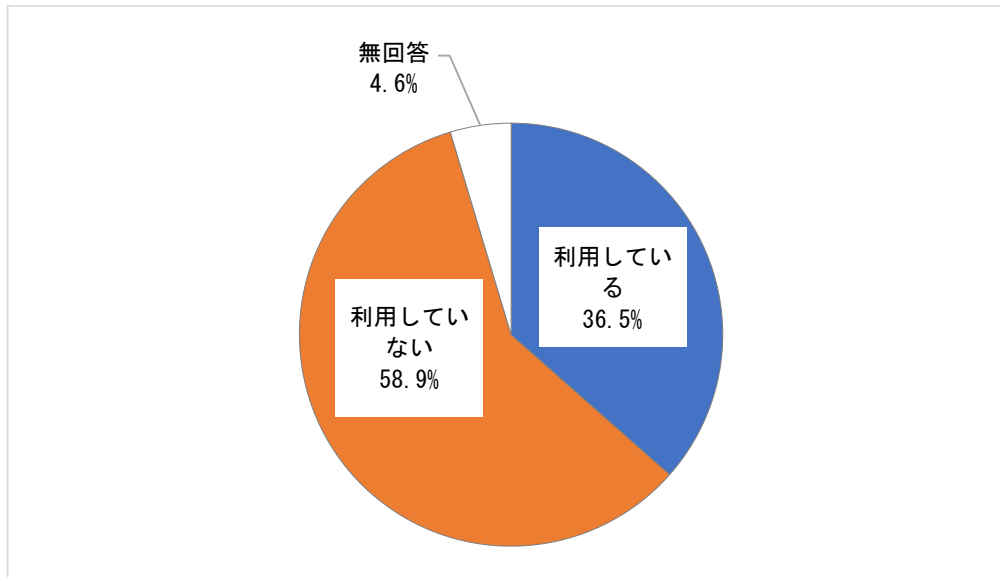
図表 92 サービスの平均利用日数

サービス	平均利用日数（日）
生活介護（n=49）	17.1
短期入所（n=6）	7.8
自立訓練（機能訓練）（n=8）	9.6
自立訓練（生活訓練）（n=6）	12.0
就労移行支援（n=0）	0.0
就労継続支援A型（n=11）	19.7
就労継続支援B型（n=105）	18.9
就労定着支援（n=0）	0.0
地域生活支援事業のサービス（日中一時支援、地域活動支援センターなど）（n=35）	11.3

問 16 ①あなたは介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」が 36.5%、「利用していない」が 58.9%となっている。

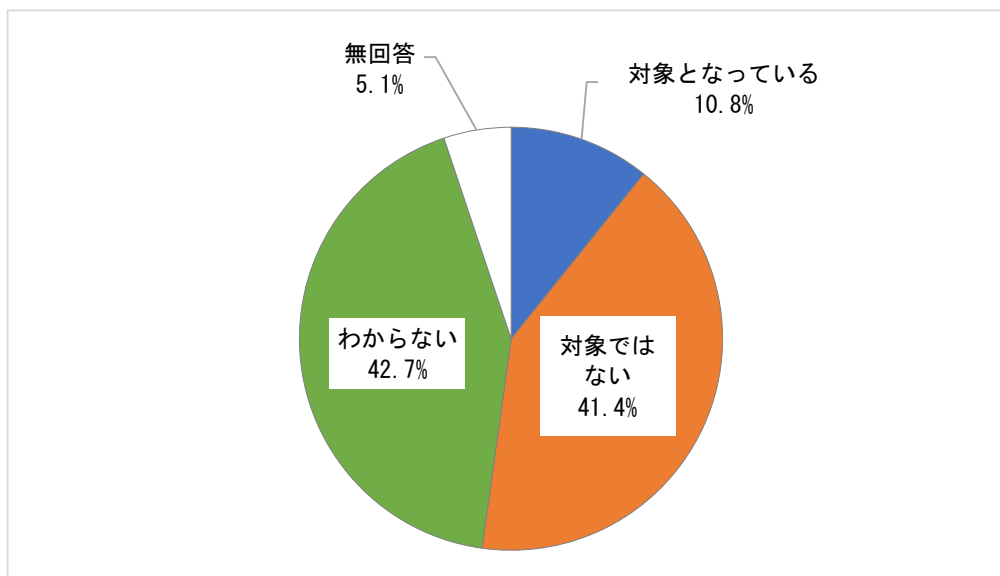
図表 93 介護保険サービスの利用状況 (n=389)



問 16 ②昨年4月から新高額障害福祉サービス等給付費が導入されていますが、あなたはその対象となっていますか。

新高額障害福祉サービス等給付費については、「対象となっている」は 10.8%であり、「対象ではない」が 41.4%、「わからない」が 42.7%となっている。

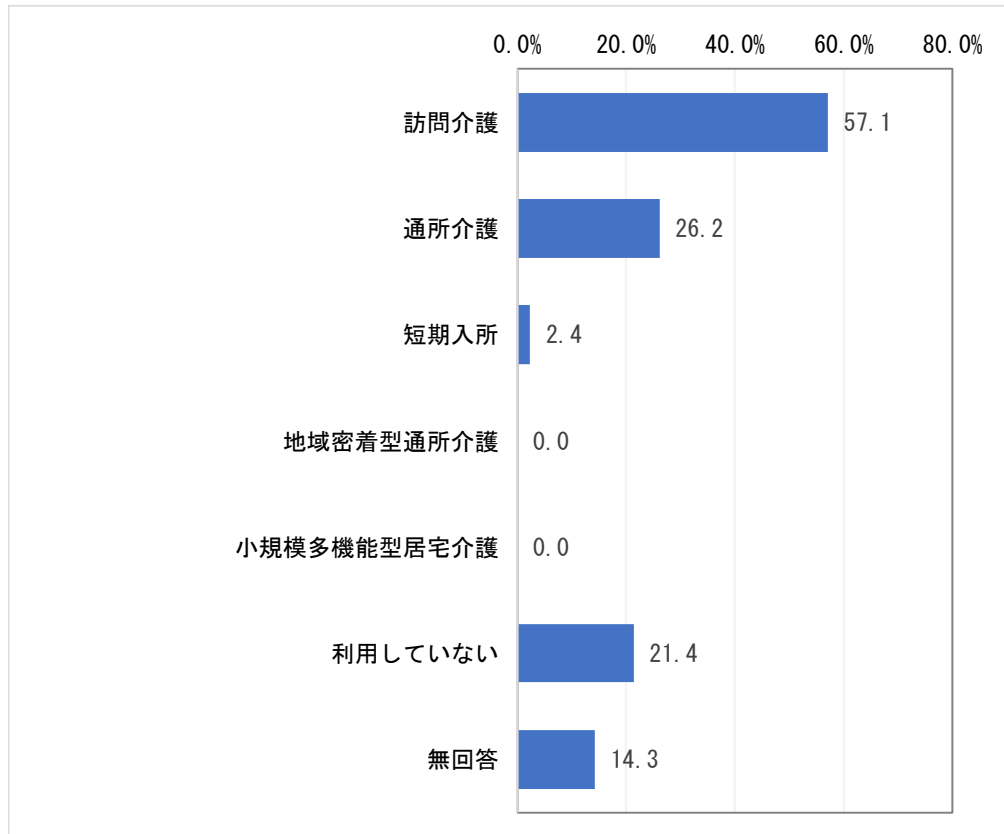
図表 94 新高額障害福祉サービスの対象有無 (n=389)



問 17 ①あなたは、令和元年7月の1か月に、次の介護保険サービスをどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数・時間数を記入してください。

介護保険サービスを利用している人に、1か月の間で利用したサービスについて聞いたところ、「訪問介護」が57.1%、「通所介護」が26.2%等となっている。

図表 95 利用した介護保険サービス（複数回答：n=42）



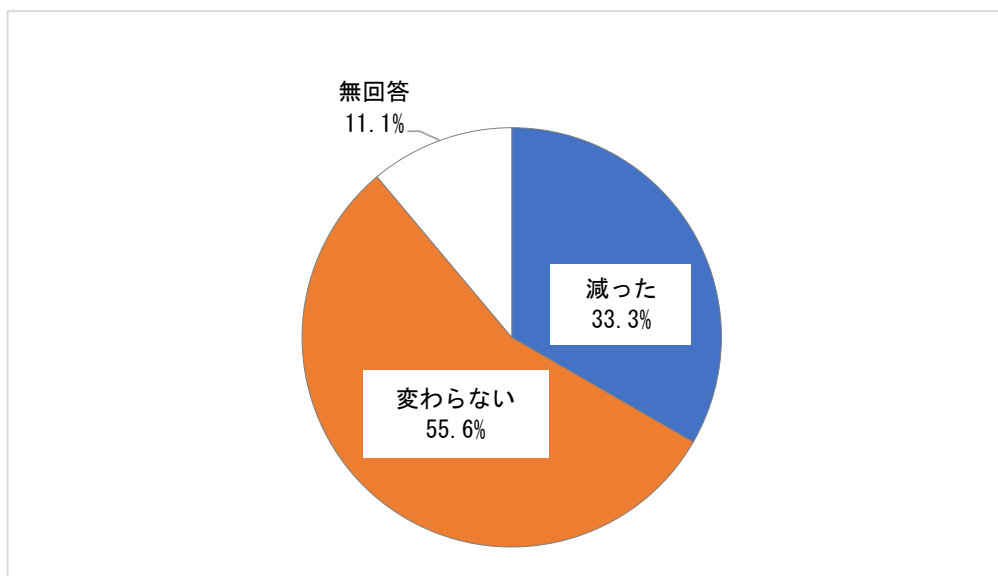
図表 96 サービスの平均利用日数・時間数

サービス	平均利用日数・時間数
訪問介護（n = 21）	32.3 時間
通所介護（n = 10）	7.4 日
短期入所（n = 1）	1.0 日
地域密着型通所介護（n = 0）	0.0 日
小規模多機能型居宅介護（n = 0）	0.0 日

問 17 ②新高額障害福祉サービス等給付費の導入により、経済的な負担は減りましたか。

新高額障害福祉サービス等給付費の対象者に、導入による経済的な負担の変化を聞いたところ、「減った」が 33.3%、「変わらない」が 55.6%となっている。

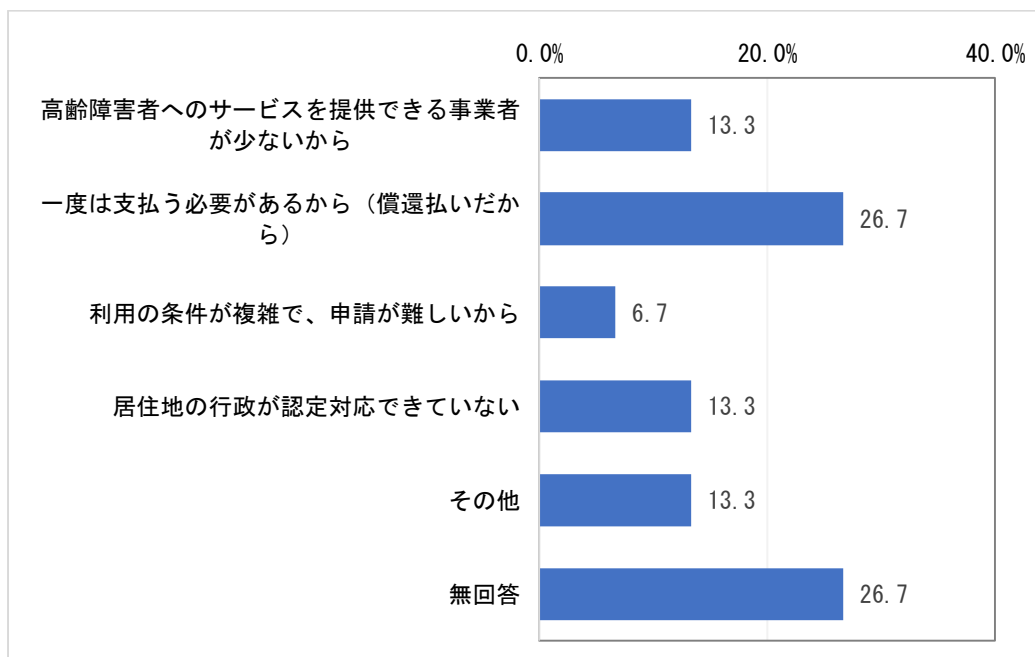
図表 97 新高額障害福祉サービス等給付費の導入による負担の変化（n=27）



問 17 ③「2. 変わらない」と回答した方にお聞きします。変わらない理由を教えてください。

経済な負担が「変わらない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「一度は支払う必要があるから（償還払いだから）」が 26.7%となっている。

図表 98 経済的な負担の変わらない理由（複数回答：n=15）



⑤収入・支出の状況

問 18 あなたの令和元年7月の1か月分の収入額を教えてください。それぞれの項目別に収入額を記入してください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入も記入してください。

ひと月の収入額をみると、本人の平均収入額は85,174円となっている。収入の内訳は、「障害年金などの公的年金」が58,794円（69.0%）、「賃金、工賃など働いて得た収入」が12,169円（14.3%）となっている。

配偶者、その他同居者の平均収入額は、それぞれ、98,239円、85,133円で、収入の内訳では、配偶者は「障害年金などの公的年金」と「賃金、工賃など働いて得た収入」、その他同居者は「賃金、工賃など働いて得た収入」が多くなっている。

世帯単位で平均収入額を算定したところ、世帯の平均収入は122,968円、内訳では、「障害年金などの公的年金」が69,973円（56.9%）、「賃金、工賃など働いて得た収入」が32,073円（26.1%）となっている。

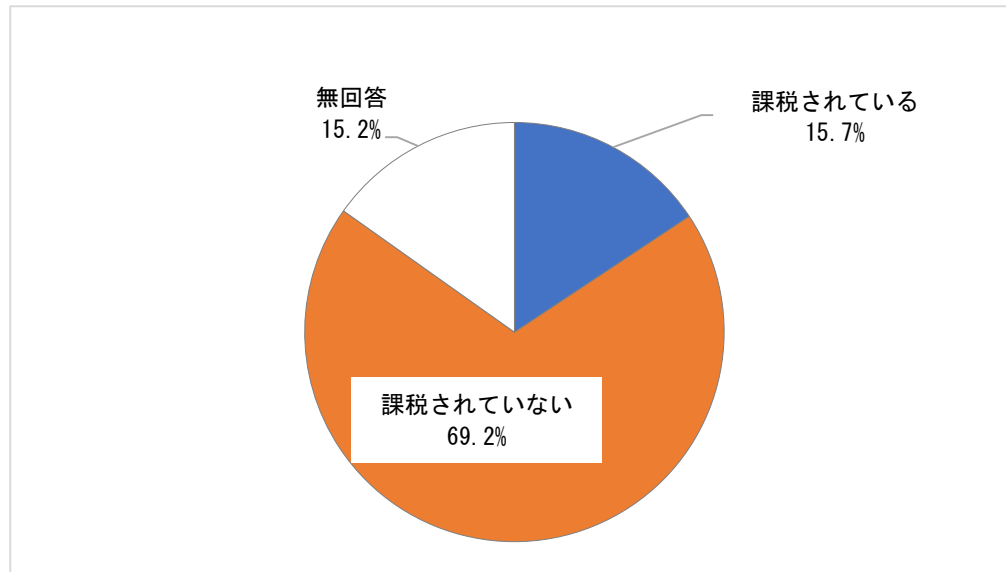
図表 99 平均収入金額（単位：円）

区分		収入月額	収入月額の内訳				
		合計	賃金、工賃 など働いて得 た収入	障害年金な どの公的年 金	公的な手当	家族などから の仕送り	その他の収入
本人 (n=262)	平均額	85,174	12,169	58,794	9,596	744	3,871
	構成比	100.0%	14.3%	69.0%	11.3%	0.9%	4.5%
配偶者 (n=41)	平均額	98,239	35,146	36,308	21,175	0	5,610
	構成比	100.0%	35.8%	37.0%	21.6%	0.0%	5.7%
その他同居者 (n=69)	平均額	85,133	54,695	20,874	3,768	0	5,797
	構成比	100.0%	64.2%	24.5%	4.4%	0.0%	6.8%
世帯平均 (n=262)	平均額	122,968	32,073	69,973	13,902	744	6,275
	構成比	100.0%	26.1%	56.9%	11.3%	0.6%	5.1%

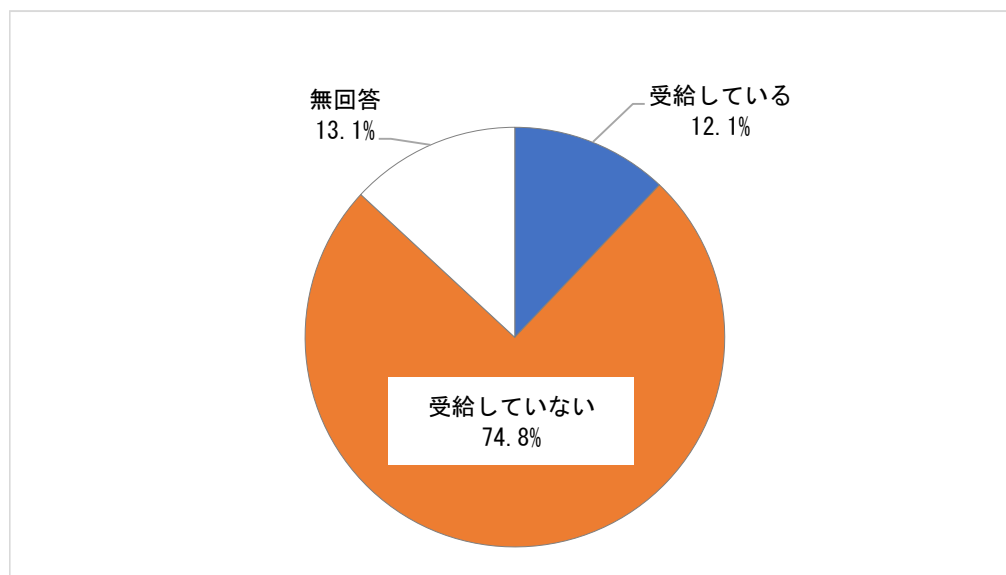
問 19 税金、生活保護について、あなたの課税、受給の状況を教えてください。（それぞれ1つに○）

住民税の状況を見ると、「課税されている」が 15.7%、「課税されていない」が 69.2%となっている。生活保護の状況を見ると、「受給している」が 12.1%、「受給していない」が 74.8%となっている。

図表 100 住民税の課税の有無（n=389）



図表 101 生活保護の受給の有無（n=389）



問 20 あなたの世帯の令和元年7月の支出額を教えてください。支出額は、障害福祉サービス事業者に支払ったものと、それ以外を分けて、それぞれの項目別に、ひと月分の支出額を記入してください。

ひと月の支出額をみると、本人のサービス事業者への支払平均額は、22,913 円となっている。内訳は、「食費（自己負担分）」が 8,576 円（37.4%）、「住居費（家賃・部屋代など）」が 4,892 円（21.4%）となっている。

同居者のサービス事業者への支払平均額は、2,422 円となっている。サービス事業者に支払い以外の支出は平均 92,958 円で、内訳は「食費」が 26,800 円（28.8%）、「税金・保険料」が 12,406 円（13.3%）等となっている。

図表 102 平均支出金額（単位：円）

	支出月額の内訳	平均額	（構成比）
サービス事業者への 支払額 （本人） （n=245）	サービス利用料	4,640	20.2%
	住居費（家賃・部屋代など）	4,892	21.4%
	食費（自己負担分）	8,576	37.4%
	光熱水費（自己負担分）	3,302	14.4%
	その他、上記以外の費目の支払額	1,503	6.6%
	合計	22,913	100.0%
サービス事業者への 支払額 （同居者） （n=88）	サービス利用料	558	23.1%
	住居費（家賃・部屋代など）	130	5.4%
	食費（自己負担分）	1,006	41.5%
	光熱水費（自己負担分）	322	13.3%
	その他、上記以外の費目の支払額	405	16.7%
	合計	2,422	100.0%
サービス事業者への 支払以外 （n=245）	食費	26,800	28.8%
	住居費	7,286	7.8%
	光熱水費	11,435	12.3%
	保健医療費	5,116	5.5%
	交通費	4,060	4.4%
	情報通信費	5,060	5.4%
	教育費	865	0.9%
	教養娯楽費	4,525	4.9%
	介護サービス費	7,320	7.9%
	その他	8,084	8.7%
	税金・保険料	12,406	13.3%
	合計	92,958	100.0%

世帯単位で平均支出額を算定したところ、世帯の平均支出は 116,741 円、内訳では、サービス事業者への支払い以外の「食費」が 26,800 円 (23.0%)、サービス事業者への支払いの「食費 (自己負担分)」が 10,840 円 (11.6%)、「税金・保険料」が 12,406 円 (10.6%) 等となっている。

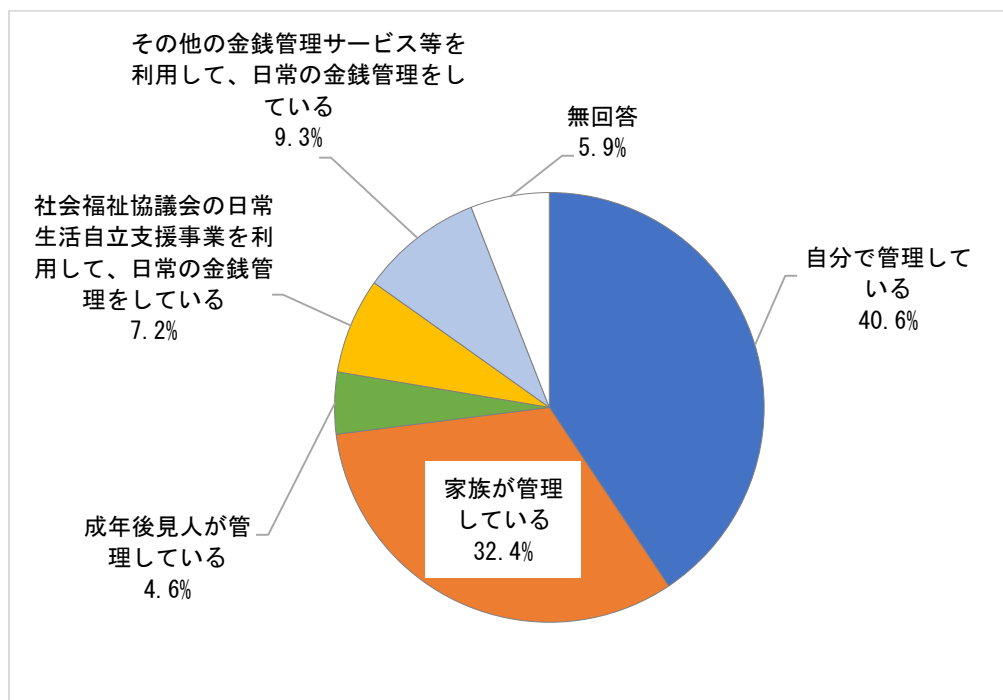
図表 103 世帯単位の平均支出金額 (単位: 円)

(n=245)	支出月額の内訳	平均額	(構成比)
サービス事業者への 支払額	サービス利用料	4,840	4.1%
	住居費 (家賃・部屋代など)	4,939	4.2%
	食費 (自己負担分)	8,938	7.7%
	光熱水費 (自己負担分)	3,417	2.9%
	その他、上記以外の費目の支払額	1,649	1.4%
サービス事業者への 支払以外	食費	26,800	23.0%
	住居費	7,286	6.2%
	光熱水費	11,435	9.8%
	保健医療費	5,116	4.4%
	交通費	4,060	3.5%
	情報通信費	5,060	4.3%
	教育費	865	0.7%
	教養娯楽費	4,525	3.9%
	介護サービス費	7,320	6.3%
	その他	8,084	6.9%
	税金・保険料	12,406	10.6%
合計		116,741	100.0%

問 21 あなたの収入・支出のお金について、日常の管理はどのようにしていますか。（1つに○）

日常のお金の管理をみると、「自分で管理している」が40.6%と最も高く、次いで「家族が管理している」が32.4%となっている。

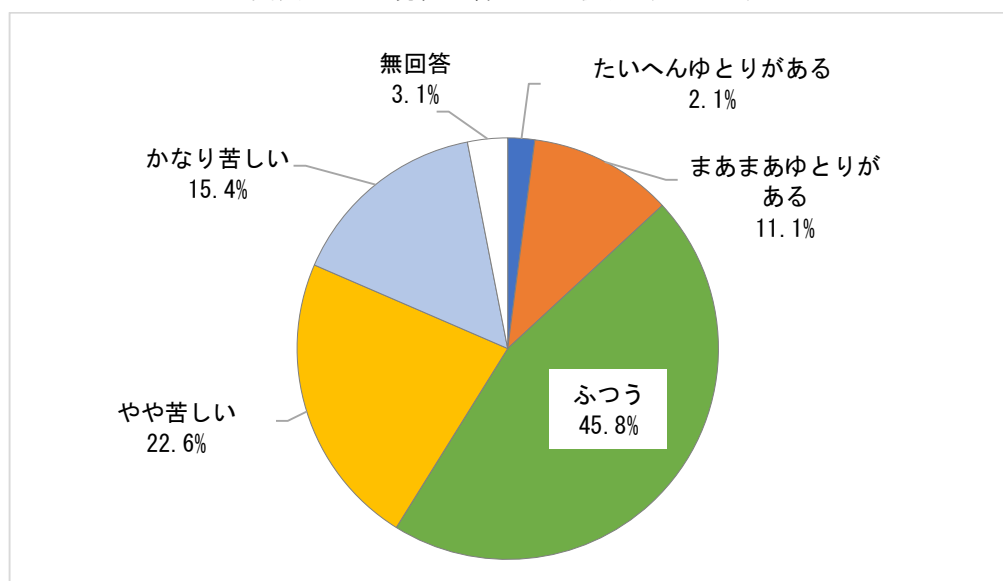
図表 104 日常のお金の管理（n=389）



問 22 現在の暮らしの状況（家計の状況）について、どのように感じていますか。（1つに○）

現在の暮らし（家計）の状況は「ふつう」が45.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が22.6%となっている。

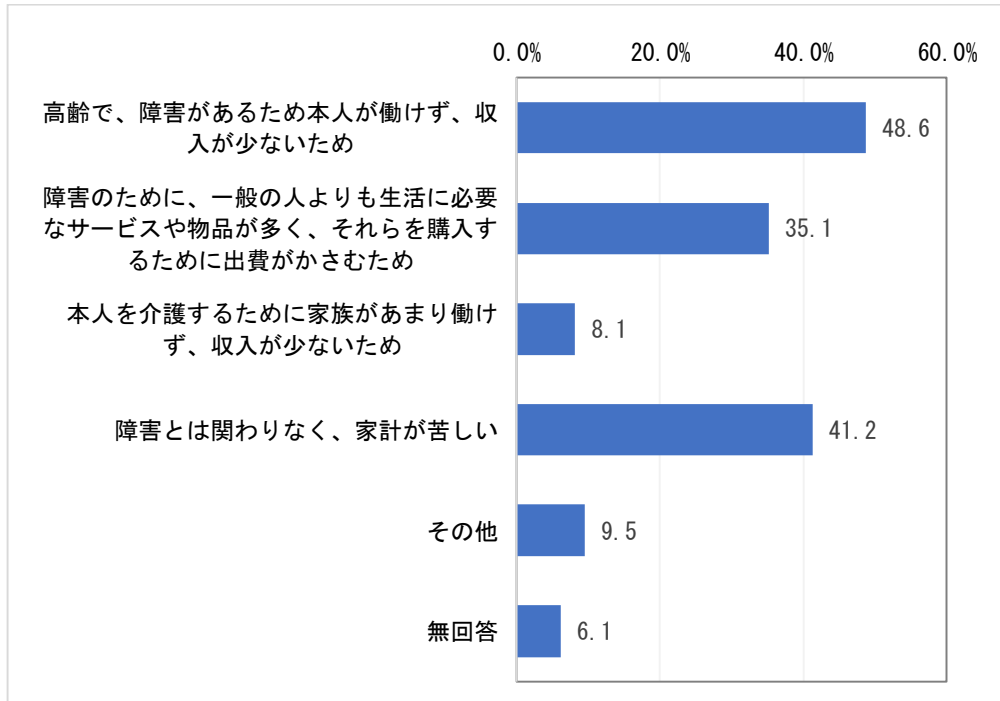
図表 105 現在の暮らしの状況（n=389）



問 23 暮らしが苦しいと感じる理由はなんでしょう。あてはまるものすべてに○をしてください。

暮らしが苦しいと感じている人に、その理由を聞いたところ、「高齢で、障害があるため本人が働けず、収入が少ないため」が 48.6%と最も高く、次いで「障害とは関わりなく、家計が苦しい」が 41.2%となっている。

図表 106 暮らしが苦しいと感じる理由（複数回答：n=148）



5 調査結果の考察

①障害福祉サービス利用者の暮らしの状況について

- ・障害福祉サービス利用者の住まいの種類については、調査では「戸建て住宅（持ち家）」と「グループホーム」の割合が高かったが、「グループホーム」については、障害福祉サービスの「共同生活援助」の利用者も対象として調査を実施したため、多くなっているものと考えられる。世帯・居住形態別では、単身者は「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」、家族との同居者は「戸建て住宅（持ち家）」で暮らしている人が多い。
- ・一般の住宅（戸建て住宅、集合住宅）に暮らしている人については、単身者の割合は1割強、世帯主である割合は約2割となっている。
- ・障害種別については、約2割が身体障害者手帳を所持し、約6割が療育手帳を所持している。
- ・日常生活での介助については、特に「お金の管理」で介助を必要とする人が多い。日常的な医療的ケアを受けている人は少ない。
- ・就業については、「障害福祉サービス（就労継続支援A型・B型など）の仕事で賃金・工賃を得ている」人が多いが、これは障害福祉サービスの就労支援サービス利用者も対象として調査を実施したため、多くなっているものと考えられる。一方、「収入のある仕事はしていない」人は約3割となっている。
- ・世帯単位でのひと月の平均収入額は129,883円、内訳では、「賃金、工賃など働いて得た収入」が57,186円（44.0%）、「障害年金などの公的年金」が56,177円（43.3%）となっている。世帯・居住形態別で見ると、家族との同居者で最も高く、グループホーム利用者で低い傾向が見られる。
- ・世帯単位でのひと月の平均支出額は93,208円、内訳では、サービス事業者への支払い以外の「食費」が16,489円（17.7%）、サービス事業者への支払いの「食費（自己負担分）」が10,840円（11.6%）等となっている。世帯・居住形態別で支出内訳をみると、単身者ではサービス事業者への支払い以外の「居住費」、グループホーム利用者では「事業者支払」の「住居費（家賃・部屋代など）」が高く、それ以外ではサービス事業者への支払い以外の「食費」が高くなっている。
- ・現在の暮らし（家計）の状況を聞いたところ、「ふつう」がほぼ半数となっているが、「やや苦しい」という人も全体の2割強見られる。

②障害者支援施設利用者の暮らしの状況について

- ・障害種別については、約4割が身体障害者手帳を所持し、約7割が療育手帳を所持している。
- ・日常生活での介助については、「薬の管理」や「お金の管理」で介助を必要とする人が多い。日常的な医療的ケアを受けている人は少ない。
- ・収支状況について、ひと月の収入月額、平均で84,507円となっている。内訳は、「障害基礎年金」や「その他の手当、年金、給付金等」の占める割合が高い。支出月額、平均で62,592円となっており、内訳は、施設への支払い48,570円（77.6%）、施設への支払い以外14,022円（22.4%）となっている。

③高齢障害者の暮らしの状況について

- ・高齢障害者の住まいの種類については、調査では「戸建て住宅（持ち家）」がほぼ半数、「グループホーム」が約 2 割となっている。「グループホーム」については、障害福祉サービス利用者の調査と同様、サービス支給決定者を対象としていることから多くなっているものと考えられる。一般の住宅（戸建て住宅、集合住宅）に暮らしている人で単身者の割合は約 4 割、世帯主である割合は約 7 割となっている。
- ・障害種別については、約半数が身体障害者手帳を所持し、約 3 割が療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している。
- ・日常生活での介助については、特に「買い物」や「お金の管理」で介助を必要とする人が多い。日常的な医療的ケアを受けている人は 1 割弱となっている。
- ・介護保険の要介護認定を受けている人が約 4 割となっており、介護保険サービスを利用している人も約 4 割見られる。利用サービスは訪問介護等が多い。
- ・新高額障害福祉サービス等給付費については、対象となっている人は約 1 割であり、対象ではない人が約 4 割、わからないという人が約 4 割となっている。新高額障害福祉サービス等給付費の対象者に、導入による経済的な負担の変化を聞いたところ、「減った」という人が約 3 割、「変わらない」という人が半数強となっている。負担が変わらない理由は、「一度は支払う必要があるから（償還払いだから）」という人が多い。
- ・世帯単位でのひと月の平均収入額は 122,968 円、内訳では、「障害年金などの公的年金」が 69,973 円（56.9%）、「賃金、工賃など働いて得た収入」が 32,073 円（26.1%）となっている。支出月額は、平均で 116,741 円、内訳は、サービス事業者への支払い以外の「食費」が 26,800 円（23.0%）、サービス事業者への支払いの「食費（自己負担分）」が 10,840 円（11.6%）等となっている。
- ・現在の暮らし（家計）の状況を聞いたところ、「ふつう」がほぼ半数となっているが、「やや苦しい」という人も約 2 割見られる。

6 参考資料（調査票）

調査票①：障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査票②：障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査票③：高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査

【令和元年度障害者総合福祉推進事業】

障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

問1. このアンケートに答えた人を教えてください。（1つに○）

1 対象者本人	2 対象者の家族
3 障害福祉サービス事業所の職員	4 その他（ ）

質問の文章のなかの「あなた」というのは、このアンケート調査の対象となっている、障害福祉サービスを利用している本人のことです。

あなたの年齢、お住まい、同居の家族などについてお聞きます。

問2. あなたの性別・年齢を教えてください。

性別（1つに○）	年齢（令和元年7月31日時点）
1 男	さい 歳
2 女	

問3. あなたのお住まいの都道府県・市区町村を記入してください。（記入は都道府県名と市区町村名だけです。住所は書かないでください。）

都道府県名	市区町村名

問4. あなたのお住まいの種類を教えてください。（1つに○）

1 戸建て住宅（持ち家）
2 戸建て住宅（賃貸）
3 集合住宅（分譲マンション）
4 集合住宅（賃貸マンション・アパート）
5 間借り・貸間（部屋を借りての下宿）
6 社宅、職員寮、学生寮、寄宿舎など
7 グループホーム
8 その他（ ）

問5. 前の問で「1～4」を答えただけの方にお聞きします。

①あなたが一緒に生活している人（同居の家族）を教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 父	2 母
3 配偶者（夫または妻）	4 子ども（子の配偶者含む）
5 兄弟姉妹	6 祖父母
7 孫	8 その他（ ）
9 同居家族はいない（ひとり暮らし）	

②あなたを含めた同居の家族の人数（世帯人数）を教えてください。

にん 人

③あなたは世帯主（世帯の筆頭者）ですか。（1つに○）

1 はい	2 いいえ
------	-------

あなたの障害の状況などについてお聞きします。

問6. あなたがお持ちの障害者手帳、障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 身体障害者手帳を持っている
2 療育手帳を持っている
3 精神障害者保健福祉手帳を持っている
4 発達障害と診断されている
5 高次脳機能障害と診断されている
6 障害者総合支援法の対象の難病と診断されている
7 自立支援医療（更生医療）を受給している
8 自立支援医療（精神通院医療）を受給している
9 指定難病・小児慢性特定疾病の医療費助成を受給している
10 その他の障害者医療費助成を受給している

問6-2. 「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。障害の種類をお答えください。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 視覚障害	2 聴覚障害・平衡機能障害
3 音声・言語・咀嚼機能障害	4 肢体不自由（上肢）
5 肢体不自由（下肢）	6 肢体不自由（体幹・運動機能）
7 内部障害	

問7. あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのは、いつ頃ですか。（1つに○）

1 出生前・出生時	2 [] 歳の頃 (年齢を記入してください)
-----------	---

※重複障害の場合：最初の診断・判定を受けた時期で回答してください。

問8. 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	ひとり 一人でできる	一部介助（手助け） が必要 が必要	全部介助（手助け） が必要 が必要
食事	1	2	3
衣服の着脱	1	2	3
トイレ（排せつ）	1	2	3
入浴	1	2	3
家の中の移動	1	2	3
買い物	1	2	3
お金の管理	1	2	3
薬の管理	1	2	3
自分の意思を伝える	1	2	3
相手の意思を理解する	1	2	3

※「一人でできる」には、見守り・声掛けがあればできる場合も含まれます。

問9. あなたは日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）を受けていますか。（1つに○）

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

就業の状況などについてお聞きします。

問10. あなたは現在、学校（大学、専門学校等）に通っていますか。（1つに○）

1 通学している	2 通学していない
----------	-----------

問11. 前の問で「通学していない」と回答した方にお聞きします。あなたが卒業した最終の学校の種類を教えてください。（1つに○）

1 中学校（普通学級）	2 中学校（特別支援学級）
3 特別支援学校（中等部）	4 高等学校
5 特別支援学校（高等部）	6 専門学校・専修学校
7 短期大学・高等専門学校	8 大学
9 大学院	10 その他（ ）

問12. あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

- 1 会社、団体、官公庁などで働いている
- 2 自営業で働いている
- 3 農林水産業で働いている
- 4 障害福祉サービス（就労継続支援A型・B型など）の仕事で賃金・工賃を得ている
- 5 その他の収入のある仕事をしている
- 6 収入のある仕事はしていない

問13. 前の問で「1 会社、団体、官公庁などで働いている」と回答した方にお聞きします。勤務形態を教えてください。（1つに○）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 正社員・正職員 | 2 パート・アルバイト |
| 3 派遣社員 | 4 契約社員・嘱託社員 |
| 5 その他（ ） | |

サービス利用の状況などについてお聞きします。

問14. あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（1つに○）

- 1 受けている → 現在の障害支援区分に○をつけてください [1・2・3・4・5・6]
- 2 受けていない
- 3 申請中

問15. あなたは、令和元年7月の1か月に、障害福祉サービスの訪問サービスをどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用時間数を記入してください。

	1か月の利用時間数
1 居宅介護	時間
2 重度訪問介護	時間
3 同行援護	時間
4 行動援護	時間
5 重度障害者等包括支援	時間
6 地域生活支援事業のサービス（移動支援など）	時間
7 利用していない	

問16. あなたは、令和元年7月の1か月に、障害福祉サービスの通所サービス等をどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数を記入してください。

		1か月の利用日数
1	生活介護	日
2	短期入所	日
3	自立訓練（機能訓練）	日
4	自立訓練（生活訓練）	日
5	就労移行支援	日
6	就労継続支援A型	日
7	就労継続支援B型	日
8	就労定着支援	日
9	地域生活支援事業のサービス（日中一時支援、地域活動支援センターなど）	日
10	利用していない	

収入・支出の状況などについてお聞きます。

問17. あなたの令和元年7月の1か月分の収入額を教えてください。それぞれの項目別に収入額を記入してください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入も記入してください。

収入の種類	あなたの収入	配偶者の収入	配偶者以外の同居者の収入
給料、報酬、賃金、工賃など働いて得た収入	円	円	円
障害年金などの公的年金	円	円	円
公的な手当	円	円	円
家族などからの仕送り	円	円	円
その他の収入	円	円	円

※配偶者以外の同居者が2人以上いる場合は、収入を合計して、「配偶者以外の同居者の収入」欄に記入してください。
※別居の家族（世帯員でない）の収入は記入しないでください。

問18. 税金、生活保護について、あなたの課税、受給の状況を教えてください。（それぞれ1つに○）

住民税	1 課税されている	2 課税されていない
生活保護	1 受給している	2 受給していない

問19. あなたの世帯の令和元年7月の支出額を教えてください。支出額は、サービス事業者に支払ったものと、それ以外を分けて、それぞれの項目別に、ひと月分の支出額を記入してください。

① サービス事業者に7月分として支払ったもの

- ・ サービス事業者に月払で支払った額を、請求・支払明細などを見て記入してください。
- ・ あなた以外にも同居者がサービスを利用している方がいる場合、あなたが利用したサービスと、同居者が利用したサービスを分けて記入してください。

【あなたの利用したサービス分としてサービス事業者に支払った支出】

費目	支払額（月額）
サービス利用料 ※基本料、加算分などに分けられている場合は合計してください	円
住居費（家賃・部屋代など）	円
食費（自己負担分）	円
光熱水費（自己負担分）	円
その他、上記以外の費目の支払額	円

【同居者が利用したサービス分としてサービス事業者に支払った支出】

費目	支払額（月額）
サービス利用料 ※基本料、加算分などに分けられている場合は合計してください	円
住居費（家賃・部屋代など）	円
食費（自己負担分）	円
光熱水費（自己負担分）	円
その他、上記以外の費目の支払額	円

※ サービスを利用した同居者が2人以上いる場合は、支払額を合計して記入してください。

※ 別居の家族（世帯員でない）のサービス利用分は記入しないでください。

②サービス事業者^{じぎょうしゃ しはら}に支払ったもの以外の支出^{いがい ししゅつ}

- ・①で記入いただいたもの以外のひと月分の支出^{きにゅう いがい つきぶん ししゅつ きにゅう}を記入してください。

費目 ^{ひもく}		支払額 ^{しはいがく}
食費 ^{しょくひ}	食材費 ^{しょくざいひ} 、外食費 ^{がいしょくひ} などのひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい きにゅう} を記入 障害福祉サービス事業者 ^{しょうがいふくし じぎょうしゃ しはら} に支払った食費 ^{のぞ} は除く	えん 円
住居費 ^{じゅうきょひ}	家賃 ^{やちん} ・部屋代 ^{へやたい} ・地代 ^{ちたい} 、マンション等の共益費 ^{など きょうえきひ} ・管理費 ^{かんりひ} 、 マンション等の修繕等 ^{しゅうぜんとう} 積立金 ^{つみたてきん} などのひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい} を記入 ^{きにゅう}	えん 円
光熱水費 ^{こうねつすいひ}	電気料金 ^{でんきりょうきん} 、ガス料金 ^{りょうきん} 、水道料金 ^{すいどうりょうきん} 、灯油購入費 ^{とうゆこうにゅうひ} のひと 月分の合計 ^{つきぶん ごうけい きにゅう} を記入 障害福祉サービス事業者 ^{しょうがいふくし じぎょうしゃ しはら} に支払った光熱水費 ^{のぞ} は除く	えん 円
保健医療費 ^{ほけんいりょうひ}	医療費 ^{いりょうひ} 、薬剤費 ^{やくざいひ} 、保健医療用品費 ^{ほけんいりょうようひんひ} などのひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい} を記入 ^{きにゅう}	えん 円
交通費 ^{こうつうひ}	外出の際の公共交通費 ^{がいしゅつ さい とうきょうこうつうひ} 、タクシー料金 ^{りょうきん} 、定期券代 ^{ていきげんたい} 、 自動車のガソリン代 ^{じどうしゃ だい ちゅうしゃじりょうりょうきん} 、駐車場料金 ^{ちやうちやじやうりょうきん} などのひと月分の 合計 ^{つきぶん} を記入 ^{ごうけい きにゅう}	えん 円
情報通信費 ^{じょうほうつうしんひ}	固定電話料金 ^{こていでんわりょうきん} 、携帯電話・スマートフォン料金 ^{けいたいでんわ りょうきん} 、NH K受信料 ^{じゅしんりょう} 、インターネット関連費 ^{かんれんひ} 、ケーブルテレビ 関連費 ^{かんれんひ} などのひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい きにゅう} を記入	えん 円
教育費 ^{きょういくひ}	授業料 ^{じゅぎょうりょう} 、受講料 ^{じゅごうりょう} 、月謝 ^{げつしゃ} 、教材費 ^{きょうざいひ} などのひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい} を記入 ^{きにゅう}	えん 円
教養娯楽費 ^{きょうようごらくひ}	新聞・雑誌購読費 ^{しんぶん さっしごうどくひ} 、書籍購入費 ^{しょせきこうにゅうひ} 、趣味やレジャー等に要 ^{しゅみ どう よう} した費用 ^{ひよう} などのひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい きにゅう} を記入（情報通信費 ^{じょうほうつうしんひ} 、 教育費等に含むものは除く） ^{きょういくひどう ふく のぞ}	えん 円
その他 ^た	その他の支出 ^{た ししゅつ} のひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい きにゅう} を記入	えん 円
税金・保険料 ^{ぜいきん ほけんりょう}	所得税 ^{しょとくぜい} 、住民税 ^{じゅうみんぜい} などの税金 ^{せいきん} 、年金 ^{ねんきん} 、健康保険 ^{けんこうほけん} 、介護保険 ^{かいごほけん} などの社会保険料 ^{しゃかいほけんりょう} のひと月分の合計 ^{つきぶん ごうけい きにゅう} を記入	えん 円

問20. あなたの収入・支出^{しゅうにゅう ししゅつ}のお金^{かね}について、日常^{にちじょう}の管理^{かんり}はどのようにしていますか。（1つに
○）

- | | |
|---|--|
| 1 | 自分で管理 ^{じぶん かんり} している |
| 2 | 家族が管理 ^{かぞく かんり} している |
| 3 | 成年後見人が管理 ^{せいねんこうけんじん かんり} している |
| 4 | 社会福祉協議会 ^{しゃかいふくしかりかい} の日常生活自立支援事業 ^{にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう} を利用して、日常 ^{にちじょう} の金銭管理 ^{きんせんかんり} をしている |
| 5 | その他の金銭管理サービス等 ^{た きんせんかんり} を利用して、日常 ^{にちじょう} の金銭管理 ^{きんせんかんり} をしている |

暮らしの状況についてお聞きします。

問21. あなたは、現在の暮らしの状況（家計の状況）について、どのように感じていますか。
（1つに○）

- | | | | |
|---|------------|---|------------|
| 1 | たいへんゆとりがある | 2 | まあまあゆとりがある |
| 3 | ふつう | 4 | やや苦しい |
| 5 | かなり苦しい | | |

問22. 前の問で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方にお聞きします。暮らしが苦しいと感じる理由は何でしょうか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 障害のために本人があまり働かず、収入が少ないため |
| 2 | 障害のために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため |
| 3 | 本人を介護するために家族があまり働かず、収入が少ないため |
| 4 | 障害とは関わりなく、家計が苦しい |
| 5 | その他（ ） |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【令和元年度障害者総合福祉推進事業】

障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

問1. このアンケートに答えた人を教えてください。（1つに○）

1 対象者本人	2 対象者の家族
3 障害者支援施設の職員	4 その他（ ）

質問の文章の中の「あなた」というのは、このアンケート調査の対象となっている、障害者支援施設利用者本人のことです。

問2. あなたの入所されている施設について教えてください。

法人名	
施設名	
施設の所在地	

問3. あなたの性別・年齢を教えてください。

性別（1つに○）	年齢（令和元年7月31日時点）
1 男	さい 歳
2 女	

あなたの障害の状況、利用サービスなどについてお聞きします。

問4. あなたがお持ちの障害者手帳、障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。あてはまるものすべてに○をしてください。

1	身体障害者手帳を持っている
2	療育手帳を持っている
3	精神障害者保健福祉手帳を持っている
4	発達障害と診断されている
5	高次脳機能障害と診断されている
6	障害者総合支援法の対象の難病と診断されている
7	自立支援医療（更生医療）を受給している
8	自立支援医療（精神通院医療）を受給している
9	指定難病・小児慢性特定疾病の医療費助成を受給している
10	その他の障害者医療費助成を受給している

問4-2. 「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。障害の種類をお答えください。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 視覚障害	2 聴覚障害・平衡機能障害
3 音声・言語・咀嚼機能障害	4 肢体不自由（上肢）
5 肢体不自由（下肢）	6 肢体不自由（体幹・運動機能）
7 内部障害	

問5. あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのは、いつ頃ですか。（1つに○）

1 出生前・出生時	2 [] 歳の頃 (年齢を記入してください)
-----------	---

※重複障害の場合：最初の診断・判定を受けた時期で回答してください。

問6. 障害支援区分の認定は次のうちどれですか。（1つに○）

1 区分1	2 区分2	3 区分3
4 区分4	5 区分5	6 区分6
7 未定・なし・その他		

問7. 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	ひとり 一人でできる	一部介助（手助け） が必要 が必要	全部介助（手助け） が必要 が必要
食事	1	2	3
衣服の着脱	1	2	3
トイレ（排せつ）	1	2	3
入浴	1	2	3
屋内の移動	1	2	3
買い物	1	2	3
お金の管理	1	2	3
薬の管理	1	2	3
自分の意思を伝える	1	2	3
相手の意思を理解する	1	2	3

※「一人でできる」には、見守り・声掛けがあればできる場合も含まれます。

問8. あなたは日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）を受けていますか。（1つに○）

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

問9. あなたが利用している日中サービスについて、令和元年7月の1か月に利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数を記入してください。

	入所施設のサービス	入所施設外のサービス
1 生活介護	日	日
2 自立訓練（機能訓練）	日	日
3 自立訓練（生活訓練）	日	日
4 就労移行支援	日	日
5 就労継続支援A型	日	日
6 就労継続支援B型	日	日

あなたの帰省先の状況などについてお聞きします。

※帰省先に家族等がない場合は、以下の問10の回答は不要です。

問10. 帰省先についてお聞きします。

①帰省先にいる人（家族など）を教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。（あてはまるものすべてに○）

1 父	2 母
3 配偶者（夫または妻）	4 子ども（子の配偶者含む）
5 兄弟姉妹	6 祖父母
7 孫	8 その他（ ）

②あなたを含めた帰省先の家族の人数（世帯人数）を教えてください。

にん 人

③帰省先の家族の生計中心者について教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。（1つに○）

1 父	2 母
3 配偶者（夫または妻）	4 子ども（子の配偶者含む）
5 兄弟姉妹	6 祖父母
7 孫	8 その他（ ）
9 あなた自身	

以下の④～⑦は、③で1から8を選んだ方にお伺いします。（「9 あなたご自身」の場合は回答不要です）

- ④ 生計中心者の年齢を教えてください（令和元年7月31日現在）。

さい 歳

- ⑤ 生計中心者の主な収入源を教えてください。（1つに○）

1 給与	2 自営業（農林水産業含む）
3 家賃や地代などの不動産収入	4 株や投資などの配当
5 生活保護	6 その他（ ）

- ⑥ 生計中心者のほかに、収入を得ている人の有無を教えてください。（1つに○）

1 ある	2 ない
------	------

- ⑦ 帰省先の家族の世帯月収について教えてください。（1つに○）

1 10万円未満	2 10～15万円未満	3 15～20万円未満
4 20～25万円未満	5 25～30万円未満	6 30～35万円未満
7 35～40万円未満	8 40～45万円未満	9 45～50万円未満
10 50～55万円未満	11 55～60万円未満	12 60～65万円未満
13 65～70万円未満	14 70～75万円未満	15 75万円以上

あなたの収入・支出の状況などについてお聞きします。

- 問11. あなたの令和元年7月の1か月分の収入額を教えてください。それぞれの項目別に収入額を記入してください。

賃金、工賃など働いて得た収入	円
障害基礎年金	円
補足給付	円
生活保護費	円
その他の手当、年金、給付金等	円
家族などからの仕送り	円
その他の収入	円

- 問12. 税金、生活保護について、あなたの課税、受給の状況を教えてください。（それぞれ1つに○）

住民税	1 課税されている	2 課税されていない
生活保護	1 受給している	2 受給していない

問13. あなたの令和元年7月の支出額を教えてください。支出額は、施設に支払ったものと、それ以外を分けて、それぞれの項目別に、ひと月分の支出額を記入してください。

①施設に7月分として支払ったもの

- ・施設に月払で支払った額を、請求・支払明細などから記入してください。

費目	支払額（月額）
施設入所支援のサービス利用料	円
日中サービスのサービス利用料	円
室料	円
食費（自己負担分）	円
光熱水費（自己負担分）	円
その他、上記以外の費目の支払額	円

②施設に支払ったものの以外の支出

- ・①で記入いただいたものの以外のひと月分の支出を記入してください。

費目	支払額
食費 食品や飲料などの購入費、外食費などのひと月分の合計を記入 施設に支払った食費は除く	円
保健医療費 医療費、薬剤費、保健医療用品費などのひと月分の合計を記入	円
情報通信費 固定電話料金、携帯電話・スマートフォン料金、NHK受信料、インターネット関連費、ケーブルテレビ関連費などのひと月分の合計を記入	円
交通費 外出の際の公共交通費、タクシー料金などのひと月分の合計を記入	円
教育費 授業料、受講料、月謝、教材費などのひと月分の合計を記入	円
教養娯楽費 新聞・雑誌購読費、書籍購入費、趣味やレジャー等に要した費用などのひと月分の合計を記入（情報通信費等を含むものは除く）	円
その他 その他の支出のひと月分の合計を記入	円
税金・保険料 所得税、住民税などの税金、年金、健康保険、介護保険などの社会保険料のひと月分の合計を記入	円

とい
問14. あなたの収入・支出のお金について、管理はどのようにしていますか。（1つに○）

- | | | |
|---|--|----------------------------|
| 1 | 自分で管理している | |
| 2 | 家族（身元引受人）が管理している | |
| 3 | 成年後見人が管理している | |
| 4 | 施設の金銭管理サービスを利用している
→サービスの月額利用料を記入してください | [] 円 |
| 5 | その他の金銭管理サービス等を利用している | |

とい
問15. あなたは、自由に使えるお金（こづかい）の額を決めていますか。（1つに○）

- | | | |
|---|--|----------------------------|
| 1 | 特に金額は決めていない | |
| 2 | ひと月のこづかいの額を決めている
→こづかいのおおよその額（ひと月）を記入してください | [] 円 |

しつもん いじょう
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【令和元年度障害者総合福祉推進事業】

高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査

問1. このアンケートに答えた人を教えてください。（1つに○）

1 対象者本人	2 対象者の家族
3 サービス事業所の職員（障害・介護）	4 その他（ ）

質問の文章のなかの「あなた」というのは、このアンケート調査の対象となっている、障害のある方本人のことです。

あなたの年齢、お住まい、同居の家族などについてお聞きます。

問2. あなたの性別・年齢を教えてください。

性別（1つに○）	年齢（令和元年7月31日時点）
1 男	さい 歳
2 女	

問3. あなたのお住まいの都道府県・市区町村を記入してください。（記入は都道府県名と市区町村名だけです。住所は書かないでください。）

都道府県名	市区町村名

問4. あなたのお住まいの種類を教えてください。（1つに○）

1 戸建て住宅（持ち家）
2 戸建て住宅（賃貸）
3 集合住宅（分譲マンション）
4 集合住宅（賃貸マンション・アパート）
5 間借り・貸間（部屋を借りての下宿）
6 社宅、職員寮など
7 グループホーム
8 サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム
9 その他（ ）

問5. 前の問で「1～4」を答えた方にお聞きします。

①あなたが一緒に生活している人（同居の家族）を教えてください（あなたから見た続柄で教えてください）。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 父	2 母
3 配偶者（夫または妻）	4 子ども（子の配偶者含む）
5 兄弟姉妹	6 祖父母
7 孫	8 その他（ ）
9 同居家族はいない（ひとり暮らし）	

②あなたを含めた同居の家族の人数（世帯人数）を教えてください。

にん 人

③あなたは世帯主（世帯の筆頭者）ですか。（1つに○）

1 はい	2 いいえ
------	-------

あなたの障害の状況などについてお聞きします。

問6. あなたがお持ちの障害者手帳、障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 身体障害者手帳を持っている
2 療育手帳を持っている
3 精神障害者保健福祉手帳を持っている
4 発達障害と診断されている
5 高次脳機能障害と診断されている
6 障害者総合支援法の対象の難病と診断されている
7 自立支援医療（更生医療）を受給している
8 自立支援医療（精神通院医療）を受給している
9 指定難病の医療費助成を受給している
10 その他の障害者医療費助成を受給している

問6-2. 「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。障害の種類をお答えください。あてはまるものすべてに○をしてください。

1 視覚障害	2 聴覚障害・平衡機能障害
3 音声・言語・咀嚼機能障害	4 肢体不自由（上肢）
5 肢体不自由（下肢）	6 肢体不自由（体幹・運動機能）
7 内部障害	

問7. あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのは、いつ頃ですか。（1つに○）

1 出生前・出生時	2 []歳の頃 (年齢を記入してください)
-----------	---------------------------

※重複障害の場合：最初の診断・判定を受けた時期で回答してください。

問8. 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	ひとり 一人でできる	一部介助（手助け） が必要	全部介助（手助け） が必要
食事	1	2	3
衣服の着脱	1	2	3
トイレ（排せつ）	1	2	3
入浴	1	2	3
家の中の移動	1	2	3
買い物	1	2	3
お金の管理	1	2	3
薬の管理	1	2	3
自分の意思を伝える	1	2	3
相手の意思を理解する	1	2	3

※「一人でできる」には、見守り・声掛けがあればできる場合も含まれます。

問9. あなたは日常的な医療的ケア（経管栄養、喀痰吸引、導尿、透析など）を受けていますか。（1つに○）

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

就業状況などについてお聞きします。

問10. あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

1 会社、団体、官公庁などで働いている
2 自営業で働いている
3 農林水産業で働いている
4 障害福祉サービス（就労継続支援A型・B型など）の仕事で賃金・工賃を得ている
5 その他の収入のある仕事をしている
6 収入のある仕事はしていない

問11. 前の問で「会社、団体、官公庁などで働いている」と回答した方にお聞きします。勤務形態をおしえてください。（1つに○）

1 正社員・正職員	2 パート・アルバイト
3 派遣社員	4 契約社員・嘱託社員
5 その他（ ）	

サービス利用の状況などについてお聞きします。

問12. あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（1つに○）

1 受けている → 現在の障害支援区分に○をつけてください [1・2・3・4・5・6]
2 受けていない
3 申請中

問13. あなたは、要介護認定を受けていますか。（1つに○）

1 受けている → 現在の要介護度に○をつけてください [要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5]
2 受けていない
3 申請中

問14. あなたは、令和元年7月の1か月に、障害福祉サービスの訪問サービスをどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用時間数を記入してください。

	1か月の利用時間数
1 居宅介護	時間
2 重度訪問介護	時間
3 同行援護	時間
4 行動援護	時間
5 重度障害者等包括支援	時間
6 地域生活支援事業のサービス（移動支援など）	時間
7 利用していない	

問15. あなたは、令和元年7月の1か月に、障害福祉サービスの通所サービス等をどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数を記入してください。

		1か月の利用日数
1	生活介護	日
2	短期入所	日
3	自立訓練（機能訓練）	日
4	自立訓練（生活訓練）	日
5	就労移行支援	日
6	就労継続支援A型	日
7	就労継続支援B型	日
8	就労定着支援	日
9	地域生活支援事業のサービス（日中一時支援、地域活動支援センターなど）	日
10	利用していない	

問16. 介護保険サービスの利用状況についてお伺いします。

①あなたは介護保険サービスを利用していますか。（1つに○）

1	利用している	2	利用していない
---	--------	---	---------

②昨年4月から新高額障害福祉サービス等給付費が導入されていますが、あなたはその対象となっていますか。

1	対象となっている	2	対象ではない	3	わからない
---	----------	---	--------	---	-------

新高額障害福祉サービス等給付費とは

- ・65歳になるまでに5年以上、障害福祉サービスを利用しており、65歳以降に介護保険サービスの利用に移行した障害者を対象に、介護保険サービスの利用負担が軽減される制度です。
- ・対象は、障害福祉サービスの居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所の利用から、それぞれ、類似する介護保険サービスである訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護に移行した場合となります。申請により、対象の介護保険サービス利用料が償還（払い戻し）されます。

問17. 前問で「1. 対象となっている」と回答した方にお聞きます。

①あなたは、令和元年7月の1か月に、次の介護保険サービスをどの程度利用しましたか。利用したサービスすべてに○をつけ、1か月の利用日数・時間数を記入してください。

1か月の利用日数・時間数	
1 訪問介護	時間
2 通所介護	日
3 短期入所	日
4 地域密着型通所介護	日
5 小規模多機能型居宅介護	日
6 利用していない	

②新高額障害福祉サービス等給付費の導入により、経済的な負担は減りましたか。

1 減った	2 変わらない
-------	---------

③前問で「2. 変わらない」と回答した方にお聞きます。変わらない理由を教えてください。

1 高齢障害者へのサービスを提供できる事業者が少ないから
2 一度は支払う必要があるから（償還払いだから）
3 利用の条件が複雑で、申請が難しいから
4 居住地の行政が認定対応できていない
5 その他（ ）

収入・支出の状況などについてお聞きます。

問18. あなたの令和元年7月の1か月分の収入額を教えてください。それぞれの項目別に収入額を記入してください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入も記入してください。

収入の種類	あなたの収入	配偶者の収入	配偶者以外の同居者の収入
給料、報酬、賃金、工賃など働いて得た収入	円	円	円
障害年金などの公的年金	円	円	円
公的な手当	円	円	円
家族などからの仕送り	円	円	円
その他の収入	円	円	円

※配偶者以外の同居者が2人以上いる場合は、収入を合計して、「配偶者以外の同居者の収入」欄に記入してください。

※別居の家族（世帯員でない）の収入は記入しないでください。

問19. 税金、生活保護について、あなたの課税、受給の状況を教えてください。（それぞれ1つに○）

住民税	1	課税されている	2	課税されていない
生活保護	1	受給している	2	受給していない

問20. あなたの世帯の令和元年7月の支出額を教えてください。支出額は、障害福祉サービス事業者に支払ったものと、それ以外を分けて、それぞれの項目別に、ひと月分の支出額を記入してください。

① 障害福祉サービス事業者に7月分として支払ったもの

- ・ 障害福祉サービス事業者に月払で支払った額を、請求・支払明細などを見て記入してください。
- ・ あなた以外にも同居者でサービスを利用している方がいる場合、あなたが利用したサービスと、同居者が利用したサービスを分けて記入してください。
- ・ 記入は障害福祉サービスの利用分のみです。（介護サービスの利用分は②に記入します。）

【あなたの利用したサービス分として障害福祉サービス事業者に支払った支出】

費目	支払額（月額）
サービス利用料 ※基本料、加算分などに分けられている場合は合計してください	えん 円
住居費（家賃・部屋代など）	えん 円
食費（自己負担分）	えん 円
光熱水費（自己負担分）	えん 円
その他、上記以外の費目の支払額	えん 円

【同居者が利用したサービス分として障害福祉サービス事業者に支払った支出】

費目	支払額（月額）
サービス利用料 ※基本料、加算分などに分けられている場合は合計してください	えん 円
住居費（家賃・部屋代など）	えん 円
食費（自己負担分）	えん 円
光熱水費（自己負担分）	えん 円
その他、上記以外の費目の支払額	えん 円

※サービスを利用した同居者が2人以上いる場合は、支払額を合計して記入してください。

※別居の家族（世帯員でない）のサービス利用分は記入しないでください。

② 障害福祉サービス事業者に支払ったもの以外の支出

- ・①で記入いただいたもの以外のひと月分の支出を記入してください。

費目	支払額
食費 食材費、外食費などのひと月分の合計を記入 障害福祉サービス事業者に支払った食費は除く	えん 円
住居費 家賃・部屋代・地代、マンション等の共益費・管理費、マンション等の修繕等積立金などのひと月分の合計を記入	えん 円
光熱水費 電気料金、ガス料金、水道料金、灯油購入費のひと月分の合計を記入 障害福祉サービス事業者に支払った光熱水費は除く	えん 円
保健医療費 医療費、薬剤費、保健医療用品費などのひと月分の合計を記入（介護サービスに関するものは除く）	えん 円
交通費 外出の際の公共交通費、タクシー料金、定期券代、自動車のガソリン代、駐車場料金などのひと月分の合計を記入	えん 円
情報通信費 固定電話料金、携帯電話・スマートフォン料金、NHK受信料、インターネット関連費、ケーブルテレビ関連費などのひと月分の合計を記入	えん 円
教育費 授業料、受講料、月謝、教材費などのひと月分の合計を記入	えん 円
教養娯楽費 新聞・雑誌購読費、書籍購入費、趣味やレジャー等に要した費用などのひと月分の合計を記入（情報通信費、教育費等を含むものは除く）	えん 円
介護サービス費 介護保険サービス、介護予防サービス、高齢者向け生活支援サービス（総合事業）などの利用料ひと月分の合計を記入	えん 円
その他 その他の支出のひと月分の合計を記入	えん 円
税金・保険料 所得税、住民税などの税金、年金、健康保険、介護保険などの社会保険料のひと月分の合計を記入	えん 円

問21. あなたの収入・支出のお金について、日常の管理はどのようにしていますか。（1つに○）

- 1 自分で管理している
- 2 家族が管理している
- 3 成年後見人が管理している
- 4 社会福祉協議会の日常生活自立支援事業を利用して、日常の金銭管理をしている
- 5 その他の金銭管理サービス等を利用して、日常の金銭管理をしている

暮らしの状況についてお聞きます。

問22. あなたは、現在の暮らしの状況（家計の状況）について、どのように感じていますか。（1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 たいへんゆとりがある | 2 まあまあゆとりがある |
| 3 ふつう | 4 やや苦しい |
| 5 かなり苦しい | |

問23. 前の問で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方にお聞きます。暮らしが苦しいと感じる理由は何でしょうか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 高齢で、障害があるため本人が働けず、収入が少ないため
- 2 障害のために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため
- 3 本人を介護するために家族があまり働けず、収入が少ないため
- 4 障害とは関わりなく、家計が苦しい
- 5 その他（ ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

厚生労働省 令和元年度障害者総合福祉推進事業
障害福祉サービスの利用実態調査
報 告 書

令和2年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部

大阪本部 研究開発第1部
〒530-8213 大阪市北区梅田2丁目5番25号
TEL : 06-7637-1430
